

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
1	埼玉大学	連続市民講座	平成21年度	産業界（企業等）			読売新聞さいたま支局との共催で、埼玉大学における研究成果の一端を市民の皆さまに紹介し、豊かな地域づくりに役立てていただくことを目的として実施している。令和6年度は「次世代へのメッセージ－共生社会の創造の実現に向けて－」をテーマに全5回開講した。
2	埼玉大学	埼玉大学産学官連携協議会	平成12年度	産業界（企業等）			県内企業等と埼玉大学の研究とを有機的に結びつけ、地域産業の一層の発展を図ることを目的に設立され、県内企業等の経営者、技術者および埼玉大学の研究者との交流の場を提供する産学交流事業、埼玉大学における各種情報発信、共同研究等への発展が期待される研究課題についての研究会活動などを実施している。
3	埼玉大学	埼玉大学高大連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等			高等学校生徒に大学教育を開放し、もって大学教育及び本学に対する理解並びに高等学校教育の一層の向上を計ることを目的として、本学と協定を締結している高等学校の生徒に対し、本学で開講している正規授業を受講してもらい、希望者には本学の規則に基づいて単位を認定している。 ※協定締結校：県立浦和高等学校、県立浦和北高等学校、県立川口北高等学校、県立大宮高等学校、県立浦和西高等学校、県立浦和第一女子高等学校、さいたま市立浦和高等学校、さいたま市立浦和南高等学校、さいたま市立大宮北高等学校、さいたま市立大宮国際中等教育学校、学校法人武陽学園西武台高校
4	埼玉大学	地域企業等と連携した教育プログラムの実施 「AL2（課題解決型プログラムc）」	平成28年度	産業界（企業等）			地域の魅力づくり・活性化と、次世代の地域づくりを担う人材育成を目的とした包括連携協定を締結しているJR東日本大宮支社と連携し実施している正規授業（全16回）である。令和6年度は、浦和駅、武蔵浦和駅、南浦和駅、及びさいたま新都心駅周辺地域の活性化をテーマとし、フィールドワーク、グループワーク、関係者や地域住民へのインタビュー等を基に、課題解決策の提案を行った。
5	埼玉大学	地域企業等と連携した教育プログラムの実施 「AL1（課題解決型プログラムa）」 「AL2（課題解決型プログラムb）」	平成29年度	産業界（企業等）			学生の課題解決力及び就業意識を高め、県内企業への理解を深めるとともに、自ら「主体的」に学び行動する力を身につけることを目的に平成29年度から実施している正規授業（AL1は全8回、AL2は全16回）である。授業の最初に埼玉大学と民間企業との共同研究により開発されたキャリア支援アセスメント「長所発見テスト（VSAT）」を受検してもらい、その結果レポートを手掛かりに、自身の可能性と将来について考えを深めてもらい、その後、各企業が提示する課題に対して個人やグループワークをとおして課題解決に結びつく提案を行った。なお、「長所発見テスト（VSAT）」については、参加企業の社員にも受検してもらい、将来このような企業で活躍するならばどのようなスキルが求められるかを学生自身が考えるきっかけとするため、受検結果を学生たちと共有し、それにより、企業理解の一層の促進を図っている。
6	埼玉大学	地域企業等と連携した教育プログラムの実施 「AL1（課題解決型プログラムd）」	令和5年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		地域の魅力づくり・活性化と、次世代の地域づくりを担う人材育成を目的とした包括連携協定を締結している株式会社さいたまアリーナと連携し実施している正規授業（全8回）である。令和6年度は、「さいたまスーパーアリーナのイベントがない日でもにぎわいを生み出す仕掛け、仕組みとは？」をテーマに、グループワーク、フィールドワーク、関係者へのインタビュー等を基に解決策の提案を行った。
7	埼玉大学	公立大学法人埼玉県立大学との単位互換の実施	令和5年度	公立大学法人 埼玉県立大学			埼玉大学及び埼玉県立大学の相互の交流と教育の充実を目的として、互いの大学が提供する科目を履修し、単位を修得できるようにした。
8	埼玉大学	インターンシッププログラムの実施	令和5年度	産業界（企業等）			学部4年生及び博士前期課程2年生を対象に、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社において、損保業界の理解、社会課題解決ワークや、職場体験による事業戦略や現場の第一線を体験できるインターンシッププログラムを実施した。
9	埼玉大学	埼玉医科大学との課外学習プログラムの実施	令和4年度	埼玉医科大学			埼玉大学及び埼玉医科大学の学生を対象に、主体性を涵養するとともに、幅広い教養や高い専門性を身に付けるための学習機会・体験等を提供することを目的に課外学習プログラムを実施した。
10	埼玉大学	地域志向科目の実施 「地域創生を考えるa」、「地域創生を考えるb」	平成28年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		県内企業や県内自治体から招いたゲストスピーカーの講演を通して、「社会へ出るために、今、何をすればよいのか？」という自らのキャリア形成について考えてもらうとともに、埼玉県に対する理解を深めてもらうことを目的とした正規授業を実施した。
11	埼玉大学	高校生のためのグローバルセミナー	平成22年度	自治体（行政）			県内在学・在住の高校生を対象として、グローバル人材へのきっかけ作りとなるべく、高校生が国際感覚を身につけたいという気持ちを後押しするための講座を開催している。
12	埼玉大学	埼玉大学教養学部ミュージアム・カレッジ	平成13年度	自治体（行政）			埼玉大学教養学部が埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立近代美術館とそれぞれ隔年で共催する公開講座。令和6年度は埼玉県立近代美術館との共催により、『『没後30年 木下佳通代』によせて－絵画、写真を解きほぐす－』をテーマに全4回の講座を開催した。
13	埼玉大学	埼玉大学経済学部市民講座	平成8年度	自治体（行政）			埼玉大学経済学部とさいたま市教育委員会的主催で実施している公開講座。開かれた大学を実現するため、県民・市民との交流を図り、地域社会の文化の向上に資することを目的としており、令和6年度は「日本社会がかかえる現代的課題」をテーマに全8回開講した。
14	埼玉大学	埼玉大学・戸田市連携講座	平成23年度	自治体（行政）			戸田市民大学認定講座として実施している公開講座。令和6年度は「埼玉大学の研究を共に学ぼう」をテーマに全4回開講した。
15	埼玉大学	3D－CAD・3Dプリンター無料研修	平成26年度	自治体（行政）			さいたま市と連携して、市内のものづくり企業が新事業展開など新たな試作開発における人材の育成支援を目的とする。さいたま市の「さいたま市高度ものづくり人材育成支援業務」の一環として実施している。
16	埼玉大学	リカレント教育 経済学部夜間開放授業	平成17年度	自治体（行政）			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方々を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくことを目指して、経済学部夜間開放授業を実施している。
17	埼玉県立大学	シニア向け開放授業		自治体（行政）			県内在住の55歳以上の方を対象に、埼玉県と県内・近隣にキャンパスを構える大学が協力し、授業科目の一部を開放。（県担当課：福祉部高齢者福祉課）

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
18	埼玉県立大学	高校生向け開放授業		高等学校			本学の教育内容に対する理解や進路決定への意識的取組の促進等を図るため、本学授業を高等学校の生徒を対象に開放。
19	埼玉県立大学	高校等出張講座	平成15年度	中・高等学校			高等学校等からの依頼に基づき、教員を派遣。
20	埼玉県立大学	夢を見つける！リアル体験教室事業	平成23年度	自治体（行政）			埼玉県と連携して、青少年の夢発見と夢実現を支援するため、小学校4～6年生を対象にプロから学び体験する教室を開催。（県担当課：県民生活部青少年課） 7月29日（月）歯と口の健康を守る歯科衛生士になりたい 7月29日（月）3Dプリンタを使って、困っている人を助ける作業療法士になりたい 8月9日（金）看護師になりたい 10月5日（土）保健室の先生になろう！
21	埼玉県立大学	千間台西地区との意見交換会	令和3年度	その他			地域が望む「ふらっと立ち寄れる居場所づくり」「学生と住民が協力した街づくり」を目標に住民と共同で隔月で実施。
22	埼玉県立大学	まちなかキャンパス	令和5年度	その他			大学から地域に飛び出し、大学の学びと情報を発信。地域の皆さんがふらっと立ち寄れる「学びと交流の拠点」を目指し、ミニ講座・相談会・各種催し・大学の情報発信等を行うもの。令和6年度は隔月で実施。
23	埼玉県立大学	子ども会との連携	令和5年度	その他			千間台西地区の子ども会と連携して、小中学生向けの3Dプリンタ体験、作業療法について知る催しを開催。
24	埼玉県立大学	情報発信		自治体（行政）			広報こしがや、千間台西連合自治会広報等における記事掲載。
25	埼玉県立大学	越谷市シルバーカレッジ	平成17年度	自治体（行政）			生涯学習の一環として高齢者（60歳以上の越谷市在住者）に学習の機会を提供。 ・9月4日（水）笑顔と健康を守るケア・60歳からの口腔保健管理 ・9月18日（水）在宅での介護のコツ～介護する人・される人、共に笑顔でいられるために～
26	埼玉県立大学	越谷市の学生参加事業の呼びかけ		自治体（行政）			越谷市学生議会、若者まちづくり懇談会、越谷サンシティのあり方に関する市民懇談会について、学生の事業参加を呼びかけ。
27	埼玉県立大学	夏休み子ども学習室in 県立大学	令和4年度	自治体（行政）			夏休みの小・中学生の学習支援を本学で実施。
28	埼玉県立大学	青少年健全育成学習講座		自治体（行政）			青少年の健全育成を図ることを目的に、主に青少年に関する各種団体の連絡調整、団体及びグループの育成、非行防止、事故防止対策の推進のための機会を提供。 ・7月6日（土）人権啓発推進事業 青少年健全育成学習講座「あなたの知らないお菓の世界」
29	埼玉県立大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体（行政）			地域の大学や市町村、団体、NPO法人が連携して、子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供。 本学では2講座を開催。 ・10月12日（土）心を通わすコミュニケーション ・11月30日（土）かむ力について学ぼう！
30	埼玉県立大学	自殺対策ゲートキーパー研修会	令和4年度	自治体（行政）			自治体から講師を招へいし、本学の教職員研修の一環として、学生の自殺防止のための対応について講座を開催。
31	埼玉県立大学	越谷市生涯学習フェスティバル		自治体（行政）			生涯学習の一環として子どもから高齢者までのあらゆる世代に学びのきっかけづくりを提供する参加・体験型イベントへの出展。 ・2月23日（日）「からだのおはなし会」-いっしょに学ぼう「からだのしくみ」-
32	埼玉県立大学	学校ボランティアの派遣		自治体（行政）			授業科目の一環として、養護教諭一種免許状取得課程の学生を小中学校にボランティア派遣。
33	埼玉県立大学	Ecoキャップ回収事業					地域におけるエコキャップの回収事業に協力。
34	埼玉県立大学	埼玉県立大学春日部市民講座		自治体（行政）			春日部市、在住、在学、在勤の方を対象に、市民講座を開催。 ・6月8日（土）知っておきたい学童期の姿勢のお話 ・7月27日（土）子育て講座-親子の相互作用でココロと体をヘルスアップ！-
35	跡見学園女子大学	跡見学園女子大学公開講座	昭和55年度	自治体（行政）			本学新座キャンパスでは、新座市教育委員会共催又は新座市教育委員会後援、及び埼玉県教育委員会後援、並びに「彩の国教育の日協賛事業」の一環として「教養コース」を開講している。
36	跡見学園女子大学	にいざぶラスカレッジ（旧：新座市民総合大学）	平成12年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		新座市内にある3大学（十文字学園女子大学、立教大学、跡見学園女子大学）がそれぞれ講座を開講している。新座市内在住、もしくは在勤・在学の18歳以上の方が受講対象。
37	跡見学園女子大学	学問探究プログラム	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等			学問への関心を喚起し、また進路選択の一助となることを目的として、本学教員が高校に向向き授業を行う学問探究プログラムを実施している。教員の幅広い専門分野を網羅する形で講義メニューを用意し、高校に案内している。 対面に加えて、オンライン形式でも実施している。
38	跡見学園女子大学	彩の国大学コンソーシアム単位互換制度	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			埼玉県内にキャンパスのある大学が相互に協定を結び、「彩の国大学コンソーシアム単位互換制度」を発足させた。現在、加盟大学は6校で、それぞれ科目を定めて相互に学生を受け入れている。36単位を超えない範囲で、本学の卒業要件の単位として認定される。
39	跡見学園女子大学	アカデミック・インターンシップ	平成15年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	インターンシップは、マネジメント学部2年次必修科目である。講義科目で学ぶマネジメントに関する理論と、企業・団体や地方自治体等における就業体験を通してさらに発展させ、学生の学習の方向性を明確にするとともに、マネジメントの「マインドとスキル」習得により、実務能力を高めるきっかけとすることを目標としている。 令和6年度には、県内18箇所（企業4、公益財団法人5、特定非営利活動法人1、社会福祉協議会2、社会福祉法人1、自治体5）で実習が行われた。
40	跡見学園女子大学	埼玉県三郷市におけるインクルーシブ公園の開発と管理運営	令和3年度	自治体（行政）			令和5年3月22日にオープンしたインクルーシブ公園「なかよしひろば」の積極的な活用を促進するために、アカデミックインターンシップの課題として、赤松ゼミ2年生が、交流企画を立案・実施。障害児と健常児が一緒に遊ぶ機会を提供した。昨年度の反省点を改良し、双方の交流を促すことができた。しかし未だ認知度の低さ、通常時の利用状況の不活発といった課題があるため、今後も三郷市と連携してこれらの課題解決に取り組んでいく予定である。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
41	跡見学園女子大学	基礎ゼミナール(学外実習)でのインターンシップ	平成28年度	産業界(企業等)	自治体(行政)	地域団体・非営利団体(商工会、社会福祉協議会、自治会、NPO等)	講義で学んでいる観光デザインやコミュニティデザインの知識、理論を、企業や自治体、NPOなどの非営利機関における就業体験や社会体験、または特定のテーマに基づく調査活動を通して具体的・実感的に検証する。調査活動では、実習先から与えられたテーマや学生自らの問題意識に基づくテーマ調査を行い、具体的提言を行っている。 令和6年度には、埼玉県内4箇所(企業1、自治体2、非営利団体1)で就業体験、調査活動などの実習が行われた。
42	跡見学園女子大学	埼玉県大学就職問題協議会主催 合同企業説明会	平成23年度	産業界(企業等)	大学・短大(大学・短大間連携)		埼玉県大学就職問題協議会加盟16大学主催(協賛:公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会/埼玉中小企業家同友会/株式会社埼玉りそな銀行)の下、合同企業説明会(オンライン)を実施。当日は、埼玉県に拠点を置く52社が参加し、加盟大学所属の学生との就職における交流の場(1日最大8社の説明を受けることが可能)となった。
43	跡見学園女子大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	令和2年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在の大学/短期大学・自治体・団体(事業者)で構成する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)」に加盟。地域の活性化を目指し、共同で公開講座、入試広報活動、FD・SD、就活支援、地域との連携事業(イベント等)に取り組んだ。
44	跡見学園女子大学	埼玉県富士見市教育相談事業	令和5年度	自治体(行政)			埼玉県富士見市教育相談室と連携し、市内小学校へのチューデントサポーター(学生)派遣や、心理検査(WISC検査)を実施し、個別に支援を必要とする児童生徒のサポートを行なっている。
45	跡見学園女子大学	埼玉県和光市ちはやふる～はじめての百人一首～	令和6年度	自治体(行政)			和光市役所教育委員会事務局 生涯学習課 南公民館と連携し、小学生を対象とした「百人一首」講座を実施した。
46	跡見学園女子大学	埼玉県和光市朗読をもっと身近に はじめての朗読講座	令和6年度	自治体(行政)			和光市役所教育委員会事務局 生涯学習課 南公民館と連携し、「はじめての朗読講座」を開催した。 和光市内在住・在勤の朗読初心者を対象とし、講師は元NHKアナウンサーを務めた。
47	浦和大学	社会福祉法人浦和福祉会との連携	平成11年度	その他			社会福祉法人浦和福祉会 特別養護老人ホーム「スマイルハウス」と連携し、教育・研究面で様々な交流を生み、大学・施設双方に有意義な連携活動がなされている。
48	浦和大学	「大崎むつみの里」就労支援	平成14年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			知的障害者施設「大崎むつみの里」の就労移行支援及び就労継続支援に協力し、週2回の学内清掃作業を同施設に依頼している。本学が福祉の大学として就労支援に協力することは、本学学生、知的障害者双方に大変有意義なプロジェクトとなっている。
49	浦和大学	「緑区区民祭り」への参加・協力	平成15年度	自治体(行政)			令和6年10月27日に、本学教員2名、学生ボランティア約50名が参加し、埼玉スタジアムにて大変盛況に実施された。本学は「あそびの広場(水引きづくり、スライムづくり、ペットボトルボウリング、魚釣りゲーム、スーパーボールすくい)や「ステージプログラム(エイサーの演技披露)」を通して、来場された区民との交流を図った。
50	浦和大学	リレーフォーライフへの参加	平成19年度	地域団体(NPO、ボランティア等)			令和6年9月28日に協賛(スポンサー・パートナー)として参加した。
51	浦和大学	さいたまマラソンにおける運営および応援協力	平成27年度	自治体(行政)			令和7年3月16日に開催された「さいたまマラソン2025」実施にあたり、大学施設貸与の協力を行った。当日は、給水ボランティア(11名)及び応援ボランティア(エイサー等)も参加した。なお、浦和実業学園高等学校との共同ボランティアチームを結成した。
52	浦和大学	就職・進学委員会主催インターンシップ	平成27年度	産業界(企業等)			企業等における就業体験(インターンシップ)を通して、社会を知る、仕事を知る機会として実施。実習先については、地元産業(企業等)を中心に依頼。令和6年度は1件の企業と覚書を交わした。
53	浦和大学	サウンドテーブルテニス大会	平成27年度	その他			令和6年7月14日、公益社団法人埼玉県視覚障害者福祉協会が主催する「第39回サウンドテーブルテニス」の大会に、本学と浦和実業学園高等学校がボランティアとして参加した。
54	浦和大学	健康体操教室	平成28年度	その他	幼保・小・中・高等学校等		以下の期間にて対面形式で実施した。なお、受入れ施設の許容人数から定員を15名として2回開催した。参加者は各回12名であった。内容としては、①ウォーミングアップ②参加者と学生の交流のためのレクリエーション③マシンを活用したレジスタントトレーニング④クールダウンであり、1回の開催時間は約1.5時間であった。 ＜第1期＞令和6年7月30日～11月11日 各月曜日 全6回開催 ＜第2期＞令和6年11月18日～12月23日 各月曜日 全6回開催
55	浦和大学	一日大学生	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	令和6年度は、「海のいきものを知ろう!」を令和6年8月に実施した。
56	浦和大学	教育インターンシップ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	産業界(企業等)	幼保・小・中・高等学校等	学校教育学科1年生の必修授業として、さいたま市教育委員会とインターンシップ覚書を締結し、小学校のチャレンジスクールで、放課後や土曜日に生徒への学習や体験活動等のサポート活動をしている。学校教育学科2～4年生は、さいたま市のアシスタントティーチャーや、埼玉県の彩の国かがやき教師塾などの事業に参加し、現場体験をしている。
57	浦和大学	第10回浦和美園まつり&花火大会	平成29年度	自治体(行政)			令和6年10月27日に開催された埼玉高連鉄道株式会社主催「第10回浦和美園まつり&花火大会」に協賛した。本学からは2名の教職員、学生ボランティア5名が参加協力し、レクリエーション体験などを実施した。
58	浦和大学	本学主催「おもちゃコンテスト」	平成29年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		「第8回おもちゃコンテスト」を以下の内容で実施した。(後援:埼玉高連鉄道(株)、埼玉県、さいたま市) 応募期間は令和6年7月1日～9月24日、発表は10月13日に行い、表彰も行った。エントリーは760名の全国の高校生からあった。また、埼玉高連鉄道株式会社からは、選考・講評・賞与に協力をいただいた。
59	浦和大学	さいたま市民活動サポートセンターフェスティバル	令和4年度	自治体(行政)			令和7年3月1日、2日に実施されたフェスティバルに教職員3名、学生5名が参加協力した。
60	浦和大学	浦和美園イオン「うららか広場出展」	令和5年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		令和6年6月16日、10月14日に教員3名と学生10名が参加協力した。(主催:イオンリテール(株) 後援:さいたま市 共催:美園タウンマネジメント協会)6月16日は「絵本の読み聞かせとアートワークショップ」で参加親子は約70組、10月14日は「ボールフォーキング」で参加市民が約40名だった。
61	浦和大学	医療生協さいたま主催「生協歯科健康まつり」	令和5年度	産業界(企業等)			令和6年11月10日に、教員1名が協力した。
62	浦和大学	区民フォーラムみどり	令和6年度	自治体(行政)			令和6年8月6日に、さいたま市緑区役所で、令和6年度「区民フォーラムみどり」が開催され、本学の学生2名が参加した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
63	共栄大学	子ども大学かすかべ	平成30年度	自治体（行政）			春日部市教育委員会、春日部市青年会議所と共同で、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。 令和6年度の講座は以下のとおり。 1日目《ふるさと学》 「ラッシュ名曲コンサート～お料理を食べちゃった犯人は誰だ？～」 2日目《ふるさと学》 「春日部の魅力を再発見しよう！」 3日目《はてな学》 「大学の学園祭で商品のPRをしてみよう！」 4日目《はてな学・生き方学》 「自分の将来について考え、大切な人に喜んでもらおう！」
64	共栄大学	共栄大学公開講座	平成30年度	自治体（行政）			開かれた大学を実現するために、春日部市教育委員会と連携し、地域社会の文化の向上に資することを目的として、全2回開講する公開講座。 令和6年度の実施内容は以下のとおり。 ・AIと共に進化する社会 ・＜見る＞って楽しい！
65	共栄大学	春日部市国際交流フェスボランティア	令和6年度	自治体（行政）			春日部市青年会議所が主催する国際交流フェスに国際経営学部と教育学部より11名の学生がボランティアとして参加。春日部市の共生に向けて積極的に取り組みを行った。
66	共栄大学	春日部市役所で「音と光の不思議なアート体験」を開催	令和6年度	自治体（行政）			国際経営学部伊藤ゼミでは、最先端の技術を活用した「インタラクティブデジタルコンテンツ」の制作を通して、コンピュータに関する基礎的な知識や技能に加えて、様々な表現技法を組み合わせたメッセージ性のある演出を学び、デジタルテクノロジーやコミュニケーションデザインに関する理解を深めてきたが、その学びを体験型デジタルアート空間「音と光の不思議なアート体験」というイベントを春日部市役所にて開催することにより、地域社会との連携を通して、地域の文化振興に貢献する教育を実現した。
67	共栄大学	地域スポーツの実践を学ぶ授業の実施	令和6年度	自治体（行政）			フィールドワーク（基礎）の授業（国際経営学部 北島信哉専任講師）において、春日部市教育委員会主催の親子スポーツ教室の現場に運営スタッフとして参加し、実際の地域スポーツの現場から、スポーツイベント企画、運営に関する、多くの学びを深めた。今後も地域スポーツの現場と連携した学びを実践していく予定。
68	共栄大学	VR体験と鉄道模型をキッズフェスタうちまき2024に出展	令和6年度	自治体（行政）			国際経営学部伊藤ゼミでは、内牧市民センター（春日部市）で開催された「キッズフェスタうちまき2024」に、VR体験と鉄道模型を出展。本学伊藤ゼミが担当した「鉄道ワールド」では、東武鉄道の新型特急車両N100系「スぺーシア X」車内のVR体験（制作：伊藤大河准教授・河合麗奈助教、協力：東武鉄道株式会社）や、ジオラマを交えた6列車同時走行可能な鉄道模型（Nゲージ）の走行展示、手回し発電機によるNゲージの走行体験を実施し、多くの親子連れや鉄道ファンの方々楽しんで頂いた。
69	共栄大学	留学生が春日部市の平和フェスティバルに参加	令和6年度	自治体（行政）			10名の留学生がフェスティバルに参加し、会場運営や受付に携った。1名はイベントの司会を務めた。
70	共栄大学	デジタルアートを光のイルミネーションルームに出展	令和6年度	自治体（行政）			国際経営学部伊藤ゼミでは、内牧市民センター（春日部市）にて開催された「うちまきミュージックフェスタ in Winter」内の「光のイルミネーションルーム」にデジタルアートを出展。 地域社会との連携や、地域の子どものための育成に貢献する活動を実施。
71	共栄大学	手回し発電で動かす鉄道模型を「グーかす横丁」に出展	令和6年度	自治体（行政）			国際経営学部伊藤ゼミでは、グーかすかべ（春日部市春日部第2児童センター）で開催された地域イベント「グーかす横丁」に「手まわし発電で電車をうごかそう！」のコーナーを出展。ハンドルを速く回すほど高い電圧が得られて列車の速度が上がること、回転方向を変えると列車の進行方向も逆になることを通して、小学6年生の理科で学ぶ内容を体感的に理解できる教材となり、当日は206名の来場者があり、未就学児や小学生を中心に、多くの方々に体験いただいた。
72	埼玉医科大学	「埼玉医科大学市民公開講座」	平成17年度	自治体（行政）			身近な病気の話題を取り上げ、広く一般の方々を対象とした公開講座。埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 【詳細】 ・令和6年6月8日 テーマ『貧血と感染症による肺炎』 ・令和6年6月15日 テーマ『よくわかるうつ病と依存症』 ・令和6年9月14日 テーマ『妊婦健診の重要性和無痛分娩』 ・令和6年10月12日 テーマ『最先端のがん治療はいつとなっている？』 ・令和7年1月25日 テーマ『アレルギー』
73	埼玉医科大学	地域医療連携懇話会	平成22年度	その他			地域の病院との情報交換の場で、隔月第3水曜日に定期的に開催している。
74	埼玉医科大学	毛呂山町との地域連携協定	平成24年度	自治体（行政）			・本学及び本学短期大学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施 ・毛呂山町振興計画審議会委員として本学職員の派遣 ・毛呂山町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員として本学職員の派遣 ・毛呂山町行政改革推進委員会委員として本学職員の派遣 ・歩こうよ！もちろま健康ウォーキング事業への協力 ・本学教職員による町内保育園への手洗い講座の実施 ・毛呂山町内イベント（スポーツフェスタ毛呂山）への協力 ・生涯学習人権教育講座に講師として本学医師の派遣 ・本学臨地実習生の受入れ ・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等
75	埼玉医科大学	小中学校教育体験実習	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			医学部1年生が毛呂山町立小中学校に半日2回訪問し、授業見学、交流経験を行い、短時間の保健指導を行っている。
76	埼玉医科大学	彩の国ビジネスアリーナ（産学連携）	平成27年度	産業界（企業等）			埼玉県産業振興公社等が主催した展示会に出展し、ニーズマッチング会やリサーチパークの紹介を紙面にて行った。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
77	埼玉医科大学	日高市との地域連携に関する基本協定	平成25年度	自治体（行政）			・大学の3ポリシーを踏まえた各種取組に対する外部評価実施 ・日高市行政経営審議会委員として本学職員の派遣 ・日高市健康習慣に関するアンケート調査の実施に向けた取組 ・日高かわせみの里ツーデーウォークの協賛への協力 ・日高市内イベント（日高市健康まつり等）への協力 ・ひ・まわり探検隊「体験教室」への協力 ・本学臨地実習生の受入れ ・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等
78	埼玉医科大学	飯能市との連携・協力に関する基本協定	平成30年度	自治体（行政）			・本学臨地実習生の受入れ ・メタボリックシンドローム改善効果判定事業への取組 ・地域包括ケアシステム構築のための社会資本の活用に関する共同研究 ・市内公立小・中学校への学校医（耳鼻咽喉科）の派遣 ・奥むさし駅伝救護スタッフとして本学看護士の派遣 ・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等
79	埼玉医科大学	株式会社埼玉りそな銀行との連携・協力に関する基本協定	令和元年度	産業界（企業等）			・本学リサーチパークの活用促進に関するビジネスマッチングの検討 等
80	埼玉医科大学	越生町との連携・協力に関する基本協定	令和元年度	自治体（行政）			・健康づくり検診への医師等の派遣 ・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場への本学職員の派遣 等
81	埼玉医科大学	埼玉大学との連携協定	令和2年度	その他			・埼玉大学と埼玉医科大学との包括協定に基づく共同研究支援グラントの実施
82	埼玉医科大学	埼玉県との保健医療に係る連携に関する協定	令和6年度	自治体（行政）			・地域医療提供体制の強化を目的とする連携事業の実施等
83	埼玉工業大学	心理学セミナー		自治体（行政）			パラエティに富んだテーマで心理学の世界を講座として用意し、地元をはじめとした一般の方へ開講する。 臨床心理学に関する心理学セミナー 【令和6年度】6月8日、7月15日、9月16日、9月23日、11月4日（オンライン開催）
84	埼玉工業大学	心理相談室		自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		さまざまな心理的な問題や心理的、神経症的な症状に悩む人たちにに対し専門家（臨床心理士）・大学院生による心理的援助を行う。 子育ての悩み、学校に関する悩み、人間関係などの悩みに関する相談。（予約制）
85	埼玉工業大学	ふかや市民大学	平成22年度	自治体（行政）			「ふかや市民大学」は、市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、学習を通して人と人となりがつながら、そこでの学習成果をまちづくりに生かすことを目的として実施する。 【令和6年度】6月8日（対面開催）
86	埼玉工業大学	公開講座	平成12年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）		教育・研究成果を地域社会に還元し、学びの場を提供することを目的に開講する。 【令和6年度】6月1日（2講演）、6月8日、6月15日（2講演）全5回（対面・オンライン開催）
87	埼玉工業大学	SAIKOフェア	平成19年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		一般市民を対象に大学の研究成果や学生プロジェクトの活動状況の発表を行う。 【令和6年度】10月13日（対面開催）
88	埼玉工業大学	子ども大学ふかや	平成22年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	大学・短大（大学・短大間連携）	深谷市・深谷青年会議所等と協同で実施 「はてな学」、「生き方学」、「ふるさと学」の3分野について学び、大学教員等による講義や実際に身体を使うワークショップなどの体験活動を行い、成果発表会で学びの成果を発表を行う。 【令和6年度】7月27日、8月6日、8月17日、8月24日、8月31日（対面開催）
89	埼玉工業大学	出前授業・模擬授業	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			教育・研究の成果を地域社会に還元すべく、高等学校・地域社会・地元産業界と連携強化を努めている。本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が直接高等学校に出向き講義を行う。
90	埼玉工業大学	高大連携事業 大学見学		幼保・小・中・高等学校等			大学教育・高校教育の活性化を図るため、協定を締結した連携校の大学見学や体験授業等を行う。
91	埼玉工業大学	高大連携事業 出前授業		幼保・小・中・高等学校等			本学で所有する知的資源を有効に活用するという趣旨で、本学専任教員が連携校に出向き講義を行う。
92	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会第1回講演会		産業界（企業等）			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催する。 講演タイトル「人々の暮らしを豊かにする「微生物研究」のお話」 【令和6年度】6月26日（対面・オンライン開催）
93	埼玉工業大学	先端科学研究所協力会第2回講演会		産業界（企業等）			研究成果を地域企業に還元することを目的とし開催する。 講演タイトル「液体に電気を貯めるレドックスフロー電池のご紹介」 外部講師：産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域省エネルギー研究部門 副研究部門長 佐藤 緑 先生 【令和6年度】9月24日（対面・オンライン開催）
94	埼玉工業大学	彩の国ビジネスアリーナ2025		産業界（企業等）			研究シーズ、産学官連携活動（技術相談、共同研究事例等）等をイベントで紹介するため、彩の国ビジネスアリーナへ出展する。 【令和6年度】2024年1月22日～23日（対面開催）
95	埼玉工業大学	子ども大学ほんじょう	令和6年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	大学・短大（大学・短大間連携）	子どもたちの「理科離れ」を「理科場慣れ」にすることを目的に、大学で科学のふしぎを実際に体験するプログラムを実施する。 【令和6年度】2024年8月11日（対面開催）
96	埼玉工業大学	子ども大学よりい	令和4年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	大学・短大（大学・短大間連携）	寄居町では、子どもの学ぶ力や生きる力の向上を目的とし開校する。 【令和6年度】令和6年2月15日
97	埼玉工業大学	本庄市市民総合大学	令和6年度	自治体（行政）			本庄市の将来像「あなたと活かす、みんなで育む、歴史と教育のまち 本庄 ～世のため、後のため～」を実現してゆく人材の育成と、市民一人ひとりが自己を高め、人格を磨き、幸せで豊かな人生を送ることができるように市民総合大学を設置 【令和6年度】令和6年7月15日

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
98	埼玉工業大学	おしごとフェスタ2024	令和6年度	産業界（企業等）	幼保・小・中・高等学校等		「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」の一環として、将来を担う小学生を対象に体験しながら道徳と経済が学べる企画「おしごとフェスタ2024」を開催し、道徳とチャレンジ精神（失敗を恐れない）を育みながら、経済の仕組みを学ぶ機会をつくとともに、開催を通して地域の活性化の視野に取り込むことを目的とする。 【令和6年度】令和7年2月1日
99	埼玉工業大学	深谷市ゆりと紙漉き体験	令和6年度	産業界（企業等）	幼保・小・中・高等学校等		出荷時に切り落とされるコリの茎の繊維を使った和紙づくりで、和紙の商品化に取り組み深谷クリーンパークと、工学部生命環境化学科本郷照久教授がこのプロジェクトを広く知ってもらおうと初めて企画したもの。 【令和6年度】令和7年3月5日
100	芝浦工業大学	埼玉県彩の国ビジネスアリーナ/産学連携フェア	平成24年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	研究シーズ、産学官連携活動（技術相談、共同研究事例等）、本学主催イベントを紹介し、県内企業との技術相談・共同研究推進及びイベントへの勧誘を実施。（R6年度）
101	芝浦工業大学	地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）	平成25年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	文科省からの補助金交付は平成29年度で終了したが、大学の自己資金にて活動継続。地域との連携を更に強化して、『まちづくり』と『ものづくり』を通じた教育・研究・社会貢献を実施。（R6年度）
102	芝浦工業大学	さいたま市高度ものづくり人材育成支援事業	平成26年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		ものづくり企業の製品化を支援するために、プロトタイプング手法を活用した実践的人材育成プログラムを、地域企業の若手技術者に対して実施。（R6年度）
103	芝浦工業大学	埼玉県との連携授業	平成26年度	自治体（行政）			土木工学科、環境システム学科において、埼玉県総合技術センターと連携し、県土整備部や都市整備部の職員による連携授業を実施。（R6年度）
104	芝浦工業大学	課題解決型授業への課題提供	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		埼玉県との連携的包括協定に基づき埼玉県から、さいたま市とのイノベーション協定に基づきさいたま市から、及び埼玉県内・さいたま市内企業様から課題解決型授業への課題提供を頂いた（システム工学特別演習を対面とオンラインで実施）。（R6年度）
105	芝浦工業大学	埼玉県産学連携ネットワーク会議	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		ネットワーク会議への参加で意見交流を実施。（R6年度）
106	芝浦工業大学	（一社）さいしんコラボ産学官主催 「開放特許を活用した学生アイデア発表会 in 埼玉」 ～中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会～	平成30年度	産業界（企業等）			中小企業のための「知財を活用した商品アイデア創出事業」アイデア発表会in埼玉に、本学から1チームが参加。アイデア名『歩行動作検知を用いた駅構内でのサービス』（R6年度）
107	芝浦工業大学	さいたま市人材高度化タスクフォース事業	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		市内企業と協力して、さいたま市から補助金を獲得し、共同研究を通して企業若手と学生の人材育成を実施。（R6年度）
108	芝浦工業大学	知と地の創造拠点フォーラム	平成30年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	第1部「私たちがつくるみらい計画」 第2部 COC学生成果報告会 第3部 情報交換会@大宮OP生協食堂 本学の活動事例を、企業、自治体、関連団体、地域の皆様等に広く理解いただくとともに、学生の研究成果発表に対し、参加者からの評価をいただくことで産学連携を通じた人材育成を推進することを目的として実施。（R6年度）
109	芝浦工業大学	芝浦ビジネスモデルコンペティション（SBMC）開催の後援を承認いただいた	令和3年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		埼玉県、さいたま市、埼玉りそな銀行、埼玉縣信用金庫、さいしんコラボ産学官。（R6年度）
110	芝浦工業大学	埼玉県産業支援課「（仮称）渋沢栄一起業家サロン」機能等検討有識者会議 渋沢MIX	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		大学の知を生かして、有識者会議に参画。（R6年度）
111	芝浦工業大学	埼玉県産業労働部企業立地課「埼玉Rich応援団」に参加	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		埼玉Rich応援団員として活動中。（R6年度）
112	芝浦工業大学	さいたま市『脱炭素先行地域』関連の共同研究検討	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		企業（東電PG）と共同研究実施。（R6年度）

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
113	芝浦工業大学	さいたま市産業創造財団との連携強化	令和4年度	自治体 (行政)	産業界 (企業等)		CNIに関連した技術シーズ集の取りまとめ(R6年度)
114	芝浦工業大学	埼玉県産業支援課「アントレプレナーシップ教育推進会議」に参画	令和5年度	自治体 (行政)	産業界 (企業等)		大学の知を生かして、推進会議に参画。(R6年度)
115	芝浦工業大学	さいたま市・大宮アルディージャとの共同研究	令和5年度	自治体 (行政)	産業界 (企業等)		3月4日の党首締結を受けて、3者共同研究契約締結中。大宮アルディージャVENTUS(U18・U15)と連携し女性アスリートのけがを未然に防止するための研究を実施。(R6年度)
116	芝浦工業大学	子ども大学SAITAMA	平成26年	子ども大学SAITAMA実行委員会			地域の大学や市町村、企業・団体が連携して、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する「子ども大学SAITAMA」に参加、子ども向けの講座として「まちと環境を考える～SDGsの取り組みを知ろう!」を12月7日に実施した。
117	芝浦工業大学	埼玉県生涯学習ステーション、リアル体験教室プレミア公開講座(STEAMプログラム)	平成3年度	自治体			芝浦工業大学では、本学の教育・研究成果を地域社会に還元し、また学びの場を提供することを目的として、幅広い世代の方を対象とした公開講座を実施している。令和6年度は、埼玉県生涯学習ステーションへの講座情報の提供および、埼玉県県民生活部青少年課の「リアル体験教室プレミア」事業に参加、下記の講座を実施した。 ・測量実習21世紀の伊能忠敬になってみる!～地図づくりのプロたちから学ぶ3次元測量～
118	十文字学園女子大学	地域活動(ボランティア)Youth Volunteer部	平成8年度	自治体(行政)			日本赤十字社東京支部学生奉仕団に加盟しており、そこを拠点として様々な活動を行っている。障害者の方々と出かけたりレクリエーションをしたり、定期的にボランティア活動を行っている。
119	十文字学園女子大学	新座市内大学公開講座	平成9年度	自治体(行政)			新座市教育委員会と本学の共催により、新座市内大学公開講座を開催している。令和6年度は、次の公開講座を開催した。()内は参加者数。 ・8/1～1/31「『実践食事学』のスズメ～疾病リスクを減らす考え方～」(オンデマンド配信講座)97名 ・9/14「平安朝の恋文・書道と文学のコラボレーション」126名 ・11/16「土井善晴のいいしものセミナー」lesson5「心に残す食事～私たちと自然の間にあるもの～」205名 ・11/30「どうなる! ? 子どもの心とからだ」最新の全国調査結果をふまえて～163名
120	十文字学園女子大学	インターンシップ(大学)	平成11年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の展望を考える機会とする。実施期間:夏季休眼中(前期)または春季休眼中(後期)を中心に、5日間以上の実習について単位を付与する。
121	十文字学園女子大学	にいざプラスカレッジ	平成12年度	自治体(行政)			新座市が市内3大学(跡見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学)と連携し、「にいざプラスカレッジ」(新座市民総合大学を令和2年度に改称)を開校している。大学キャンパスなどを使用しバウエティに富んだ講師陣による座学、実技・フィールドワークといった特色ある講義を展開している。市内在住・在勤・在学の18歳以上を対象。 令和6年度は「まちづくりコース」を開講し、全7回の講義を実施した。 受講者27名
122	十文字学園女子大学	リカレント教育	平成20年度	埼玉県	大学・短大(大学・短大間連携)		埼玉県では、県内大学との協働事業として、県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとなるよう、授業科目の一部を開放するリカレント教育事業(開放授業講座)を実施しており、本学も参画している。 令和6年度受講者数 前期:22名 後期:17名
123	十文字学園女子大学	子ども大学にいざ	平成22年度	自治体(行政)			子ども大学にいざ実行委員会(新座市教育委員会・地域ボランティア団体「雑木の会」・十文字学園女子大学)が主催し、小学4年生～6年生を対象に、大学教員や地域の方を講師に講義を行う。令和6年度は、次のとおり全2回の講義を実施した。 ・8/7「ペットボトルロケットを飛ばして遊ぼう!」(十文字学園女子大学 塚田 昭一教授) ・8/8「埼玉県版SDGsボードゲーム」(Global Ocean代表SDGsビジネスマスター 宮内 清登氏) 参加者39名
124	十文字学園女子大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成22年度	自治体(行政)			埼玉県内の中山間地域における、高齢化や過疎化の進行により農林業や地域活動の維持が困難な地域に対して、大学生の感性や知識を活かして地域の活性化を図る支援活動。大学の研究室等で学生が「ふるさと支援隊」を組織し、地域で実際に活動し、地域住民との協働活動や農業支援活動を行う。 令和6年度はく横瀬町全域地区>、く皆野町日野沢・金沢地区>、くときがわ町大附地区>において活動。
125	十文字学園女子大学	子ども大学しき	平成26年度	自治体(行政)			子ども大学しき実行委員会(志木市教育委員会・NPO法人アンサーズネット・十文字学園女子大学)が主催し、小学4年生～6年生を対象に、大学教員や地域の方を講師に講義を行う。令和6年度は、次のとおり全2回の講義を実施した。 ＜テーマ＞ことばに親しむ ・3/1「テレビ番組の舞台裏 ～アナウンサー体験してみよう!」(テレビ朝日広報局 お客様フロント部 職員) ・3/8「謎解きクイズによう!」(十文字学園女子大学 星野 祐子教授) 参加者23名
126	十文字学園女子大学	株式会社西武ライオンズとの連携事業	平成28年度	産業界(企業等)			(株)西武ライオンズとの連携協力に関する協定に基づき、以下の連携事業を行っている。 ・球団イベントへの学生ボランティアの派遣(R6は球団からの依頼なし) ・球団・新座市・大学プラットフォーム「TJUP」との共催による、本学での親子野球体験イベントの実施(学生が運営スタッフとして参加)

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
127	十文字学園女子大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	令和元年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在の20大学・23自治体・17事業者等で構成する「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)」に加盟。地域の活性化を目指し、共同で公開講座、FD・SD、単位互換、地域の教育支援、地域への就職促進、入試広報活動、地域との連携事業(イベント等)に取り組んでいる。令和6年度もオンラインを併用しながら、各活動に取り組んだ。
128	淑徳大学	インターンシップ	平成10年度	地域団体(NPO、ボランティア等)	産業界(企業等)	自治体(行政)	在学中の就業体験を通じて社会や企業・団体を知るだけでなく、自分の適性や働くことの意味を理解する機会であり、自分探しや就職活動に生かしている。
129	淑徳大学	リカレント教育(開放授業講座)	平成19年度	自治体(行政)			県内在住の高齢者や団塊の世代の方に対し、授業科目の一部を受講できるように開放している。
130	淑徳大学	夏季淑徳教師養成塾	平成25年度	自治体(行政)	小学校		子ども達とふれあう楽しさや指導する難しさに気づき、教職を真剣に目指す意識を強固にすることを目的としたボランティア活動であり、夏季休暇期間中に教育連携先自治体等の要請を受けて、児童の宿題や個別学習の支援を行う。
131	淑徳大学	子育て支援事業	平成25年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		教員・保育士を目指す学生のボランティア活動を通じた実践の場として、学内外(保育園、幼稚園、児童館、自治体の施設等)での乳幼児を対象とした公演やふれあい活動を実施している。
132	淑徳大学	フレンドシップ事業	平成29年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		教員の養成段階において学生が種々の体験活動等を通して子ども達と触れ合い、子ども達の気持ちや行動を理解し、教員としての実践的指導力の基礎を習得することを目的とした事業で、近隣自治体の行事へのボランティア参加要請により、地域社会との連携強化を図っている。
133	城西大学	城西大学公開講座	昭和57年度	大学・短大(大学・短大間連携)	産業界(企業等)		教育研究の成果を広く地域に開放し、高度化、多様化する地域住民の学習意欲と地域社会のニーズに応えるために公開講座を開講した。
134	城西大学	MOA美術館 坂戸・鶴ヶ島児童作品展	平成14年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		「MOA美術館児童作品展」は、子どもたちが興味関心を持ったことをひとりひとりの感性で絵に表現していくことで、「思いやり的心」「豊かな心」を育てることを目的に1989年よりMOA美術館(静岡・熱海)が主催となって実施している児童作品展で、「坂戸・鶴ヶ島児童作品展」は、その全国展に先駆けて行われる地域展となる坂戸市、鶴ヶ島市内の小中学生たちの絵画作品展で2002年より行っている。 2015年より学生ボランティアとしてこの展覧会運営に参加し、子どもたちの創作活動への支援を地域ボランティアとともに取り組んできた。 2021年度より会場を坂戸市文化会館から城西大学水田美術館へ変更し、会期も2日間から3週間程度と長く設けて開催する事となった。 会期前日には入賞者表彰式を開催、その他、土日も開催するように対応し、学生ボランティアが表彰式運営スタッフ、土日来館者対応スタッフとして参加した。
135	城西大学	埼玉県事業「大学の開放授業講座」	平成19年度	自治体(行政)			県と大学が協力して、県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくため、授業科目の一部を開放し、一般の学生と一緒に学ぶ機会を提供する。
136	城西大学	坂戸市との連携協力	平成20年度	自治体(行政)			坂戸市との連携協定に基づき、互いに協働し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展、そのための人材育成に寄与する。 教職員の各種審議会等への参加をはじめ、市内公民館等における講演会講師、イベントへの実行委員としての参加や広報媒体の制作などを行っている。
137	城西大学	リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越実行委員会との連携事業	平成21年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024川越4大学連携(IPE)の学生と共にがん患者さんとご家族に対してリレーを通して支援をする、がん制圧に向けた世界共通のチャリティーイベントであるリレー・フォー・ライフ・ジャパン川越2024に参加した。2024年度はSAIPE活動企画として、埼玉医科大学の産婦人科医の監修のもと、「6つのがんを防ぐ「HPVワクチン」を知る・考える・伝える」をテーマとして、HPVワクチンに関するポスターの作成、相談会、スタンプラリーの開催、SNSによる発信など様々な活動を行った。
138	城西大学	埼玉県事業 埼玉県川の国応援団「高麗川プロジェクト」	平成24年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)		「川の国埼玉」の実現に向けた県民による川の再生活動。城西大学は「高麗川プロジェクト」として登録し、人間教育、国際教育、地域連携をキーワードとする活動を推進する重要なプログラムとして「高麗川プロジェクト」を策定した。このプロジェクトは、学生のアイデアに基づく高麗川に関わる自主的な活動を、これまでの活動と合わせて、「高麗川プロジェクト」と位置づけて支援し、それらをつなげることで、学生と地域の方たち、教職員が一体となり、高麗川をふるさとの川として誇りに思い、この地域に世代を超えて伝わる自然環境の再生活動やエコ活動への関心を高め、地域の活性化につなげることを目指したものである。高麗川多目地区の美化活動と自然環境の定点観察並びに情報発信を行なった。また、荒川流域ネットワークにより開催される「アユ漁体験と魚捕り」イベントにおいて、会場の設営、子供たちの魚捕りのサポート、捕った魚の調理など、運営をサポートも行った。
139	城西大学	埼玉県内博物館との連携 埼玉県博物館連絡協議会	平成24年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)	大学・短大(大学・短大間連携)	2012年度より加盟中の「埼玉県博物館連絡協議会」では、研修への参加や情報共有を行うなど、県内にある美術館・博物館と相互連携を図るようにしており、今年度については、所属する西部地域の催物案内への情報提供や、「埼玉県博物館連絡協議会加盟国マップ」の校正作業に協力した。
140	城西大学	彩の国連携力育成プロジェクト(SAIFE)	平成24年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	埼玉県内職団体	埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学の4つの大学と埼玉県が連携して取り組んでいる専門職連携教育(Interprofessional Education: IPE)で多職種連携によって課題を発見し解決できる人材育成を行い、専門職連携(Interprofessional Work: IPW)によって地域住民の質の高い暮らしを支えることのできる地域社会づくりに貢献することを目的に4大学の学生がチームで現場実習に取り組む連携科目を共同開発・開講したほか、県内の職能団体を通じ、現職者を対象とした研修会なども開催している。
141	城西大学	子ども大学にしているま	平成24年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)	大学・短大(大学・短大間連携)	坂戸市・毛呂山町の教育委員会と連携し、子どもの学ぶ力や生きる力をばくくみ、地域で地域の子どもを育てるしくみをつくる。 なお2024年度は「超低温の世界、「いい塩梅の化石講座」の2講座を実施し、25名の小学生が参加した。
142	城西大学	日高市との連携協力	平成25年度	自治体(行政)			日高市との連携協定に基づき、互いに協働し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展、そのための人材育成に寄与する。 教職員の各種審議会等への参加をはじめ、イベントへの実行委員としての参加や学生による学習ボランティアなどを行っている。
143	城西大学	坂戸市との連携 「坂戸市住宅団地にぎわい再生事業」	平成26年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	大学の授業、課外活動その他周辺地域と連携した活動を地域住民と協働して行う。様々な取り組みを通じて、地域住民及び学生等が自由に活動できる場を提供する。 毎月1日に発行している「北坂戸にぎわいサロン通信 城西大学」において薬学研究科医療栄養学専攻院生の食品コラムと料理レシピを提供している。2024年度においては、アロマキャンドル製作体験、男女駅伝部報告会などの対面開催イベントを行った。
144	城西大学	ローカルヒーローによる地域活性化事業	平成27年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	経営学部において地域振興、福祉の新しい活動として注目されるローカルヒーローを研究するゼミ活動として、自治体、自治会、産業界が主催するイベント等でショーの運営を行う。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
145	城西大学	卒業研究を通じた連携	平成28年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	自治体や地域団体、産業界からの依頼を受け、環境DNAを用いた生息地調査を行っている。
146	城西大学	道の駅おがわまちとの連携 小川町観光プロモーション活動	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		現代政策学部において、小川町の観光の魅力を発信するための創作活動・発信を行う。小説、映像、音声等をSNS等を利用して配信している。
147	城西大学	坂戸・鶴ヶ島消防組合との連携 大学生機能別団員の活動	平成29年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		坂戸市が市内3大学と締結している「災害時における協力体制に関する協定」に基づき、課題である平日昼間における大規模災害時の団員不足を解消する方策として、大学生が地震などの大規模災害時において、避難所運営のサポートに任務を限定して活動し、基本団員が一人でも多く災害現場で活動できる体制を作り、消防力の強化を図るため、大学生機能別団員が結成された。2024年度は34名の学生が登録し、普通救命講習などの研修や大学の防災訓練に参加し活動した。
148	城西大学	彩の国ネットワーク	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	「テロを許さない街づくり」の確立に向け官民一体となった効果的なテロ対策の推進
149	城西大学	埼玉県との連携 「不当表示広告調査（健康食品等）」	平成30年度	自治体（行政）			HPや雑誌、新聞広告をしらべ不当表示広告を埼玉県に報告する。
150	城西大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開、履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進 等
151	城西大学	インターンシップ		地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	自治体（行政）	自治体や企業のほか学校での授業補助のチューデントインターンシップを実施。坂戸市教育委員会と連携して行うチューデントインターンシップは、坂戸市内の小学校、中学校に授業や放課後指導の補助にあたった。
152	城西大学	総合型スポーツクラブ「JAWS」		自治体（行政）			毛呂山町と城西大学を結び、スポーツ文化の創造と、地域の活性化を目的とした総合型地域スポーツクラブの教室運営を陸上競技部、サッカー部、女子ソフトボール部が担当している。
153	城西大学	「坂戸よさこい」		自治体（行政）	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア等）	「坂戸よさこい」の継続及び更なる発展のため、本学から検討を行う坂戸よさこい実行委員会への委員での参加。当日は本学のストリートダンスサークルのシェーレースが参加し、城西マネジメント研究会が出演し、まつりを盛り上げた。
154	城西大学	こども応援ネットワーク埼玉事業 「Happy-lucky-café」	令和元年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		小学生の放課後の居場所づくりとして、城山公民館を会場に最寄の坂戸市立城山小学校が情報周知に協力のもと、こども食堂、学習支援教室、プレパークを運営している。
155	城西大学	ときがわ町との連携協力	令和元年度	自治体（行政）			連携協力のもと、産業、文化、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。 特定健診時の栄養食事調査と健康教育、広報ときがわへの毎月の「城西大学通信」の執筆、食を語る会（食や健康に関わる専門職種の方の研修会、Tokigawa Motion（フレイル予防対策）を実施した。
156	城西大学	越生町との連携協力	令和元年度	自治体（行政）			連携協力のもと、産業、文化、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。
157	城西大学	鶴ヶ島市立図書館との連携事業	令和2年度	自治体（行政）			鶴ヶ島市立図書館協議会への出席を通じて図書館運営に関する諸計画の立案、図書館運営に関する調査・研究を行ったり、鶴ヶ島市立図書館を使った調べる学習コンクールの審査員を連じた連携を行っている。 昨年度に引き続き、本学の関図書館長が審査委員長を務めた。
158	城西大学	毛呂山町との連携協力	令和3年度	自治体（行政）			毛呂山町との連携協定に基づき、互いに協働し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展、そのための人材育成に寄与する。 教職員の各種審議会等への参加をはじめ、イベントへの実行委員としての参加などを行っている。
159	城西大学	越生町 梅瀬カフェとの連携事業	令和3年度	産業界（企業等）			越生町山口農園内のシェアカフェ「梅瀬カフェ」にて医療栄養学科の学生たちがワンディカフェの運営を実施する
160	城西大学	Josai Univ Football Festival	令和4年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	「城西サッカー部を知ってもらうために、地域の方を招待しサッカーを楽しんでもらう。我々の取り組みを理解してもらえよう、常に真摯に行動し、おもてなしできるようにする。」をミッションにサッカー部内の地域貢献部局が企画・運営の中心となり、学生が打ち合わせを重ねて実施した。
161	城西大学	坂戸市サッカー協会との連携 「坂戸市少年サッカートレゼン活動」	令和4年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			坂戸市の少年サッカーチームから選抜された選手を集めてのトレーニング。定期的に実施している活動を今回は城西スポーツフィールドにて、城西大学サッカー部員による指導を行なった。
162	城西大学	毛呂山町立光山小学校との連携事業	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			地域交流事業として毛呂山町立光山小学校の児童が、城西大学の構内を見学したり、理学部化学科と水田美術館での学びの体験プログラムに参加したり、留学生との交流をおこなったりしなどの事業を実施した。
163	城西大学	毛呂山町延命寺との連携 書初め会での指導	令和4年度				書道サークルの学生が延命寺において、地域の小中学生の書初め会での指導を行った。書初めの指導の後、冬休みの宿題や自習課題の学習支援も実施した。
164	城西大学	武蔵越生高校との連携 総合探究ゼミ 城西大学発表会	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			武蔵越生高校の総合探究において校内から選抜されたゼミが城西大学で発表会を実施した。審査員として城西大学の学生と教職員が参加した。
165	城西大学	アトレマルヒロアカデミーフェスティバル	令和4年度	産業界（企業等）			川越市近隣の大学や専門学校が、日頃の勉強や研究内容を活かし、体験会等を行うイベントである。2024年度は「お魚を食べよう」をテーマに「お魚レシジ集」の配布や血管年齢測定（血圧・血管年齢、血流チェック、糖化ストレスチェック）・栄養相談会、城西大学医療栄養学科オリジナル「JOSA10カラーゲンようかん」の販売、医療栄養学科学生の考案した「まるでネギ！パン」販売を行った。
166	城西大学	鶴つ子サマースクール×大学生WIN-WIN事業	令和4年度	自治体（行政）			鶴ヶ島市の児童・生徒が学習意欲の向上や学習習慣の定着、「確かな学力」の育成を目指し、夏季休暇中の自主学習をする際に発生した疑問点や誤答を解消するため、大学生が学習指導補助員として鶴ヶ島市内小中学校で指導・支援を行う。大学生にとっては、児童生徒への指導を通じて、貴重な経験を積めるほか、教職課程を履修している学生にとっては、現場経験を積むことができるよい機会となる。
167	城西大学	産学連携ネギ・米ブランディング事業	令和5年度	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		地域産業の活性化を目的に、ちほるふぁーむ（鳩山町）とTomozoy's Farm（川越市）と協働し、メニュー開発、情報発信、ブランディングにチャレンジした。
168	城西大学	イオンモール浦和美園店との連携 「食と職」イベント開催	令和5年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	「食事バランスチェックシート」を用いたご家族の栄養バランスをチェックする小中学生向け栄養士職業体験イベント

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の時期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
169	城西大学	地域相互協力図書館合同主催公開講座	令和5年度	自治体（行政）			2024年度は「漢方薬で使われる薬草 ～かぜ症候群に使われる葛根湯など～」を開催し、地域の方、公共図書館員など41名が参加した。
170	城西大学	飯能信用金庫との連携 「地元商店応援プロジェクト」	令和5年度	産業界（企業等）			経済学部4つのゼミ（1・2年）がゼミ活動の一環として、産学連携協定を締結している飯能信用金庫の取引先である地元商店のプロモーション活動の取り組みを行った。
171	城西大学	埼玉県立図書館等との連携 図書館と県民のつどい埼玉2024	令和5年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学・短大（大学・短大間連携）	県内の市町村立図書館、県立図書館、高校図書館、大学図書館、活字文化に関わる団体などが協力して開催するイベントである。本学は「がんばれ小学生！未来の博士を応援！」のポスターや地域連携活動発表会パネルのほか、学生アドバイザーの制作物（グッズ）などを展示した。
172	城西大学	ひ・まわり探検隊	令和5年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		日高市と連携をし、日高市内の小中学生を対象に、郷土愛の醸成と地域の大人との交流の機会を作る「体験教室」を開催した。「世界にひとつだけのうちわを作ろう!」美術館、「わくわく!!何が出てくる?化石割り&ドキドキ!何が隠れる?木版画摺り体験!」美術館・化石ギャラリー、「みんなで楽しく1.動くスライムを作ろう!2.酵母によるパン生地の発酵の仕組みを観察しよう!」化学科の3教室を実施した。
173	城西大学	北坂戸イーストフェス	令和5年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			芦山町町内会とけやき通り商栄会がタッグを組んだお祭り「北坂戸イーストフェス」が開催され、本学経営学部のローカルヒーローショー、吹奏楽部、ダンスサークルSHOELACE（シューレース）がステージを披露した。
174	城西大学	多文化交流フェスティバルinさかど	令和5年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）	産業界（企業等）	異文化に対する関心や理解を深めることを目的に開催され、本学学生が運営スタッフとして参加した。
175	城西大学	東松山市との連携 きらめき市民大学	令和5年度	自治体（行政）			幅広い年齢層の方が自主的に学んでいる東松山市のきらめき市民大学に、本学教員が講師を行った。東松山市民の学びに貢献を行った。
176	城西大学	水田美術館 展覧会関連企画講演会	令和5年度	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		展覧会「福島県鉄道展 一記憶が奏でる鉄道讃歌ー」、「パッケージ小断 巻ノ巻一観光たばこにみる懐しの日本ー」、「第65回記念 日本版画会入賞作品展+日本版画会関東支部作品展2024」など、各専門家をお招きして、展覧会関連企画講演会を開催した。
177	城西大学	「楽しもう！図書館を使った調べる学習コンクール」応援講座	令和5年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		坂戸市立中央図書館において、学生アドバイザー12名が「楽しもう！図書館を使った調べる学習コンクール応援講座」で講師を務めた。
178	城西大学	昭和レトロ祭り	令和6年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	幼保・小・中・高等学校等		西入間青年会議所の新企画として、地域活性化に資するイベント事業として坂戸駅駐車場を会場に「昭和99年レトロ祭り」を開催した。
179	城西短期大学	城西大学公開講座	昭和57年度	大学・短大（大学・短大間連携）	産業界（企業等）		教育研究の成果を広く地域に開放し、高度化、多様化する地域住民の学習意欲と地域社会のニーズに応えるために公開講座を開講した。
180	城西短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進 等
181	尚美学園大学	放課後パワーアップ教室	令和元年	自治体（行政）			近隣小学校において、児童の安全かつ安心な居場所を設け、学習支援を通して児童が地域社会の中で心豊かに健やかに育まれることを目的とした事業に学生ボランティアとして派遣している。学生は宿題や自主学習の支援を行っている。
182	尚美学園大学	川越大学間連携講座	平成24年度	自治体（行政）			川越市との連携講座 川越市民対象の公開講座で、毎年1講座実施している。
183	尚美学園大学	日商PC検定対策セミナー	不明	自治体（行政）			川越市との連携講座。 外部講師をお呼びし、求職者を対象にPCセミナーを大学で実施している。
184	尚美学園大学	小えど多文化共生まつり	令和6年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			「川越市民の日」に因み、川越市民と国内外の方々と共に、多文化共生社会の理念に基づいた文化交流を通して相互理解を深めることを目的としたイベントに、本学から学生ボランティアとして会場運営や誘導などに参加した。
185	尚美学園大学	小・中学校、高等学校との異文化交流	平成16年度	小・中学校、高等学校			各学校から国際理解の学習あるいは国際交流事業において、実際に外国の方々との交流を通して、異文化に触れる体験的な学習を目的とした授業に外国人留学生の派遣をしている。留学生は独自の資料等を準備し、母国の文化・習慣などの紹介や生徒と交流を行っている。R6年度は小学校2校、高等学校1校で実施した。
186	尚美学園大学	大東地区子どもフェスティバル	平成30年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			大東地区地域子どもサポート委員会主催による「子どもフェスティバル」において参加者は昔ながらの遊びや地域の方による体験教室を通じて交流を図る目的の事業に外国人留学生を派遣している。留学生は運営ボランティアとして、母国紹介などを行っている。
187	尚美学園大学	外国人のための高校進学ガイダンス川越会場	平成27年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			クリア日本語学習支援教室及び川越市国際交流文化交流課が主催する日本語を母語としない中学生やその家族等を対象とした「進学ガイダンス」に外国人留学生を派遣している。留学生は参画校と参加者間の通訳スタッフをしている。
188	女子栄養大学	鴻巣市でエディブルフラワーを使用したメニュー開発	令和元年度	自治体（行政）			連携協定を締結している日本薬科大学との「薬食同遊プロジェクト」の取り組みの一環として、両大学の学生考案によるエディブルフラワー（食用花）を使用したメニューを期間限定で提供。「花の町 鴻巣市」を食用花で盛り上げようとの想いから共同でメニュー開発を行った。
189	女子栄養大学	ふじみ野市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			「昭和100年大学」元気健康学部・健康のための教養学科の講師依頼があり、上福岡公民館で「高齢者の栄養学」について、講義を行った。60代、70代の方を中心に約60名が参加。
190	女子栄養大学	富士見市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			富士見市主催の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業「セルビア語&セルビア料理教室」がらふみ野駅前「ピアザふらふみ」で開催され、調理補助として協力。市内在住の20名が参加。セルビア共和国の家庭料理4品を作り、交流を図った。
191	女子栄養大学	鳩山町との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			鳩山町食生活改善推進員21名が研修のため坂戸キャンパスを来訪。連携事業の一つとして、「講話・学食体験」を実施。
192	女子栄養大学	埼玉縣信用金庫主催「さいしん夏休みキッズスクール」に参加	令和元年度	産業界（企業等）			埼玉縣信用金庫本店（熊谷市）で開催された「さいしん夏休みキッズスクール」において、ものづくり体験の授業「マジック細工」の講師を務めた。ものづくり体験等を通じて、みんなで楽しくお金に関わる知識を学ぶことを目的とした同金庫主催の企画に参加するのは、今年で3回目。
193	女子栄養大学	川越市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			川越市中央公民館にて、市内の小中学生が参加した「こどもクッキング教室」に協力。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
194	女子栄養大学	埼玉県産農畜産物を使用したメニュー開発	令和元年度	自治体（行政）			埼玉県・全国農業協同組合連合会埼玉県本部・公益財団法人埼玉県学校給食会との協力により、県産農畜産物を使用した3食餃子「豚de野彩（とんでやい）餃子」を開発。県産農畜産物の魅力を伝えるとともに消費拡大を目的としたもので、食文化栄養学科学学生が参加し、考案。
195	女子栄養大学	富士見市オリパラ1年前イベントに協力	令和元年度	自治体（行政）			富士見市でオリンピック・パラリンピック1年前イベントが開催され、市のホストタウンとして登録されたセルビア共和国のPRとして、セルビア料理の試食提供と販売等を行った。
196	女子栄養大学	ふじみ野市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			ふじみ野市の開催する高齢者向けの学びの場である「昭和100年大学」にて元気健康学部・健康のための教養学科「高齢者の栄養学」を開催。「65歳からの体重コントロールと食生活」について、講義を行った。
197	女子栄養大学	春日部市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			春日部市保健センターで市民に向けた「体験型栄養セミナー ～バランス満点お弁当～」が開催され、「3・1・2弁当法」の講義と演習を行った。また、バランス満点弁当のメニューも監修した。
198	女子栄養大学	埼玉県「フードロス対策講座」に参加協力	令和元年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		「そごう大宮店 Eco Weeks」における「フードロス対策講座」に参加協力。実演を交え、フードロスを削減するレシピ、調理方法、食材の保存方法を紹介。
199	女子栄養大学	富士見市ふるとさと祭りに参加	令和元年度	自治体（行政）			富士見市ふるとさと祭りの富士見市ブースにおいて、市のホストタウンであるセルビア共和国のPRとしてセルビア共和国の料理、サワーチェリーケーキ・ナスババケーキ・コナツツボール・セルビアコロッケの販売を行った。
200	女子栄養大学	三芳町産「みよし野菜」を使用したレシピの試食会	令和元年度	自治体（行政）			三芳町産の「みよし野菜」を使用した「癒しのレシピ」の試食会を行った。「みよし野菜」の周知やブランド化を目的に活動している「みよし野菜ブランド化推進研究会」と「食料・地域経済学研究室」のゼミ生が協力して作りあげた。学生たちは、同町の園場や野菜販売施設を実際に見学し、農家や町の人たちの意見を取り入れながら、ハヤシライス、季節の野菜の天ぷら、米粉のピザをメインとした3つのレシピを考案した。
201	女子栄養大学	春日部市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			・春日部市民文化会館で開催された「埼玉地区教育委員会連合会・東部地区教育長協議会合同研修会」で「学校教育における食育のあり方」について講演を行った。埼玉地区教育委員会連合会会員、同地区内の指導主事・事務局職員、北埼玉地区教育委員会連合会所属教育長の約90名が参加。 ・春日部市中央公民館講堂で開催された「保育講座」で、「子どもの味覚と食育～子どもにとっての食の豊かさを考える～」について講演を行った。市内保育施設に勤務する保育士の方々を中心に約200名が参加。
202	女子栄養大学	富士見市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			富士見市健康増進センターが主催となり、ふじみ野駅前「ピアザ☆ふじみ」にて「親子de簡単手作りおやつ教室～クリスマスのお菓子を作ろう♪～」と「手作りおせち料理教室」の2つの講座が開催され、講師として参加。
203	女子栄養大学	国立女性教育会館 創立記念週間イベントに協力	令和元年度	産業界（企業等）			連携先である国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町）の創立記念週間イベント（NWECAニバーサリーウィーク）が開催され、本学とコラボしたイベントが開催された。 ①館内レストランにて本学カフェテリア監修のランチを提供 ②館内売店にて「プラント」の焼き菓子・クッキーを販売 ③ミニ講義「成長期に食べたいおやつは？」の開催
204	女子栄養大学	「川越市場まつり」に出展	令和元年度	産業界（企業等）			連携先である川越総合卸売市場株式会社が主催する「川越市場まつり」に出展。焼き菓子等の販売、料検5級問題チャレンジを行う等の学園の広報活動を行った。
205	女子栄養大学	鶴ヶ島市チャレンジショップで学生考案メニューを提供	令和元年度	自治体（行政）			鶴ヶ島市チャレンジショップ「つるカフェ」にて、期間限定の地域振興カフェ「IRODORI CAFÉ」をオープンし、秋父出身の食文化栄養学科4年生が鶴ヶ島市と秋父地域のコラボランチプレートを提供した。
206	女子栄養大学	三郷市との連携事業	令和元年度	自治体（行政）			三郷市内小学校での「令和元年度埼玉県小・中学校食育指導力向上授業研究協議会」において「教育と食育の関わり」について講演
207	女子栄養大学	鳩山町との連携事業 はとやま食エコレシピコンテスト	令和2年度	自治体（行政）			鳩山町主催、鳩山町教育委員会共催の「はとやま食エコレシピコンテスト2020」の審査員及び食エコレシピ集の監修に調理学研究室（大学）の教員が協力。
208	女子栄養大学	埼玉県との連携事業 食品ロス削減レシピの作成	令和2年度	自治体（行政）			おうちで実践できる食品ロス削減レシピの作成に、調理学研究室（短大）の教員が協力。レシピは、4つのテーマ（「時短」・「家事負担軽減」・「食費削減」・「健康」）に沿って作成。食品ロス削減月間の10月に埼玉県ホームページでレシピを公開。
209	女子栄養大学	埼玉県庁 × そごう大宮店 【おうちでできるフードロス対策レシピ】	令和2年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		おうちでできるフードロス対策レシピの作成に、調理学研究室（短大）の教員が協力。食品ロス削減月間の10月、そごう大宮店のホームページで、レシピを公開。
210	女子栄養大学	埼玉県との連携事業 「彩の国学校給食研究大会」	令和2年度	自治体（行政）			埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、（公財）埼玉県学校給食会が主催した「彩の国学校給食研究大会」で、「教育と食育との関わり」について、講演。学校給食担当者や学校給食共同調理場の職員、公立小・中・特別支援学校・学校給食実施高等学校の教職員、約150名が参加。
211	女子栄養大学	埼玉県・一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会主催 令和2年度埼玉パラドリームアスリート事業スポーツ医科学講習会	令和2年度	自治体（行政）			令和2年度埼玉パラドリームアスリート事業スポーツ医科学講習会において、栄養生理学研究室（大学）の教員がアスリートの栄養・食事」の演題で、90分間、オンライン上で講演。
212	女子栄養大学	三芳町との連携事業 三芳産の野菜たっぷり弁当を考案	令和2年度	自治体（行政）			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」に連携し、地元野菜をふんだんに使ったお弁当づくりに食料・地域経済学研究室の教員が指導のもと、学生が協力。お弁当開発のコンセプトは、「おいしいみよし野菜をたくさんの人に食べてほしい！」。2種類（主菜が2つのガッツリ系弁当＆主菜が一つのヘルシー系弁当）考案。販売日・数量限定で、三芳町文化会館内「福祉喫茶ハーモニー」で販売された。
213	女子栄養大学	富士見市との連携事業 学校給食の新メニューの考案	令和2年度	自治体（行政）			不足しがちな栄養素をおいしく摂るため、学校給食の新メニューの作成に、給食・栄養管理研究部の教員が指導のもと、学生が協力。新メニューは、特に不足しがちな鉄分の補給を目的に、鉄分を多く含むレバーチップや小松菜を使用。市内の小・中学校で新メニューが提供された当日は、メニューを考案した学生も調理を手伝った。
214	女子栄養大学	富士見市との連携事業 食育動画講座「パン作り教室」の作成に協力	令和2年度	自治体（行政）			富士見市食育推進事業「パン作り教室」の動画講座で、専門学校の教員が講師を務めた。対面での教室開催予定から市民（申込制）が動画（富士見市撮影・編集）を視聴できる形へと変更しての実施。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
215	女子栄養大学	三郷市との連携事業 簡単健康乳幼児レシピと調理動画の作成に協力	令和2年度	自治体（行政）			乳幼児の食生活の重要性を考え、保護者が手軽で簡単に作ることができる健康な乳幼児向けのレシピと調理の動画の作成に、給食システム研究室（大学）の教員指導のもと、学生がレシピ考案、離乳食の試作、撮影等に取り組んだ。レシピと調理の動画は、三郷市のホームページで公開。
216	女子栄養大学	榊ベルクとの連携事業 栄養バランスの取れたおいしいお弁当メニューを監修	令和2年度		産業界（企業等）		榊ベルクが製造・販売する栄養バランスの取れたおいしいお弁当メニューを毎月2点、年間24点監修。
217	女子栄養大学	コープデリ生活協同組合連合会との連携事業	令和2年度		産業界（企業等）		コープデリ生活協同組合連合会の販売する健康をテーマにした「からだ健やかシリーズ」のお弁当メニューを監修
218	女子栄養大学	ホンダ開発㈱との取組 同社が運営する社員食堂で本学監修健康フェアを実施	令和2年度		産業界（企業等）		本学園学生食堂の管理栄養士が監修した学食メニューを、ホンダ開発㈱が運営する社員食堂で、提供する健康フェア「からだよろこぶ健康ごはん」を期間限定で実施。
219	女子栄養大学	㈱国太楼との取組 同社の製品2種を監修	令和2年度		産業界（企業等）		㈱国太楼の製品「GABA配合ポット用掛川茶」及び「GABA配合ポット用ルイボスティ」の2種を栄養科学研究所が監修。量販店及びネットで販売予定。
220	女子栄養大学	ふじみ野市 昭和100年大学「高齢者の実践栄養学」で講演	令和3年度	自治体（行政）			ふじみ野市「昭和100年大学」元気健康学部「健康のための教養学科」で本学教員が「高齢者の実践栄養学」の演題で講演
221	女子栄養大学	富士見市食育動画「親子で楽しくお菓子作り教室」の作成に協力	令和3年度	自治体（行政）			夏休みに親子で簡単に家で作ることができる「お菓子作り」の動画作成に協力、専門学校教員が講師を務めた。
222	女子栄養大学	「埼玉県SDGsパートナー」に登録	令和3年度	自治体（行政）			埼玉県が創設した「埼玉県SDGsパートナー」登録制度に登録。埼玉県HPに本学の「SDGs達成に向けた宣言書」が公開
223	女子栄養大学	鶴ヶ島造品会と埼玉県産食材を使用したフレイル予防メニューを紹介	令和3年度	自治体（行政）			埼玉150周年・鶴ヶ島市市制施行30周年を記念して、鶴ヶ島造品会と県内四大学（日本薬科大学・城西大学・明海大学・本学）がコラボした埼玉県産食材を使用した「フレイル予防」をテーマとしたメニューを紹介
224	女子栄養大学	富士見市食育動画「女子栄養大学Cooking講座（洋食編）」の作成に協力	令和3年度	自治体（行政）			本学学生食堂で提供されている学食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking講座（洋食編）」の動画作成に協力。動画は富士見市HPにて一般公開。
225	女子栄養大学	（株）ヤオコーと『減塩』健康生活提案の取組』を実施	令和3年度		産業界（企業等）		包括連携協定を締結している（株）ヤオコー店舗において、『減塩』健康生活提案の取組みを実施
226	女子栄養大学	（株）ヤオコーで埼玉150周年記念『地産地消弁当』を発売	令和3年度		産業界（企業等）		本学、（株）ヤオコー、埼玉県、JAグループが協働して、埼玉県産食材を使用した弁当を企画・開発し、彩りや栄養バランス等の面から本学学生が助言した「地産地消弁当」がヤオコー店舗にて期間限定で発売。
227	女子栄養大学	三芳町産野菜を使った弁当・総菜を考案	令和3年度	自治体（行政）			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携し、地元野菜をふんだんに使った「みよしの野菜癒しのレシピ」の監修業務に学生が協力。教員指導のもと、学生19名が4チームに分かれ、弁当と総菜を考案。JAいるま野農産物直売所「あぐれっしょふじみ野」で期間限定で販売。
228	女子栄養大学	桶川市「スポーツ・健康に関する研修会」で講演	令和3年度	自治体（行政）			桶川市スポーツ少年団「スポーツ・健康に関する研修会」にて本学教員が「スポーツ栄養学、強くなる小学生の食事戦略～旬の食材を使った身体を作る献立作成」の演題で講演。
229	女子栄養大学	秩父地域の特産品を使ったチーズケーキを考案	令和3年度	自治体（行政）			学生が卒業研究の一環で、地域振興の一助になればと、埼玉県秩父地域の1市4町（秩父市、横瀬町、皆野町、小鹿野町、長瀬町）の特産品を使ったチーズケーキを考案。（一社）秩父地域おもてなし観光公社、お菓子な郷推進協議会との協働で商品化。
230	女子栄養大学	志木市主催「減らすソルトフェスタ」内「おいしく減塩」をテーマとした「減らすソルトレシピコンテスト」で各賞を受賞	令和3年度	自治体（行政）			志木市主催の「減らすソルトフェスタ」内「おいしく減塩」をテーマとした「減らすソルトレシピコンテスト」にて本学学生が考案したレシピ6品が各賞を受賞。
231	女子栄養大学	富士見市食育動画「女子栄養大学Cooking教室（和食編）」の作成に協力	令和3年度	自治体（行政）			本学学生食堂で提供されている学食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking講座（和食編）」の動画作成に協力。動画は富士見市HPにて一般公開。
232	女子栄養大学	鳩山町主催「はとやま食エコレシピコンテスト」で特別賞を受賞	令和3年度	自治体（行政）			鳩山町主催の「はとやま食エコ推進事業」内「はとやま食エコレシピコンテスト」にて本学学生2名が特別賞を受賞。また、当コンテスト審査員長を本学教員が務めた。
233	女子栄養大学	埼玉県産小麦「ハナマンテン」を使ったパンレシピを考案	令和3年度	自治体（行政）			学生が卒業研究の一環で、JAいるま野管内で生産された埼玉県産小麦「ハナマンテン」を使ったパンレシピを考案。JAいるま野YouTubeチャンネルでレシピ動画が公開。
234	女子栄養大学	富士見市学校給食の新メニュー開発に協力	令和3年度	自治体（行政）			富士見市学校給食センターとの食育連携事業で地場産米「彩のさずな」を活用した学校給食新メニュー開発に学生が協力。2022年1月28日。富士見市内全小中学校の給食で提供。
235	女子栄養大学	鶴ヶ島産いちご100%シロップ『鶴莓』を使ったレシピ考案	令和4年度	自治体（行政）			つるがしま造品会、鶴ヶ島市とのコラボ企画で、本学食文化栄養学科の学生を対象に、鶴ヶ島市産いちご100%シロップ『鶴莓』を使ったメニューアイデアコンテストを開催。学生たちのレシピを参考にした料理がつるがしま造品会の13の採用店舗で提供された。
236	女子栄養大学	三郷市健康づくり講演会で講演	令和4年度	自治体（行政）			三郷市と健康づくりを進める会inみさとの共催による、三郷市健康づくり講演会で本学教員が「フレイル予防で心も体も若く・元気に」の演題で講演を行った。
237	女子栄養大学	富士見市食育動画講座「女子栄養大学Cooking～野菜たっぷりメニュー編～」作成の協力	令和4年度	自治体（行政）			富士見市との取組として、本学の学生食堂で提供されている定食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking教室～野菜たっぷりメニュー編～」の動画撮影に本学駒込キャンパスカフェテリアの管理栄養士が講師を務めた。
238	女子栄養大学	桶川産梨を使用したスイーツを製造・販売	令和4年度	自治体（行政）			駒込キャンパス菓子工房プラタンにて、桶川市の梨を使用したスイーツ（ゼリー、生パウンドケーキ）を開発し、製造、販売した。
239	女子栄養大学	富士見市食育推進事業 「野菜を食べよう！親子パン教室」に協力	令和4年度	自治体（行政）			富士見市との食育推進事業の取組として「野菜を食べよう！親子パン教室」が開催され、本学教員が講師を務めた。市内在住の小学生と保護者を対象に応募の中から4組が参加し、野菜を使った2種類のパン（じゃがいもとウィンナーのチーズパン・フランクフルト）作りを体験。
240	女子栄養大学	富士見市国際交流フォーラム2022「セルビアフェスタ」に参加協力	令和4年度	自治体（行政）			富士見市で開催された国際交流フォーラム2022「世界へのとびら」において同市とセルビア共和国シャバツ市との姉妹都市提携40周年を記念した写真展やセルビア雑貨の販売するセルビアフェスタが行われ、本学教員とゼミ生が参加協力。ゼミ生が作ったセルビア産ラズベリーを使用したラズベリーケーキ、本学菓子工房プラタンの製造した「はちみつのマドレーヌ」を来場者にプレゼントした。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の時期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
241	女子栄養大学	比企のらぼう菜を使ったメニューを考案・研究発表	令和4年度	自治体（行政）			本学食文化栄養学科の学生が「伝統野菜のらぼう菜による比企地域の振興」をテーマに卒業研究として「のらぼう菜」を使ったレシピを考案、商品の開発、研究発表をした。
242	女子栄養大学	桶川市男女共同参画セミナー「男性料理教室」に協力	令和4年度	自治体（行政）			桶川市の主催する男女共同参画セミナー「男性料理教室」において本学教員が講師を務め、学生が参加者のサポートをした。男性10名が参加。（メニューは「ハンバーグきのこソース 温野菜添え」・「ミネストローネスープ」・「きゅうりのリボンサラダ」・「乾パンdeティラミス」）
243	女子栄養大学	スーパー「ベルク」の弁当・スイーツを考案	令和4年度		産業界（企業等）		㈱ベルクが製造・販売するお弁当メニューを毎月2点、年間24点監修の他、本学食文化栄養学科の学生が惣菜（「からだやさしい秋やさしい御膳」、「からだやさしい冬のパーティーボックス」）、スイーツ（「ていらみすばるふえ」、「ホットローションダンショウ」、「宇治抹茶ときなごの和わふうる」）を考案、ベルクにて販売された。
244	女子栄養大学	三芳町産野菜を使った弁当・総菜を考案	令和4年度	自治体（行政）			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携して、三芳町産野菜を使用した「みよし野菜産品のレシピ」を開発。食文化栄養学科の学生が弁当2種「和ごころ弁当」・「よりどりみよしのまんぷく弁当」と惣菜「スイートポテトサラダ」を考案。三芳町立中央公民館での試食会においてメニューの説明、弁当と惣菜の披露を行った。弁当、惣菜はJAいるま野農産物直売所「あくっしゅふじみ野」と三芳町文化会館内にある福祉喫茶ハーモニーにおいて販売された。
245	女子栄養大学	小川町のプチギフトを考案・販売	令和4年度	自治体（行政）			食文化栄養学科の学生が地元商店、農家、観光案内所と協働し小川町のプチギフト「Ogawa's Cookies & Tea Set」（おからクッキーとカモミールティー）、「ギフト用元祖太田ホルモン辛いたれおよび販売促進ツール」を考案した。商品はマルシェおがわまち、「観光案内所むすびめ」で販売された。
246	女子栄養大学	桶川市スポーツ少年団「スポーツ・健康に関する研修会」で講演	令和4年度	自治体（行政）			桶川市の桶川市役所内会議室にて、令和4年度桶川市スポーツ少年団「スポーツ・健康に関する研修会」が開催され、本学教員が「免疫力を高め、強い体をつくる」の演題で講演（「免疫について」・「免疫力を高め、強い体をつくるポイント」・「強い体を作るための食事のポイント」）を行った。桶川市スポーツ少年団に所属する児童の保護者の他38名が参加した。
247	女子栄養大学	穂と山町主催「はとやまエコレシピコンテスト」で特別賞を受賞	令和4年度	自治体（行政）			鳩山町の「はとやま食エコ推進事業」の取組のひとつである、食工コなアイデアレシピを募集する『はとやま食エコレシピコンテスト』に本学より実践栄養学科の学生5名が応募し、その内の1名が特別賞を受賞した。また、当コンテストの審査員長を本学教員が務めた。応募レシピの中から女子栄養大学特別賞』を選出し、計量カップ・スプーン・ヘラのセットと書籍『新・こともくッキング』（本学出版部発行）が受賞者に贈呈された。
248	女子栄養大学	久喜市主催「第8回クッキー甲子園」コンテストに協力	令和4年度	自治体（行政）			久喜市主催による「第8回クッキー甲子園」コンテストにおいて本学教員が審査員を務めた。5市町より6校の高等学校（北本高校、庄和高校、久喜北陽高校、久喜高校、昌平高校、鴻巣高校）が参加した。
249	女子栄養大学	富士見市食育動画講座「女子栄養大学Cooking～人気の副菜編～」作成の協力	令和4年度	自治体（行政）			富士見市との取組として富士見市文化施設（ピザガ☆らじみ）の食育推進室にて、本学の学生食堂で提供されているメニューを紹介する「女子栄養大学Cooking教室～人気の副菜編～」の動画撮影に本学駒込キャンパスカフェテリアの管理栄養士が講師を務めた。
250	女子栄養大学	富士見市学校給食新メニューの開発に協力	令和4年度	自治体（行政）			富士見市学校給食センターとの食育連携事業として「富士見市施行50周年記念 地場産野菜を使用した学校給食メニュー」の開発に実践栄養学科の学生が協力し、2023年1月31日、富士見市内17校の小中学校に学校給食として提供された。（ごはん、牛乳、野菜たっぷり味噌汁（富士見市隣の三芳町産小松菜入り）、からだき肉のトロトロあんかけ（市内産から入り）、れんこんの彩りサラダ、富士見いちごゼリー（市内産いちご入り））
251	女子栄養大学	秩父地域の特産品を使った新スイーツを学生が考案	令和4年度	自治体（行政）			本学食文化栄養学科の学生が卒業研究の一環で、地域の一般社団法人、地元企業、農家の協力のもと、埼玉県秩父地域の食材を使用した地産地消のスイーツを開発した。開発したスイーツは1市4町の食材を12種使用した8種類のパウンドケーキで、本学駒込キャンパス菓子工房プラントや地元商店で販売された他、地元の飲食店で提供された。
252	女子栄養大学	本学監修の減塩漬物商品2種が株式会社ピツクルスコーポレーションにて販売	令和5年度		産業界（企業等）		所沢市に本社を置く漬物メーカーの株式会社ピツクルスコーポレーションより、本学の監修した減塩漬物商品2種が販売された。「かぼず」を使用することで、浅漬商品にあまり見られなかった減塩手法を用い、豊かな香りと味わいを実現した。「一食当たりの献立」の食塩量を意識し、小鉢1皿分（30g）で0.3gの食塩相当量になるよう、食塩相当量1.0g/100g以下となっている。
253	女子栄養大学	富士見市食育動画「女子栄養大学Cooking教室」の作成に協力	令和5年度	自治体（行政）			本学学生食堂で提供されている学食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking講座（和食編）」の動画作成に協力。動画は富士見市HPにて一般公開。
254	女子栄養大学	秩父地域の特産品を使った新スイーツを学生が考案	令和5年度	自治体（行政）			本学の学生が卒業研究の一環で、秩父地域の観光公社、地元企業、農家の方々の協力のもと、秩父地域の食材を使用した地産地消のスイーツレシピを考案した。スイーツは夏と冬にそれぞれ2種類ずつ考案され、地元商店で販売された他、地元の飲食店で提供された。
255	女子栄養大学	女子栄養大学 食文化栄養学科 × 埼玉県坂戸市 × JAいるま野 協働プロジェクト 開始	令和5年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		2023年8月31日（やさいの日）より、坂戸産の農産物を活用した健康レシピ動画を学生が制作し、坂戸市公式YouTubeチャンネルにおいて配信開始。本学・坂戸市・JAいるま野坂戸農産物直売所の産学官協働の取り組みとして、地産地消の推進、市民の望ましい食習慣の形成等につなげていくことが目的。
256	女子栄養大学	富士見市国際交流フォーラム2023「セルビアフェスタ」に参加協力	令和5年度	自治体（行政）			富士見市で国際交流フォーラム2023「世界へのとびら」が開催され、同市とセルビア共和国シャツ市が姉妹都市を提携していることから実施しているセルビアフェスタにて本学教員とゼミ生が参加協力し、ゼミ生が作ったセルビア産ラズベリーを使用したラズベリーケーキと学生の卒業研究の一環で作ったさつま芋もつぷるを来場者にプレゼントした。また、世界のお茶体験として6ヶ国7種類のお茶の試飲も行った。
257	女子栄養大学	小川町のシェアキッチン「TOIKIBA OGAWA」でワンデイカフェを開催	令和5年度	自治体（行政）			食文化栄養学科の「地域食振興実習」の授業の一環で、本学の学生8名が小川町のシェアキッチンTOIKIBA OGAWAにてワンデイカフェを開催した。学生たちは小川町を実際に訪れ、地域の関係者や生産者への取材を通して小川町の歴史や地域特性、地場産物について学び、「小川町でしか生まれない味がある」という発見を基に、小川町の魅力と学科で学んだ世界の食文化を掛け合わせ、ランチプレートとスイーツに表現。チラシ作成や事前予約受付も学生が担当した。
258	女子栄養大学	富士見市食育推進事業「野菜たっぷり！手作りパン教室」に協力	令和5年度	自治体（行政）			富士見市との食育推進事業の取組として「野菜たっぷり！手作りパン教室」が開催され、本学教員が講師を務めた。市内在住の小学生と保護者を対象に応募の中から4組が参加し、野菜を使った2種類のパン（パンキンブレッド・カルツォーネ）作りを体験。
259	女子栄養大学	毛呂山町との連携事業「スポーツフェスタもうやま」にて講演を実施	令和5年度	自治体（行政）			埼玉県毛呂山町の毛呂山町総合公園にて、「スポーツフェスタもうやま」が開催され、イベントの一つである講座『今日からやってみよう！～スポーツをする人の食事～』で本学教員が講演を実施した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
260	女子栄養大学	「小江戸ハンバーガーフェス2023」にて食文化栄養学科の学生が考案した限定ハンバーガーを販売	令和5年度		産業界（企業等）		川越市連警寺境内で開催された「小江戸ハンバーガーフェス2023」にて、川越市内のハンバーガーショップ「Mrs.hamburger」と共同で本学学生が考案した当日限定のハンバーガーを販売した。販売したのは「山椒の佃煮入り100%和牛バーガー」「うなたま山椒マヨバーガー」「和風大豆ミートバーガー」の3種類で、ときがわ町産の山椒や、最近増加傾向にある外国人旅行客向けに大豆ミートを使用するなど、地域特性を考慮して具材を検討したメニューを考案した。
261	女子栄養大学	寄居町「健康まつり」で食文化栄養学科の学生がプラントベースフードについて情報発信	令和5年度	自治体（行政）			寄居町の「健康まつり」に食文化栄養学科の学生が参加し、卒業研究の一環で作成した冊子「プラントベースな食生活ー健康と地球環境にやさしい選択ー」を配布。さらに、冊子を基にプラントベースフードを食べることのメリットや、考案したレシピのポイントに関するミニ講話も行った。
262	女子栄養大学	三芳町産野菜を使った弁当・総菜を考案	令和5年度	自治体（行政）			三芳町の「みよし野菜ブランド推進研究会」と連携して、三芳町産野菜を使用した「みよし野菜産品のレシピ」を開発。本学学生が弁当2種「心ほんわかみよし日和」と「しあわせ弁当」を考案。三芳町役場での試食会においてメニューの説明、弁当の披露を行った。弁当、惣菜はJALのま野産産物直売所「あくれっしゅふじみ野」と三芳町文化会館内にある福祉喫茶「ハーモニー」において販売された。
263	女子栄養大学	コープデリ生活協同組合連合会との連携事業	令和5年度		産業界（企業等）		さいたま市に本社を置くコープデリ生活協同組合連合会が販売する健康をテーマにしたお弁当メニュー「からだ健やかシリーズ」の監修の他、学生が考案したお弁当メニュー2種類が販売された。
264	女子栄養大学	春日部市との連携事業 地域のPTAの方々を対象に食育講演会を実施	令和5年度	自治体（行政）			春日部市幸松地区公民館にて、地域小中学校PTAの保護者の方々約40名を対象に、子供の食育についての講演会が開催され、本学教員が講師を務めた。
265	女子栄養大学	桶川市と学生が共同で調査・分析を行い、高血圧予防のための動画制作・レシピ考案	令和5年度	自治体（行政）			桶川市との取り組みとして、高血圧予防のため、尿ナトリウム/カリウム比（以下、尿ナトリカリ比）を下げる食生活の普及活動を進めており、学生2名が中心となり、若年層から高血圧予防となる食生活をするために、30歳代向けの尿ナトリカリ比低下の啓発動画の作成と幼い子どもと共に食べることのできる、桶川市の農産物を使用した季節ごとのレシピを考案した。
266	女子栄養大学	桶川市との連携事業 高齢者向けの食事講座を2週に渡って開講	令和5年度	自治体（行政）			桶川東公民館にて「一日にどれくらい食べればいいの？～健康的に長生きするために。シニア世代の一日の食事を学ぶ」と題して、本学の教員が2週に渡り講演と調理指導を行った。
267	女子栄養大学	スーパー「パルク」のスイーツを考案	令和5年度		産業界（企業等）		御ベルクが製造・販売するお弁当メニューを毎月2点、年間24点監修の他、本学の学生がスイーツ「クワッフル」「和わふる～宇治抹茶と生チョコ～」を考案し、期間限定で販売された。
268	女子栄養大学	埼玉県久喜市の学校給食献立を食文化栄養学科の学生が考案	令和5年度	自治体（行政）			本学学生が「久喜市産農産物を活用した献立」をテーマに市内の学校給食献立を考案。ご飯を主食にした献立とパンを主食にした献立の2種類が、久喜市内の小・中学校で提供された。
269	女子栄養大学	学生がレシピを考案した「みそぼてコップ」と「みそぼてくろみコップ」を『秩父はんじょう博』にて試験販売	令和5年度		産業界（企業等）		埼玉縣信用金庫が秩父地域の新名物を生み出すためにコーディネーターとなり、みそぼてと本舗有限会社が製造する秩父地域のご当地グルメである「みそぼて」と、有限会社秩父学給パンセンターの「コップパン」、社会福祉法人清心会で作る「借金なし味噌」、その他秩父産の食材を組合せ、本学学生がレシピを考案した。
270	女子栄養大学	久喜市主催「第9回クッキー甲子園」コンテストに協力	令和5年度	自治体（行政）			久喜市主催による「第9回クッキー甲子園」コンテストにおいて本学教員が審査員を務めた。6市町7校の高等学校（久喜北陽高校、庄和高校、昌平高校、北本高校、久喜高校、白岡高校、蓮田松韻高校）が参加した。
271	女子栄養大学	白岡市との連携事業 市民の方を対象にした講演会を実施	令和5年度	自治体（行政）			白岡市保健福祉総合センターにて、白岡市の食育講座において、本学教員が「日本の食文化を伝える」というテーマで、市民の方を対象とした講演を実施した。
272	女子栄養大学	ASTRA FOOD PLAN 株式会社を取り組む「埼玉 食のサークュラーエコノミープロジェクト」に本学学生が協力	令和5年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		富士見市に本社を置くASTRA FOOD PLAN 株式会社を取り組む「埼玉 食のサークュラーエコノミープロジェクト」に本学学生が協力し、富士見市内の飲食店と給食で提供されたメニューを考案した。
273	女子栄養大学	鴻巣市との連携事業 にぎわい交流館「にこのす」にて地域の食材を使用したメニューを考案	令和5年度	自治体（行政）			鴻巣市商工観光課と鴻巣市にぎわい交流館「にこのす」（運営企業アイル・コーポレーション）とともに、鴻巣市で生産されている食材やエディブルフラワー（食用花）を使用して、「にこのす」内のカフェで提供されるメニューを学生が考案した。
274	女子栄養大学	鳩山町との連携事業 「はとやまエコレシビコンテスト」に協力	令和5年度	自治体（行政）			鳩山町の「はとやま食エコ推進事業」の取組のひとつである、食エコなアイデアレシピを募集する『はとやま食エコレシビコンテスト』で本学教員が審査員長を務めた。また、学生5名がコンテストに応募し、その内2名が優秀賞と特別賞をそれぞれ受賞した。
275	女子栄養大学	富士見市食育動画「女子栄養大学Cooking教室」の作成に協力	令和6年度	自治体（行政）			本学学生食堂で提供されている学食メニューを紹介する「女子栄養大学Cooking講座（和食編）」の動画作成に協力。動画は富士見市HPにて一般公開。
276	女子栄養大学	戸田市『すこやかTODA定食』4種を考案	令和6年度	自治体（行政）			令和5年3月に包括連携協定を締結した戸田市との取り組みのひとつとして、本学学生が『すこやかTODA定食』4種を考案。期間・数量限定で市内店舗で販売された。
277	女子栄養大学	富士見市国際交流フォーラム2024「セルビアフェスタ」に参加協力	令和6年度	自治体（行政）			富士見市で国際交流フォーラム2024「世界へのとびら」が開催され、同市とセルビア共和国シャバツ市が姉妹都市を提携していることから実施しているセルビアフェスタにて本学教員とゼミ生が参加協力し、ゼミ生が作ったセルビア産ラスベリーを使用したラスベリーケーキを来場者にプレゼントした。また、世界のお茶体験として6ヶ国のお茶の試飲も行った。
278	女子栄養大学	富士見市食育推進事業 「野菜たっぷり！手作りパン教室」に協力	令和6年度	自治体（行政）			富士見市との食育推進事業の取組として「野菜たっぷり！手作りパン教室」が開催され、本学教員が講師を務めた。市民を対象に応募の中から10名が参加し、野菜を使った2種類のパン作りを体験。
279	女子栄養大学	寄居町との連携事業の一環として、「YORII KENKO弁当」を学生が考案	令和6年度	自治体（行政）			寄居町健康づくり課からの健康弁当開発の協力依頼を受け、本学教員と学生が弁当2種類を考案。学生は開発に際して町民と町職員を対象としたアンケートの実施や、実際に調理を担当する農産物加工施設の担当者らと意見交換等を行った。また、寄居町役場で開催された「健康まつり」にて学生が講話を行い、同日開催の産業文化祭会場では弁当が数量限定で販売された。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の時期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
280	女子栄養大学	三芳町産野菜を使った弁当・総菜を考案	令和6年度	自治体（行政）			三芳町の「みよし野菜ブランド化推進研究会」と連携して、三芳町産野菜を使用した「みよし野菜癒しのレシピ」を開発。本学学生が弁当2種「みよし野菜の魅力発見！ えがお満彩弁当」と「いろいろよしうまみよし！ まんかい弁当」を考案。三芳町役場での試食会においてメニューの説明、弁当の披露を行った。弁当はJAいるま野農産物直売所「あぐれっしゅふじみ野」と三芳町文化会館内にある福祉喫茶ハーモニーにおいて販売された。
281	女子栄養大学	鴻巣市との連携事業 にぎわい交流館「にこのす」にて地域の食材を使用したメニューを考案	令和6年度	自治体（行政）			鴻巣市商工観光課と鴻巣市にぎわい交流館『にこのす』（運営企業アイル・コーポレーション）とともに、鴻巣市で生産されている食材やエディブルフラワー（食用花）を使用して、「にこのす」内のカフェで提供されるメニューを学生が考案した。
282	女子栄養大学	コープデリ生活協同組合連合会との連携事業	令和6年度		産業界（企業等）		さいたま市に本社を置くコープデリ生活協同組合連合会が販売する健康をテーマにしたお弁当メニュー「からだ健やかシリーズ」の監修の他、学生が考案したお弁当メニューが販売された。
283	女子栄養大学	スーパー「ベルク」のスイーツを考案	令和6年度		産業界（企業等）		榊ベルクが製造・販売するお弁当メニューを毎月2点、年間24点監修の他、本学の学生がスイーツ（「狭山抹茶クロワッサン」「モンブランロール」「川越芋」を考案し、期間限定で販売された。
284	女子栄養大学	坂戸駅前で開催された「昭和99年レトロ祭り」に学生が参加	令和6年度		産業界（企業等）		西入間青年会議所（坂戸市、鶴ヶ島市、鳩山町、越生町、毛呂山町）のまちづくり事業の一環で、6月24日（日）「昭和99年レトロ祭り」が開催され、本学からは学生6名が企画から実施まで関わり、ナポリタン・クリームソーダ・宝石サイダーを販売しました。
285	女子栄養大学	桶川市スポーツ少年団「スポーツ・健康に関する研修会」で講演	令和6年度	自治体（行政）			桶川市の桶川市役所内会議室にて、令和4年度桶川市スポーツ少年団「スポーツ・健康に関する研修会」が開催され、本学教員が『今日から実践！ スポーツをする子供の食事の工夫』の演題で講演を行った。桶川市スポーツ少年団に所属する児童の保護者の約30名が参加した。
286	女子栄養大学	学生が鳩山あんず栽培加工組合と協力し、鳩山あんずを使用したデザートを開発	令和6年度	自治体（行政）			学生が卒業研究の一環として、出身地である埼玉県鳩山町のあんずを使ったデザート『あんず豆乳プリン』を鳩山あんず栽培加工組合と共同で開発。鳩山町で開催されたはとやま祭にて試験販売が行われ好評を博したため、町内の上熊井農産物直売所「ちょつま」および鳩山町コミュニティ・マルシェにて販売されることとなった。
287	女子栄養大学	埼玉県が取り組む「おいしくしお活プロジェクト」に協力	令和6年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		埼玉県が取り組む「おいしくしお活プロジェクト」に協力し、プロジェクトの一環として、本学が味付け等を監修した「埼玉県×女子栄養大学 スパイス香るカレーパン」が関東甲信越地区のローソン店舗で期間限定で販売された。また、イオンモール浦和美國店にて開催された「おいしくしお活」イベントに協力し、大学院生が「食生活のアドバイス」「ベジタビュク」を実施した。
288	女子栄養大学	川越大学間連携講座「地域と食文化 知ろう、味わおう、考えよう」を実施	令和6年度	自治体（行政）			連携活動の一環として坂戸キャンパスにて川越大学間連携講座「地域と食文化 知ろう、味わおう、考えよう」を実施。3名の教員が3週に渡って講演を行い、川越市民約30名が参加した。
289	女子栄養大学	学生が考案した青果商品（サラダ）が株式会社ヤオコーより発売	令和6年度		産業界（企業等）		実習の一環として学生が考案した青果商品（サラダ）が、川越市に本社を置く株式会社ヤオコーの各店舗にて発売された。
290	女子栄養大学	越生町の古民家カフェで越生産の梅と旬の食材を使ったランチを販売	令和6年度	自治体（行政）			埼玉県越生町の山口農園に隣接する古民家カフェ（梅凜カフェ）で、学生がゼミ活動の一環としてカフェ「Ume・結・Cafe」を運営した。学生は山口農園で栽培した梅で作った梅干しや梅ジュース、越生産の米など、地元の新鮮な農産物を使用し栄養バランスを整えた「おこせ梅プレート」を考案し、販売した。
291	女子栄養大学	清和学園高等学校 調理科卒業作品展に松柏軒が協力	令和6年度			高等学校	連携活動の一環として、本学が運営するレストラン松柏軒のスタッフが、越生町に校舎を構える清和学園高等学校の調理科3年生を対象に3回の事前授業を行い、卒業作品展の開催に協力した。
292	女子栄養大学	鶴ヶ島市の減塩と野菜摂取推進事業に協力	令和6年度	自治体（行政）			連携活動の一環として、鶴ヶ島市が市民の食習慣の見直しおよび行動変容を促すために取り組む減塩と野菜摂取推進事業に協力し、「ナトリウム」の調査や検査、結果の集計や分析、改善講座の開催などを実施した。
293	女子栄養大学	ASTRA FOOD PLAN 株式会社が取り組む「埼玉 食のサークュラーエコノミープロジェクト」に本学学生が協力	令和6年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		富士見市に本社を置くASTRA FOOD PLAN 株式会社が取り組む「埼玉 食のサークュラーエコノミープロジェクト」に本学学生が協力し、富士見市内の給食で提供されたメニューを考案した。
294	駿河台大学	市民のための無料法律相談（飯能市、入間市）	平成6年度	自治体（行政）			飯能市および入間市の市民相談への貢献および本学学生に対する法学実地教育の機会として、両市との共同開催による市民のための無料法律相談を行っている。平成17年度には飯能市と、平成18年度には入間市と、それぞれ法律相談に係る協定も結んでいる。
295	駿河台大学	市民の大学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	平成10年度	自治体（行政）			本学教員や各分野の識者・専門家を講師に迎え、毎年4テーマをそれぞれ4回連続の講座で取り上げている。毎年1テーマは、飯能市教育委員会から推薦された講師で講座を展開している。
296	駿河台大学	地域インターンシップ	平成15年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		近隣自治体・商工団体・企業等にインターンシップ実習の受入を依頼し、協定を締結したうえで、5日間から2週間ほど受け入れていただいている。学生は、実習にあたって、事前研修を行い、実習後、報告会で実習の成果を発表する。最終的には、「地域インターンシップ/インターンシップⅠ」という科目名で単位が認定される。
297	駿河台大学	学生参加による〈まち〉活性化プロジェクト	平成18年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		近隣地域を中心に商店街、企業団体等の地域活動を学生が体験学習し、コミュニケーション能力や社会性、現実的な職業観を涵養するとともに、地域社会の重要性を認識し、大学として地域の活性化及び共生を目指す。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
298	駿河台大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成19年度	産業界（企業等）			地域企業である飯能信用金庫と地域における産学連携活動を推進するため相互に協力している。地域社会の発展に貢献することを目的としており、事業内容としては、以下の事業について提携・協力を行っている。 (1) 地域の経済及び企業経営に関する調査・研究 (2) 地域振興活動推進への助言・指導 (3) 地域企業へのインターンシップの促進 (4) 大学における金融教育の促進 (5) 地域教育機関における金融教育方法の共同研究 (6) その他産学連携活動に寄与する事項の推進
299	駿河台大学	子ども大学はんのう	平成26年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	産業界（企業等）	飯能商工会議所・飯能市教育委員会・飯能信用金庫と実行委員会を組織し、小学生が学校では学ぶことができないことを大学の教員や地域の専門家などが5日間隔にわたり授業を行う。
300	駿河台大学	飯能市コーディネーショントレーニング推進協議会	平成26年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		飯能市、飯能市体育協会と連携し、コーディネーショントレーニングの普及に関する活動を行うことにより、飯能市民の健康づくりと運動能力の向上及びコーディネーショントレーニングによるまちづくりに寄与することを目的に、協議会を設立。保育園児や小学生の体験会だけでなく、指導者育成を目的とするセミナーも開催している。
301	駿河台大学	おでかけフェスタ	平成26年度	自治体（行政）			親子や大人と子どもの交流を深め、子育てが楽しくワクワクすることを実感してもらうことを目的に、飯能市と連携し、本学を会場にプログラムを実施。学生も参加している。
302	駿河台大学	飯能市選挙サポーター	平成28年度	自治体（行政）			飯能市から任命された学生が、選挙での若者の投票率を上げるための活動を行う。
303	駿河台大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)事業	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）			東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する20大学・短大で構成する地域連携プラットフォーム(TJUP)に参画。参加校は相互に、また、自治体、産業界とも連携・協力して、人口の減少、少子高齢化の進行、コミュニティの弱体化、地域の活力低下、産業・経済の後退など地域社会が抱える諸課題の解決に取り組み、地域の自立と持続的な発展に寄与することを目的に発足した。合同企業説明会など実施。
304	駿河台大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成30年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			埼玉県の委託事業である中山間「ふるさと支援隊」を実施。飯能の里山資源を活用した「体験」を提供するアウトドア・スポーツ・ツーリズムを盛り上げる活動を進めている。
305	駿河台大学	駿河台大学オンライン公開講座	令和3年度	自治体（行政）			近隣自治体（入間市、所沢市、飯能市、日高市）の後援のもと、本学教員に加えて市より講師派遣をしていただき、様々なテーマを取り上げた公開講座である。オンライン(Zoom)で実施。
306	駿河台大学	中学生社会体験チャレンジ	不明	中学校			生徒の校外授業の一環として、地域の事業所における社会体験を通じ、勤労の尊さや意義を学び、自立心をもって「生きる力」を身に付けることをサポート。
307	駿河台大学	小学生社会科見学	不明	小学校			飯能市内小中学校の社会科見学受入。
308	聖学院大学	福祉教育について考える会こころの輪「ここ輪」	平成29年度	自治体（行政）			「こころの輪（通称：ここ輪）」は、精神保健福祉領域における福祉教育活動を行っている。「みんなで学ぼうメンタルヘルス、共に学ぼうリカバリストリー」を合言葉に、当事者の方々と一緒に学ぶことを大切にしながら、「誰もが住みやすい地域にしていこう」を目指し活動しており、行政の人権講演会の講師等として当事者とともに活動を行っている。
309	聖学院大学	上尾市立南中学校との連携事業	平成30年度	自治体（行政）	中学校		平成30年度より上尾市立南中学校との連携事業を実施している。令和6年度は2月28日（金）に上尾市立南中学校の体育館において本学学生による「防災教室」と「大学生の過ごし方」について特別講義を行った。
310	聖学院大学	「基礎自治体マネジメント研究会」の開催	令和3年度	自治体（行政）			令和3年度より本学と包括連携協定を結んでいる上尾市、さいたま市、春日部市、桶川市、埼玉県比企管内8町村（川島町、滑川町、嵐山町、小川町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村）、岩手県盛石市の自治体職員の研修を目的とした、「基礎自治体マネジメント研究会」を発足させた。具体的には、多くの自治体において喫緊の課題となっている「組織の担い手たる人材育成」を支援する事を目的とし、協定を締結した自治体職員対象に定期的な研修プログラムを実施している。令和6年度は全10回の研修プログラムを開催した。
311	聖学院大学	「地域連携活動助成金」に基づくcottaccottacottaとの連携プログラムの実施	令和6年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			令和3年度より地域の企業やNPO等の団体、大学関係者との協働を促進していく事を目的に「地域連携活動助成金」を設立。本助成金を通じて令和6年度はcottaccottacottaとの連携に基づき、2024年12月17日（火）に本学チャペルにて、学生と地域住民が共演するミュージカル公演『神の遣化師』を上演を行った。
312	聖学院大学	子ども大学あげお・いな・おけがわ	平成23年度	自治体（行政）			埼玉県教育局、上尾市教育委員会、桶川市教育委員会、伊奈町教育委員会、日本薬科大学と本学で組織された子ども大学あげお・いな・おけがわ実行委員会の主催で実施している。小学校5～6年生までの通う学校・学年の子どもたちが大学のキャンパスで学ぶ子どものための大学で、教員が本学の特色を生かした学びの機会を提供している。令和6年度は計5回の講義プログラム（定員60名）が実施され、本学においてはそのうちの2回の講義プログラムが行われた。
313	聖学院大学	さいたま北商工協同組合との連携		産業界（企業等）			さいたま北商工協同組合に大学として会員加入。「さいたまKI-TAまつり」など地域活性化活動に学生が運営ボランティアとして参加。その他、組合員企業とインターンシップの促進に関する覚書や、組合が管理する宮原駅近隣のコミュニティカフェ施設使用に関する覚書を交わし、連携を図っている。令和6年度「さいたまKI-TAまつり」は11月10日（日）に開催された。本学の学生がボランティアとして当日の運営やイベント出演、出店に携わった。
314	聖学院大学	埼玉中小企業家同友会との連携	令和5年度	産業界（企業等）			令和5年4月27日に一般社団法人埼玉中小企業家同友会と産学連携包括協定を締結。埼玉県内の中小企業との連携体制を構築するとともに、本学の教員を企業の研修やメンタルヘルスのプログラムに派遣する等、地域社会の課題にも取り組む体制の構築を図っている。本学との共同企画として令和6年度は(1)4月22日（月）4年生対象地元成長企業就職プログラムを実施し、学生8名が参加した。(2)6月26日（水）4年生対象埼玉中小企業家同友会企業4社による学内会社説明会を開催した。(3)このイベントの実施によりに3名の学生が内定を得ることができた。(4)7月3日（水）3年生対象キャリアガイダンス「中小企業の社長の話を聞こう」を実施した。(5)政治経済学科の「中小企業論」を埼玉中小企業家同友会による寄付講座の形で実施した。
315	聖学院大学	自由の森学園高等学校との高大連携	令和5年度	高等学校（高大連携）			令和6年3月6日（水）に本学は自由の森学園高等学校との連携協定を締結。平成23年度の東日本東北大震災の復興支援を契機として自由の森学園高等学校との交流が始まり、これまでボランティアや福祉に関連する授業の実施や東北ボランティアスタディツアーを通じて、連携を行っている。令和6年度は自由の森学園高等学校においてOB学生による講演会を9月に実施した。
316	聖学院大学	大学コンソーシアムさいたま	平成23年度	大学・短大（大学・短大間連携）			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
317	聖学院大学	埼玉県出前講座	令和5年度	自治体（行政）			埼玉県庁でSDGs推進担当である計画調整課の職員および企画財政部長による「埼玉版SDGs」をテーマにした出前講座を4月24日（水）に開催した。
318	聖学院大学	埼玉県およびイオンモール上尾主催による「SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバル」ワークショップの実施	令和5年度	自治体（行政）			埼玉県環境政策課よりの照会を受け、9月22日（日）に埼玉県およびイオンモール上尾が主催する「SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバル」に学生団体が出展を行った。プラスチックごみの削減をテーマとしてその課題について話しながら、本学の学生が学内で回収したペットボトルを活用してペットボトル貯金箱を製作する。子ども向けのSDGsワークショップを実施した。
319	聖学院大学	そごう大宮店で学ぶ埼玉県の環境フェア	令和6年度	産業界（企業等）	埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム会員の企業		そごう大宮店からの依頼を受け、環境にやさしい社会づくりに取り組む企業と埼玉県で主催するフェアにて、本学で行われている環境教育についてポスター展示を行った。
320	聖学院大学	イケア新三郷とのコラボ企画「イケアのプラントボール試食会」および「イケアサステナブルストアツアー」の実施	令和5年度	産業界（企業等）			企業のサステナブルな取り組みについて学ぶため、令和5年度より学生向けの「イケアサステナブルストアツアー」をイケア新三郷にて実施し、令和6年度には学内に「イケアのプラントボール試食会」を実施した。
321	聖学院大学	日本シーム株式会社とのアップサイクルプロジェクトの実施	令和6年度	産業界（企業等）	埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム会員の企業		循環型社会の実現を目指す日本シーム株式会社（埼玉県川口市）と連携し、学内で回収したペットボトルキャップを再資源化し、その再生資材を活用して新たな製品へと生まれ変わらせることを目的とした「ペットボトル・アップサイクルプロジェクト」を開始した。
322	聖学院大学	切手整理ボランティア	令和5年度	生活協同組合			コープみらいと連携し、学期中、月1回程度切手整理ボランティアを学内で実施している。
323	聖学院大学	能登半島災害ボランティア活動	令和6年度	ボランティア団体	大学		ReVA復興支援ボランティアチーム・上尾、ほか、立正大学、埼玉県立大学と連携して能登半島の災害ボランティア活動を年3回実施した。
324	聖学院大学	能登半島地震支援学生ボランティア報告会	令和6年度	自治体（行政）	大学		埼玉県防災学習センター、立正大学、埼玉県立大学と連携して能登半島で災害ボランティア活動を行った学生による報告会を年2回実施した。
325	聖学院大学	聖学院大学公開講座	昭和46年度	自治体（行政）			さいたま市教育委員会・上尾市教育委員会と共催して、聖学院大学公開講座を実施している。令和6年度は教養講座、英会話講座、女声コーラスの計3講座が開催された。
326	聖学院大学	聖学院大学公開講座	令和5年度	自治体（行政）			春日部市教育委員会と共催して、令和5年度より聖学院大学公開講座を実施している。令和6年度は11月30日（土）（会場：春日部市役所2階会議室）において「紫式部の宮仕えと漢詩文～中宮彰子と一条朝の文化～（J教養講座）」が開催された。
327	西武文理大学	「入間川七夕まつり」の参加	平成25年度	自治体（行政）			関東三大七夕祭の一つに数えられる地元狭山市の「入間川七夕まつり」に学生ボランティアが多数参加している。昨年度に引き続き、令和6年度は竹飾り（やらい）の掲出のみ行った。
328	西武文理大学	サヤマdeシネマ	平成29年度	自治体（行政）			2017年に狭山市初の学生が作る上映会として立ち上がった「サヤマdeシネマ」は、毎年10月に有楽町・銀座地区で開催される東京国際映画祭にインターンとして参加してきた西武文理大学の学生が「西武文理大学のある狭山で私たちの東京国際映画祭を作りたい！」という一言からはまり、地元・狭山を盛り上げるべく、狭山愛を育む地域に根付いたイベントを目指している。令和6年度（第8回目）は、「楽しいから生まれるシブシブプライド」映画のある日常」をテーマに4作品を上映。上映作品の監督トークショーや広報など開催に係るすべてを学生主体で行った。
329	西武文理大学	柏原小学校「防災教室」	平成25年度	地域団体（NPO等）			令和6年度は台風のため防災教室は中止となり、参加予定者へ非常食等の防災グッズ、狭山市水害ハザードマップ等が配付された。
330	西武文理大学	彩の国大学コンソーシアム 事業	平成14年度	大学・短大（大学・短大間連携）			埼玉県西部に所在する彩の国大学コンソーシアムにおいて、生涯学習および地域社会への貢献を目的として平成14年から加盟大学が共同で公開講座を実施している。令和6年度は、ナイチンゲールに関する講演を本学教授が担当した。
331	西武文理大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）事業	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）		埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する20大学による、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）の会員校として参画。多様な大学・地域・地元企業との連携・協働により、地域社会が抱える課題解決に取り組み、高等教育による地域の活性化を目的とし、推進活動を実施。（単位互換・公開講座・学生募集・共同研究・地域連携の推進等）令和6年度はTJUP地域交流委員会主催 オンライン講座、共同FD・SDの実施運営に携わった。
332	西武文理大学	埼玉県物産観光協会との連携	令和4年度	産業界（企業等）			埼玉県の物産や観光の振興に役立てるイベントを行った。授業の一環として西武文理大学と東京家政大学の共催事業として行った「さやま70祭（さい）」に販売できないお茶を利用した「ろうそくづくり」と「スライムづくり」のブースを出し、PRするため狭山茶を来場者に振舞った。また、「埼玉物産観光フォーラム」に大学として後援し、担当教授と学生が「埼玉魅力発信プロジェクト」の活動報告を行うとともに運営協力と狭山茶の試飲と販売を行った。 ①令和6年12月1日 狭山市市制施行70周年記念イベント「さやま70祭（さい）」ブース等出店 ②令和7年2月20日 埼玉物産観光フォーラムでの活動報告
333	西武文理大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成21年度	自治体（行政）			「埼玉県福祉部と西武文理大学との授業科目の開放に関する覚書」に基づき、リカレント教育を実施した。令和6年度は8名の受講があった。
334	西武文理大学	ちちぶアンバサダー活動	令和4年度	地域団体（NPO等）			大学生や高校生に秩父地域の企業を直接取材し深く知ってもらうとともに、SNSからの学生目線の発信によって、より多くの人に秩父地域の企業を知ってもらうことをねらいとしている。秩父の地元企業の取材・SNSによる報告を行った。
335	西武文理大学	狭山市奥富地区まちづくり事業「地域の防災」	令和5年度	自治体（行政）			夏休みの小学校の児童を対象に備蓄倉庫の中身についてクイズ形式の講演を行った。
336	西武文理大学	「災害と地域づくり」	令和4年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	授業を通じて、日本や世界における災害に関する科学的知見・実態・対策を学び、防災・減災のための地域づくりにおける市民・専門職・行政の役割と機能について考察し、より安全で安心な地域を築く力を身につける。地元自治会、旅館経営者等をゲストに招き防災対策について講話いただいた。
337	西武文理大学	いるま自治会DX推進事業	令和5年度	自治体（行政）			入間市が推進するDX化を後押しするため、DX推進員に委嘱された本学学生が行事等の開催案内や資料配布のデジタル化、会議のオンライン化のノウハウを伝え、自治会運営の活性化を図る。令和6年度は10～1月に月1回市民向けスマホ講座に補助として参加。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
338	西武文理大学	ちちぶ地域デザインセミナーの開催	令和5年度	自治体（行政）			協力・連携協定に基づき、埼玉県秩父地域振興センターとの共催により、秩父地域の地域振興を図るための地域デザインを多様な主体の連携で考える。ちちぶ地域デザインセミナー等を開催。 令和6年度は、①8月28日：第1回ちちぶこ地域居住セミナー、② 9月6日：第3回ちちぶ地域デザインセミナー、③ 10月26日：第4回ちちぶ地域デザインセミナー、④ 3月17日：第1回ちちぶ伝言館セミナーを開催。
339	西武文理大学	「サービス・ラーニング(スポーツマネジメント)」	令和5年度	地域団体(NPO等)			プロスポーツ団体(埼玉武蔵ヒートベアーズ)と連携し、受付、チケット販売、グッズなどの物販、フールボールの注意喚起や観客席の警備、BSO(電光掲示板)の表示など運営を担当。試合前のピロ配りや、集客のためのイベント企画、試合中の集客を担当した。
340	西武文理大学	オレンジガーデニングプロジェクトinさやま	令和5年度	自治体（行政）			「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう!」という思いを共有し、全国各地で認知症啓蒙のシンボルカラーであるオレンジ色の花を楽しみながら育て、花を咲かせるプロジェクト。狭山市内の企業、商店、サロンやサークルが参加しており、本学ではポスターやチラシの学内掲示を行った。『認知症啓蒙パネル展』では認知症になっても暮らしやすい町について看護学部の学生の付箋メッセージが展示された。
341	西武文理大学	地域食堂の開催	令和5年度	自治体（行政）			学生による、自治会(柏原第8区自治会)のお祭りへの出店、区域の集会所等で地域食堂の開催及びフードバンク活動を実施。
342	西武文理大学	交流事業	令和5年度	地域団体(NPO等)			地元NPO法人(NPO法人ユアアイネット柏原)とイベントやワークショップへの共同参加。
343	西武文理大学	街頭募金活動	令和5年度	自治体（行政）			日本赤十字社(埼玉県支部狭山市地区)が実施する義援金・救済金の街頭募金活動への参加。
344	西武文理大学	ヒューマンサービスマネジメント論	令和5年度	自治体（行政）	地域団体(NPO等)		「ヒューマンサービス」を特に、福祉分野における「トータルサービス」としてとらえ、主として、そのようなトータルサービスとしての社会福祉プログラムのマネジメント(計画の手順、予算の立て方、運営方法等)について学修している。前期15コマのうち、3コマで狭山市福祉政策課・トータルサポーター室・社会福祉協議会の職員を講師に招き講義いただいた。
345	西武文理大学	狭山市制施行70周年イベント	令和6年度	自治体（行政）	市内大学		① 狭山市制施行70周年PRカウントダウン事業 市内大学(西武文理大学、東京家政大学、武蔵野学院大学〔武蔵野短期大学含む〕)と連携し、施行日までの100日間を市公式Youtube等でカウントダウンするために写真と動画を提供。撮影は両学部の授業やゼミをはじめイベント時に行った。 ②「さやま70祭(さい)東京家政大学の連携事業として未来に向けた心に残るイベントを開催。 中谷ゼミがイベント全体の運営を行い、総合演習Ⅰの受講生が2つのワークショップを出展と運営に参加。 令和6年12月1日(日)10:30～16:30/狭山市市民交流センター・コミュニティホール 両大学の特色を生かしたブース(ゆりえ&缶バッヂ・カードラリー・お茶処・さやまの謎解き・てづくりキャンドル・お茶のスライムづくりなど)出展及びプロジェクションマッピングと動画を組み合わせた映像投影の2本立て。
346	西武文理大学	新狭山公民館「子育て支援広場：遊びのおもちゃ箱」	令和5年度	自治体（行政）	地域団体(NPO等)		令和5年度よりスタートした事業で青少年育成新狭山地域会議主催、埼玉県家庭教育アドバイザー狭山、新狭山公民館、西武文理大学の共催にて実施。本学は、中谷ゼミ生(3年)2名と授業受講生(1年)8名が参加し、お茶のスライムづくり、ピンポンカッパン、缶バッヂ、ポップアップカードづくりの4つのワークショップを運営した。
347	西武文理大学	埼玉県内商工会議所青年部「研修と交流の集い」	令和6年度	地域団体(NPO等)			埼玉県内商工会議所青年部が会員に対しての研修会、交流会として毎年開催している「研修と交流の集い」を、令和6年度は狭山商工会議所青年部が狭山大会「活力探訪～希望の芽を育てよう～」として開催。本学は、第4分科会「TJUPから繋げる未来へのイノベーション」(130分)に講師として、サービス経営学部教授が登壇。
348	大正大学	社会共生学部公共政策学科フィールドワーク	令和2年度	自治体（行政）			R6は北本市が受入先となり、社会共生学部公共政策学科のフィールドワーク(インターンシップ)を実施している。
349	大正大学	地域創生学部地域創生学科 地域実習	令和4年度	自治体（行政）			地域創生学部ではH28から地域実習を実施しており、R6は秩父市が受入先となり地域実習を実施している。
350	大東文化大学	東松山市きらめき市民大学、大学院への講師派遣	平成19年度	自治体（行政）			東松山市との協定に基づき、同市が運営する市民大学に講師を派遣しており、8講座に対して講師派遣を行った。
351	大東文化大学	「子ども大学ひがしまつやま」の開校	平成26年度	自治体（行政）			東松山市・大東文化大学で構成される実行委員会により、9月中旬から全4回に亘って、大東文化大学キャンパスならびに市内施設において、大学教員や専門家による講義を行った。
352	大東文化大学	東松山市スポーツ発見教室	平成30年度	自治体（行政）			東松山市内小学生を対象に、スポーツ科学科教員・学生によりスポーツの楽しさを体験する講座を6月、1月、2月に実施した。
353	大東文化大学	東松山市スポーツ少年団母集団育成研修会	平成28年度	自治体（行政）	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)		東松山市内スポーツ少年団に所属する児童の保護者、指導者、その他関係者を対象に、スポーツ科学科・健康科学科教員によりスポーツ実施時に考慮すべき知識について研修を実施した。
354	大東文化大学	東松山市観光大使への学生就任	令和5年度	自治体（行政）			東松山市観光大使に特別強化運動部の学生5名が就任し、日本スリーデーマーチをはじめとしたイベントに参加して自治体のPRを行った。
355	大東文化大学	ときがわ町民スポーツフェスタ	令和5年度	自治体（行政）			ときがわ町の町民を対象とした「ウォーキング講習・キッズチャレンジスポーツ」にスポーツ科学科教員を講師として派遣した。
356	大東文化大学	埼玉まなびいプロジェクト協賛事業 オープンカレッジ	—	自治体（行政）			生涯学習講座(大東文化大学オープンカレッジ)として、117講座を開講し2,115名が受講した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
357	大東文化大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	東武東上線ならびに西武線沿線に位置する大学と自治体で、「多様な高度教育の提供」、「生活しやすい地域づくりの推進」、「地域産業の活性化」を図ることを目的として、2018年度より活動を行っている。
358	大東文化大学	TABETE レスキュー直売所	令和3年度	自治体(行政)	産業界(企業等)		大東文化大学、東松山市、東武鉄道株式会社、埼玉中央農業協同組合、株式会社コウキッキング、株式会社大塚応援カンパニーの6者で産官学連携による協定を締結し、東松山市周辺のJA直売所で夕方までに売り切れなかった農産物を東武東上線森林公園駅から列車に積み込み池袋駅まで輸送し、再販売して食品ロス削減を目指す取組みを2021年度より行っている。
359	東京家政大学	《東京家政大学・狭山市共催講座》	平成18年度	自治体(行政)			狭山市スポーツ振興課と連携し、市民向け健康増進公開講座を前期・後期各1講座実施。 【前期】 「転ばない身体・環境づくり～転倒予防特化トレーニング～」。 転倒に対する知識、ならびに転倒予防法の講義、および特別な器具を使用せず、実施・継続しやすい実技を紹介した。狭山市在住・在勤の方対象。18名参加。 【後期】 「体幹(腹筋・背筋)機能を知って健康増進！―体幹の柔軟性と筋活動の関係を知らうー」 解剖学的知識を基に、筋肉の収縮のしくみを学び、日常的に行っている運動の活動と体幹を鍛える目的の筋活動の違いを確認し、効果的な運動とは何か、その方法について実習しながら習得をした。狭山市在住・在勤の方対象。20名参加。
360	東京家政大学	《入間市共催研修会》小学校教員向け集中研修会	小学校外国語活動集中研修会: 平成22年度 理科観察実験実技研修会: 平成25年度	自治体(行政)			「小学校外国語活動集中研修会」は、基礎から学び、外国語活動担当者や5・6年の学級担任以外の先生方にも取り組みやすく、実践で十分役立つスキルを身につけることを目的とする。 「理科観察実験実技研修会」は、理科の観察実験実技を「安全に」「確実に」実施するための技術を身につけることを目的とする。小学校または中学校教員が対象。 「小学校外国語活動集中研修会」20名、「理科観察実験実技研修会」17名参加。
361	東京家政大学	子ども大学さやま・いま	平成22年度	自治体(行政)			狭山市・入間市の教育委員会と実行委員会を組織し、教育資源を活用しながら、子どもの知的好奇心を刺激する学びを提供する。狭山市・入間市在住の小学4～6年生が対象。7月・8月・9月に3日間4コマ形式で開催。狭山市21名・入間市29名参加。
362	東京家政大学	《東京家政大学・狭山市・入間市主催、TJUP共催》子どもスポーツ体験教室	平成24年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		近隣自治体のスポーツ推進の一環として生涯スポーツの充実化を目指す取組みとして、狭山市・入間市との連携により2012年(平成24年)から「スポーツ体験教室」を継続実施している。協力校を含む埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)会員大学の学生には当日補助業務により、地域の児童を対象に様々な運動遊びを体験させ、各個人の能力・可能性を広げる等の教育支援活動を取組む事業とし、今後の大学生生活におけるネットワークを構築するとともに、地域社会への貢献力を学ぶ機会とした。当日は3名の児童の参加があり、学生11名を含む32名のスタッフで実施した。
363	東京家政大学	《埼玉県》リアル体験教室・プレミア教室 ジュニアサイエンススクール2024	平成29年度	自治体(行政)			埼玉県・青少年育成埼玉県民会議主催、埼玉県教育委員会後援、小学4～6年生対象の、夢の実現を応援するための「学びと体験の教室」の、企業や大学等が主催している「プレミア教室」に参画。(1)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅰ」おもしろ化学実験～火花とナイロンの化学～には、22名参加。(2)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅱ」「調理」を科学の目で見ながら再発見！ー「うま味」とは何か？親子で味わってみよう！ーには、13組26名が参加。(3)夏休み理科自由研究「サポート講座Ⅲ」micro:bitでプログラミングを体験してみよう！には、10組20名が参加。(4)「楽しく学ぶ！プログラミング～Scratchでゲームをつくろう」には、10組20名が参加した。
364	東京家政大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	埼玉県西部の東武東上線沿線及び西武線沿線に所在する20大学による、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)の会員校として参画。 多様な大学・地域・地元企業との連携、協働により、地域社会が抱える課題解決に取り組み、高等教育による地域の活性化を目的とし、推進活動を実施。(単位互換・公開講座・学生募集・共同研究・地域連携の推進等) 令和6年度は、TJUP幹事会主催共同FD・SD(シンポジウム形式)「大学生における「ストレス」への理解と対応～上手に乗り越えていくために、教職員ができることは～」実施、TJUP学生イベント交流委員会主催共同FD・SD「大学教育への学生参画～学生(SA)の授業参画や各大学の活動から考える～」実施、学生イベント交流委員会事業「ケア・トラップン&電動車いす体験講座～体験しよう！福祉の世界～」・「音楽を通じたコミュニケーション～みんなで楽器演奏等の体験を共有してみよう～」・TJUP会員校対抗ロボット競技大会」への運営参加、TJUP県西部大学連携リレー公開講座実施、TJUP共催「吉見町かっこいい教室」運営参加、TJUP主催「TJUPわくわくランド2024 わくわく教室「モザイクタイルのコースター」」実施。
365	東京家政大学	《入間市共催研修会》保育者研修会	令和元年度	自治体(行政)			幼稚園・保育園等における保育現場での様々な課題についての対応のほか、研修により、保育者意識の向上及び実践で十分役立つスキルを身につけることを目的とする。 新任から15年未満の保育者(幼稚園教諭・保育士・保育教諭)対象。15名の参加があった。
366	東京家政大学	Tokyo Kasei 塾2024(保育者編 専門講座)	令和4年度	自治体(行政)			狭山市子ども支援部保育幼稚園課・入間市子ども支援部保育幼稚園課と連携(後援)協力し、少人数で課題を明確にし、研究開発につながる専門講座として開催。狭山市・入間市他、他市の公立・私立等の幼稚園・保育園等の保育者が対象。令和6年度は「子どもの育ちを支える協働と共創」(前期)Part1 子どもの育ちを一緒に支え、共に育つをテーマに4講座、(後期)Part2 保育の本質を一緒に考え、共に創るをテーマに4講座を実施。延べ117名の参加があった。
367	東京国際大学	ふじみ野市学生インターンシップ	平成17年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		ふじみ野市との学生インターンシップ活用事業に関する協定に基づき、教員を志し、また教育に関心をもつ本学学生の社会貢献実習の一環として、小学校及び中学校へフレッショサポーターとして言語コミュニケーション学部3年生を派遣。 ＜令和6年度＞ ふじみ野市立元福小学校、ふじみ野市立大井中学校に学部3年生各1名を派遣。
368	東京国際大学	鶴ヶ島市学校インターンシップ	平成25年度	自治体(行政)	小・中・高等学校等		鶴ヶ島市との学生インターンシップ活用事業に関する協定に基づき、教員を志し、また教育に関心をもつ本学学生の社会貢献実習の一環として、小学校及び中学校へ言語コミュニケーション学部3年生を派遣。 ＜令和6年度＞ 鶴ヶ島市立富士見中学校に学部3年生1名を派遣。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
369	東京国際大学	川越市インターンシップ	平成18年度	自治体（行政）			平成18年度より自治体である「川越市」の協力を得て、毎夏2～4名の学生を派遣し就業体験を実施。 ＜令和6年度＞ 川越市役所観光課へ1名の学生を派遣。
370	東京国際大学	川越市霞ヶ関小学校	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			霞ヶ関小学校より学生ボランティア募集の養成を受け、学生有志を募り、福祉心理学科に所属する学生を小学校へ派遣した。霞ヶ関小学校では、通級指導教室の学生ボランティアとして児童の学習面ならびにメンタルサポートの業務を実施した。
371	東京国際大学	現代GP子ども支援プロジェクト	平成19年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）		平成19年に文部科学省の採択を受けて始まった人間社会学部の学生が行っているボランティア活動。現在は不登校や障害を持つ児童生徒への学習支援や家庭訪問等を行うことで当該児童への支援を行うと共に、学生自身の「気づき」や「成長」を促して行く活動を行っている。ボランティア学生（スチューデント・サポーター）の活動場所は主に市内の小中学校や教育センターであり、教職員、教育関係機関が協働・連携して行っている。 ＜令和6年度＞ 実数4人、延べ数38件の学生が参加した。
372	東京国際大学	リカレント教育（開放授業講座）	平成21年度	自治体（行政）			「埼玉県福祉部と東京国際大学との授業科目の開放に関する覚書」に基づき、県内在住の55歳以上の方を対象に授業科目の一部を開放。 ＜令和6年度＞ 春学期「社会福祉概論」を開講。参加者 1名。 秋学期「管理会計論」を開講。参加者 1名。
373	東京国際大学	飯能信用金庫との産学連携事業	平成22年度	産業界（企業等）			飯能信用金庫と包括協定を結び、その一環として冠講座の提供、学生に各業界の就業体験を経験させるためにインターンシップ先の紹介・支援の提供等を行う。 ＜令和6年度＞ 科目名：地域金融講座（飯能信用金庫寄附講座）
374	東京国際大学	川越大学間連携講座東京国際大学共催事業	平成24年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		川越市内にある4大学と連携し川越市民対象の「川越大学間連携講座」を開催。 ＜令和6年度＞ 演題：近代埼玉県における人づくり―渋沢栄一と埼玉学生誘掖会― 講師：高田 知和（東京国際大学 人間社会学部 教授） 会場：東京国際大学 川越第1キャンパス 2号館 233教室 受講料：500円
375	東京国際大学	「小江戸（川越）まちおこし」プロジェクト	平成25年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	産業界（企業等）	東京国際大学では、「グローバル×ローカル」をキーワードに、地域のまちおこしを担う人材の育成を目指しています。本プロジェクトでは、大学・行政・民間（企業・NPO等）の三者が連携し、地域志向型の教育活動を推進しています。 本事業の目的は以下の3点です。 1. 地域の商業・産業の活性化 2. 川越の文化・歴史資産（観光資源）の国内外への発信 3. 地域活性化の現場で活躍できる人材の育成 これらの目的達成に向け、学内における学びと交流の機会を創出し、地域との関係を深める教育・研究体制を整備しています。 【令和6年度 実施内容】 1. 公民学連携会議の開催 川越市の地方創生や地域活性化に関する課題をテーマに、産学官による連携会議を開催しました。本学が進める川越活性化プロジェクトの進捗報告や、川越市および地域企業との意見交換を通じて、地域課題の共有と解決策の模索を図りました。 2. 川越地域を対象とした地域活性化プロジェクトの実施 学生が主体となり、川越の魅力を発信する情報媒体の整理や、地域活性化に向けた新たなアイデア提案を行いました。これまでの取り組みを振り返りつつ、学生の視点から川越の魅力を再発見し、SNSや学内発表などを通じて情報発信を実施しました。 この取り組みは、学生にとって実践的な学びの場となるとともに、地域プロモーションへの貢献という成果を生み出しました。
376	東京国際大学	キャリアプランニング	平成25年度	公務員（行政）	警察（埼玉県警察本部）		キャリア形成支援科目のひとつとして埼玉県警察幹部職員を講師として迎え、治安行政と個人や社会の安全を守るための警察行政について理解を深め、社会生活上犯罪被害を防止するための具体的な知識を習得することを到達目標とした授業を実施。 ＜令和6年度＞ 科目名：「地域の安全と警察」
377	東京国際大学	川越商工会議所との連携事業「インターンシップ」他	平成27年度	産業界（企業等）			キャリアプランニング教育の一環として、商学部学生が地元企業の実態を知る機会を持ち、就業機会の拡大を目的として実施。 ＜令和6年度＞ 12事業所に15名を派遣。
378	東京国際大学	「スクール・インターンシップ」による学校支援事業	平成27年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		川越市教育委員会が市内近郊の大学と連携し、市立小・中学校を対象に教職課程に在籍する学生を派遣し、学習指導の支援や部活動支援とおして児童生徒の学力及び体力の向上を図ることをねらい、これからの学校教育を担う情熱を持った教師の育成を目的に実施。 ＜令和6年度＞ 派遣学生数：22名 活動内容： 1) 授業における学習支援 2) 部活動における支援 3) 学校行事などにおける児童生徒の参加に関する支援 4) その他、学校教育に関する支援
379	東京国際大学	川越国際交流フェスタ	令和3年度	川越市	川越国際ボランティア協会	教育委員会	＜令和6年度＞異文化交流と国際ボランティアの祭典に国際関係学部の岡本ゼミ、杉本ゼミが参加
380	東京国際大学	小江戸川越ハーフマラソン ボランティア派遣	平成23年度以前より	自治体（行政）	産業界（青年会議所）		川越市では毎年、「小江戸川越ハーフマラソン大会」を開催している。そのイベントの一部として、ゴールした参加者に対して「川越汁」を配布しており、その担当は青年会議所である。そこに学生を派遣している。 ＜令和6年度＞ 人間社会学部に所属する1年生10名と、OCスタッフの学生を派遣 川越汁の調理補助と配布を担当

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
381	東京国際大学	川越商工会議所連携事業「商学部公開授業」	平成27年度	産業界（企業等）			川越商工会議所と連携し、①事業の維持・継続・発展、②事業の経営理念・経営目標・経営戦略、③事業の承継と後継者の育成④事業承継と税制（資金調達）の観点より事業承継に関する基礎知識を埼玉県民へ一般公開する取組。 ＜令和6年度＞ 「管理会計論」を川越商工会議所の会員企業に公開。
382	東京国際大学	学生キャリア支援	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		＜令和6年度＞ 1. 「ビジネスソリューション」の授業において、就職価値観を醸成するという目的で埼玉県雇用労働部から、埼玉県の企業から具体的な経営課題を提示してもらい、学生がその課題解決のプロセスを体験する中で学習していくPBL(Problem Based Learning)型の授業を展開した。令和6年度は、株式会社アルナの協力のもと新商品の提案を行った。 2. 川越市角栄商店街振興組合の協力のもと、商学部の専門科目である「企業研究」を実施した。本授業では、PBL型の授業として、商店街の課題を対象とした実践的な学習、経営者の授業参加による学問と実務の有機的な融合、キャリア育成を支援するための体験型授業を目的として実施した。
383	東京国際大学	埼玉県立川越高等学校 国際教育への留学生派遣	令和5年度	幼保・小・中・高等学校等			川越高校では毎年冬休み期間を利用し、“Winter English Challenge”と称した英語能力、異文化理解向上を目的としたプログラムを開催している。そのプログラムに留学生を派遣。 ＜令和6年度＞ 令和6年度は小規模グループに分かれ英語を使用してディベートを行う計画があり、本学から、ディスカッションを円滑に行うためのグルーリーダーとして英語が堪能な留学生を4名派遣し、この学習プログラムに協力を行った。
384	東京電機大学	埼玉産業人クラブ TDU産学交流会	平成2年度	産業界（企業等）			埼玉産業人クラブ会員企業の技術レベル向上を図るため本学と産学交流を行う。年間にわたり、技術講演会・事例発表会、先進企業・工場見学会、学生対象企業・業界研究会等を開催。会員企業25社と本学との連携により運営している。
385	東京電機大学	埼玉県坂戸市住宅団地にぎわい再生事業 北坂戸にぎわいサロン運営	平成26年度	自治体（行政）	自治会		坂戸市との協定に基づき、東武東上線北坂戸駅前UR所有の店舗を借り受け、地域の活性化を目的ににぎわい再生活動を行っている。令和6年度は、スマホ・パソコン相談、健康管理アドバイス、ペーパーバンドクラフト教室、編み物教室のほか、本学留学生との交流会を年間を通じ開催した。
386	東京電機大学	宇宙・産学官・地域連携コンソーシアム （ここから武蔵コンソーシアム）	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	比企地域の自治体や大学、企業等が連携し地域が抱える様々な課題に対する解決策を協議し、それを実現させるための活動を支援し、地域の振興と発展に寄与する。令和6年度はワークショップや講演会を実施した。
387	東京電機大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大19校、自治体23市町、事業所等17団体により構成。地域の課題解決のため諸活動を展開。令和6年度は、単位互換・公開講座・地域リスクマネージメント・社会人対象教育プログラムのほか東松山市における外国籍児童生徒への就学支援活動に参加した。
388	東京電機大学	坂戸市浅野野地域交流センター連携事業	令和6年度	自治体（行政）	自治会		坂戸市浅野野地区住民を対象に「スマートフォン操作講座」を開催した。
389	東京電機大学	坂戸市北坂戸地域交流センター連携事業	令和3年度	自治体（行政）	自治会		坂戸市内在住の小学4～6年生を対象に「工作と実験なるほどサイエンス教室～シャーベット・バスボム作りに挑戦」、坂戸市北坂戸地区住民を対象に「スマートフォン操作講座」をそれぞれ開催した。
390	東京電機大学	UR連携活性化プロジェクト	令和3年度	その他(UR)	自治体（行政）	商店会	UR北坂戸団地の活性化を目的に団地商店会との協働により、URと連携し、「光と音楽の祭典」を開催した。
391	東洋大学	川越大学間連携講座	平成12年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		川越市共催事業という市民講座。
392	東洋大学	学術講演会（オープン講座）	平成15年度	自治体（行政）			本学の教員が、研究成果や学問的知見などをとに、地域の環境保全、交通安全、防犯、福祉、学術的・芸術的な要素のものなどからテーマを取り上げ、市民の生涯学習の一環として開講している公開講座。年1回開講。 ※受講者は、川越市民以外でも可。
393	東洋大学	川越市立鯉井中学校 学習サポート	平成18年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を川越市立鯉井中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
394	東洋大学	鶴ヶ島市・東洋大学連携スポーツ講習会	平成21年度	自治体（行政）			理工学部生体医工学科の教員が、研究活動成果を地域住民の健康管理を目的とし、鶴ヶ島市教育委員会と共同で市民講習会を開催している。
395	東洋大学	ソーシャルデザインプロジェクト	平成23年度	自治体（行政）			建築学科教員が公共インフラの提案を実施。インフラの老朽化、市街地の衰退、人口減少などに対応し、いかに維持管理費を抑えながら住民ニーズを満たしていくかを提案している。現在、「入間」の1か所で本プロジェクトを展開している。
396	東洋大学	川越市との連携	平成24年度	自治体（行政）			教育研究等における協力関係について包括協定を締結し、多方面で連携関係を構築している。
397	東洋大学	埼玉県立高等学校 学習サポーター	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を埼玉県内の公立高等学校に派遣。理科・数学の補講指導、進学相談、始業前の生活指導など、多くの面で教員を補助することで教育現場を体験する。
398	東洋大学	川越市立学校スクールサポート	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生を川越市立の小・中学校に派遣。テスト範囲の学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
399	東洋大学	高等技術専門校の実習実施への協力	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県産業労働部産業人材育成課からの依頼に基づき、埼玉県立の高等技術専門校の学生に対して、研究者が環境実習（講義・施設見学等）を実施。
400	東洋大学	さいたま市学習ボランティア	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			本学の教職志望学生をさいたま市の小学校に派遣。学習を、生徒個人の質問に応える形式でサポートしている。
401	東洋大学	デジタル・エンジニアリング・アカデミー	平成30年度	産業界（企業等）			工業技術研究所と武蔵野銀行の共催による新技術の自社導入を目指す企業を対象とした連続講座。2024年度は、「工場のIoT化からDX化に向けて」のテーマで、本学教授を講師としてマイコンを使った実習や、デジタル技術を用いた生産技術の開発に取り組んでいる企業の工場見学、また活動から得られた成果や課題の発表を行った。
402	東洋大学	川越市民の水害時における車両避難場所としての施設利用	令和3年度	自治体（行政）			水害時において、川越市の地域住民が避難の円滑化を図るため、大学の駐車場を車両避難場所として利用することを認める。
403	東洋大学	毛呂山町放課後学習教室 学習サポート	令和4年度	小学校3・4年生			本学の教職志望学生を毛呂山町立小学校に派遣。学習（宿題・ドリル等）の支援。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
404	東洋大学	サマースクール	平成11年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		川越市および近隣の小中学生を対象に、ロケット作りや速乾コンクリートでの工作、昆虫採集など、様々な実験や体験を通して、工学やものづくりの関心を育んでもらうことを目的とする。毎年夏開催。
405	東洋大学	川越市小・中・大学連携ふれあい事業	平成18年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		私立小学校、中学校に本学教員を派遣して理科授業を実施。理科離れが危惧される小中学生に、理科の楽しさを伝えることを目的とする。
406	獨協大学	学内献血の実施	昭和44年度	産業界（企業等）			ボランティアを活動目的とする愛好会団体のWAPが、埼玉県赤十字血液センターの献血事業に毎年協力している。2024年度も、学内で2回埼玉県赤十字血液センターによる献血事業が実施され、愛好会WAPが企画し、運営サポートを実施した。
407	獨協大学	国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」	平成16年度	自治体（行政）			本学を会場として国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」（主催・草加市国際交流協会、共催・獨協大学）を例年6月に開催している。世界各国出身の草加市民が中心となり、本学学生とともに、自国の文化・料理・音楽・ダンスや民族衣装を披露し、来場者との交流や国際理解を深めることを目的としたイベントである。本学の学生団体やゼミ等も多数参加し、研究発表や交流型イベントを行っている。また「ワールド・ランゲージ」という企画では、本学海外協定校からの留学生が参加し、各国の言語で高校生や市民・子どもたちと会話する機会を提供し、好評を得ている。来場者は、毎回約8,000名で、その運営に多くの本学学生がボランティアとして携わっている。
408	獨協大学	獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター活動	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	平成19（2007）年の開設以来、子どもに関わる相談機関として、常に子どもの最善の利益を考えながらサポートを行っていた。センタースタッフによる相談対応の他、獨協医科大学埼玉医療センター、埼玉県立大学、文教大学の協力を受け、専門家による無料相談も行っていた。加えて、併設する地域と子ども法律事務所との連携を図りながら法的解決にも努めていた。なお、これらの活動が認められ、子育て・家族支援等において顕著な功績があった団体として、平成25年度内閣府特命担当大臣表彰（子ども・若者育成支援部門）を受賞した。しかしながら、人材面等の確保において継続が困難な状況となり、断続の思いではあるが、2025年3月31日付で閉所することとなった。
409	獨協大学	草加ふささら祭りとのジョイント開催	平成24年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		2024年、雄飛祭同日の11月2日（土）に開催されたふささら祭りでは、ステージプログラムで、文化会古典ギター部、文化会フラメンコ部YERBA BUENAがそれぞれ参加し、ステージ上でパフォーマンスを披露した。
410	獨協大学	草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業	平成25年度	自治体（行政）			「草加市・獨協大学地域研究プロジェクト事業に関する基本協定書」に基づき、草加市と獨協大学は、互いに連携・協力して豊かな地域社会を創るため、地域研究の共同研究事業を実施する。
411	獨協大学	防災に関する連携事業	平成26年度	自治体（行政）			草加市と締結している「災害時における応急活動の協力に関する協定書」に基づき、前年度に続いて令和6（2024）年度も本学防災訓練（10月23日）の一部訓練を草加市危機管理課と協働で実施した。具体的には、訓練参加者に実際の避難所イメージを掴んでもらうとともに、個人による防災備蓄対策の意識を向上することを目的とした防災展示会を行った。
412	獨協大学	子ども大学そうか	平成27年度	自治体（行政）			子ども大学は、大学のキャンパスなどを会場に大学教員や地域の専門家が講師となり、子どもの知的好奇心を育む講義や体験活動を行うもので、埼玉県内各地で広く実施されている。草加市では「子ども大学そうか」として草加市と獨協大学の協力により平成27（2015）年度から開講された。草加市内の小学校の子どもたちが、獨協大学のキャンパスや市内の事業所などで楽しく学んでいる。令和6（2024）年度は8月、10月に獨協大学キャンパスで実施
413	獨協大学	高齢者用施設での慰問演奏、演技披露、イベント協力		地域団体（NPO、ボランティア等）			2024年度は、近隣の高齢者福祉施設「つばさの社」にて、愛好会Mehanaがダンスの公演を行った。
414	獨協大学	草加宿かがやき特別支援学校での公演、演武指導	平成30年度	草加かがやき特別支援学校			2024年度、学校内の体育館で体育会合気道部が演武披露の後、児童に簡単な実技指導を実施した。
415	獨協大学	草加藤幼稚園にて園児に紙版画の指導	令和6年度	藤幼稚園			近隣の幼稚園からの依頼を受け、文化会美術部が園児に紙版画作成の指導を行った。
416	獨協大学	PICNIGOODでの演奏、公演	令和5年度	PICNIGOOD実行委員会			松原団地記念公園にて定期的に開催される祭典PICNIGOOD（ピクニック）に、文化会古典ギター部、文化会JAZZ研究会が参加、演奏を披露した。
417	獨協大学	草加健康センターでの公演、演奏	令和6年度	草加健康センター			2024年11月、市内の草加健康センターにて愛好会のルナジリオが面白いライブを披露し、文化会の古典ギター部が演奏を披露した。
418	獨協大学	そうか産学行連携事業	平成16年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		獨協大学・草加市・草加商工会議所が地域産業の活性化、地域振興を図るための交流会や地域に根ざした産業振興支援事業を実施する。
419	獨協大学	SOKA ENGLISH CAMP	令和4年度	自治体（行政）			「生きた英語」による体験活動を通し、日本文化や習慣を再発見するとともにコミュニケーション能力や国際感覚を養う。子どもたちが新しい仲間と出会い、共に活動することで友情と信頼を深め、協力する態度や責任感を養う。体験活動を通し、子どもたちの英語及び外国語活動、地域への興味関心を高める。本学での開催時はもちろん、他会場での開催の折も経済学部、外国語学部の学生がボランティア活動で大きな役割を果たしている。
420	獨協大学	草加市英語検定試験学習会	平成29年度	自治体（行政）			草加市教育委員会と獨協大学の教育支援連携協定に伴い、英語検定試験推進事業を図るため、獨協大学が協力して草加市内の公立中学校3年生の希望者を対象に英語検定試験の学習会を開催する。 コロナ禍により、令和2年度開催見合わせ、令和3年度獨協大学学生による動画配信による開催、令和4年度から通常の形態での開催
421	獨協大学	草加宿場まつり	令和28年度	自治体（行政）			旧日光街道沿いとなる、市道2095号線（回向院通り、草加神社通り）の一部、草加小学校校庭、草加駅東口広場までを会場としたお祭り、その1つ、江戸時代の衣装を身につけ街道を行進するイベント「大名行列」に一般市民とともに、獨協大学留学生が参加した。
422	獨協大学	獨協大学前＜草加松原＞WELL FES	令和6年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		獨協大学前＜草加松原＞駅西側地域における産官学連携によるまちづくりについて協定を締結した草加市、獨協大学、UR都市機構、東武鉄道、トヨタホームの5者による、同地域でのまちを体験し、楽しめる共同イベントとして開催した。
423	獨協大学	WELL FES 2024 WINTER	令和6年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		同年5月9日（木曜日）に締結した「獨協大学前＜草加松原＞駅西側地域における産官学連携によるまちづくりに関する協定書」に基づき、関係する5者（団体・企業）が継続的なぎわいと交流を創出し、地域の活性化に資する取組として実施した。
424	獨協大学	SDGs未来都市選定記念 自治体SDGsモデル事業 まちのヒーローアカデミー 特別ヒーローゲスト講演	令和6年度	自治体（行政）			自治体SDGsモデル事業「まちのヒーローアカデミー」特別ゲストヒーロー講演会「さかなクンとギョーゴンと学ぶ！海とお魚とSDGs」を草加市との共催にて実施した。本学は第1号の「そうかSDGsパートナー」に登録しており、連携協定に基づいてさかなクンの講演前に「ドイツのクリスマスとSDGs」と題した講演会を開催。本学卒業生がドイツと日本のクリスマスの過ごし方の違いや、ドイツの暮らしの中のSDGsについて、こども向けにわかりやすく解説した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
425	獨協大学	オープンカレッジ特別講座	平成3年	自治体（行政）			草加市役所と共催。生涯学習講座事業であるオープンカレッジを年に2回、春学期（7月ごろ）と秋学期（3月ごろ）に無料で特別講座として開講している。 令和6年度は「ドイツ現代美術の巨匠 アンゼラム・キーファーの世界」と「アジア発展途上国におよぶ中国パワー」をタイトルに本学教員が担当した。
426	獨協大学	産学官福コラボスイーツの企画・開発（販売）	令和6年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	日本薬科大学	ここでいう産学官福とは・・・「官」は行政で草加市、「産」は産業で民間企業（株）モンテール、「福」は福祉施設の草加市障害福祉サービス事業所「つばさの森」、「学」は日本薬科大学と獨協大学を指す。 これらの5者で連携し、つばさの森が販売するパウンドケーキを企画・開発した。 この取り組みは草加市がSDGsの達成に向けた取り組みを積極的に行う自治体であると内閣府が認定する「SDGs未来都市」に選ばれたことを受け企画し、モンテールがレシピを制作、日本薬科大学の学生が栄養面のアドバイスをを行い、獨協大学の学生がパッケージデザインをし、つばさの森の利用者がお菓子づくりを担当した。初めて販売されたのは、11/2の草加市のふささら祭り。 産学官福の連携を通じて、様々な地域住民や多世代が繋がりあえる社会の醸成、また、スイーツの製造・販売を通じてつばさの森の利用者（作り手）の働き甲斐や施設の売り上げにも貢献できることを目指している。 作った商品は、「コロっとさつまいもの小松菜パウンドケーキ」と「シャキッとりんごの小松菜パウンドケーキ」の2種類。 SDGsの取り組みに当てはまる該当目標は、目標8の「働きがいも経済成長も」と目標10「人や国の不平等をなくそう」の2つ。
427	日本医療科学大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・知財活用・IPE/IPWプログラムの発展的展開・履歴証明型市民大学の提供・地域連携の推進 等
428	日本医療科学大学	イオンモール浦和美園 「～イオンモール浦和美園から広がる健康の輪～」	令和4年度	産業界（企業等）	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	産官学連携による健康とスポーツのイベントとして有資格者による本格的な測定会や専門の研究者による講演・体験イベント「うららか広場～イオンモール浦和美園から広がる健康の輪～」に出展した。
429	日本医療科学大学	子ども大学はとやま	令和4年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		鳩山町・東京電機大学並びに山科学園短期大学、日本医療科学大学が連携し、地域の大学の特色を生かした学習活動に子ども自身が学び、生きる力をつける。
430	日本医療科学大学	子ども大学にしているま	令和5年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		坂戸市・毛呂山町・越生町教育委員会と連携し、子どもの学ぶ力や生きる力を高め、地域で地域の小学生を対象として講座を実施。
431	日本工業大学	NITEC埼玉産学交流会	昭和60年度	産業界（企業等）			NITEC埼玉産学交流会は、本学協力のもと、埼玉産業人クラブが会員企業の技術レベル向上を図るため、NITEC埼玉産学交流会を推進するとともに、あわせて地域産業の発展に寄与することを目的として、研究現場訪問や産学連携セミナーなどを実施している。
432	日本工業大学	情報ボランティアの派遣制度	平成9年度	自治体（行政）	本学		本学の情報メディア工学科では、地域社会の情報化への貢献、ボランティア精神の涵養などを目的に、情報技術の専門知識を生かしたボランティア活動を行う「情報ボランティア」として、学生を近隣の小学校などに派遣してきた。平成9年度より毎年開催してきたが、令和4年度は宮代町社会福祉協議会の、また令和5年度からは杉戸町社会福祉協議会の依頼に基づき両町の高齢者のスマホ相談会に学生を派遣している。
433	日本工業大学	教育ボランティアの派遣制度	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			将来、教員を目指す学生が、教育現場に入り児童・生徒及び教職員と交流し教育の意義と役割を考えると、学生の若い力で地域の教育活動に貢献することを目的として、学部生で教職課程を履修している者及び大学院生で教員免許を所持している者を近隣の小・中学校等に派遣し、授業補助やクラブ活動の補助などの活動を行っている。
434	日本工業大学	大学によるリカレント教育	平成20年度	埼玉県	本学		埼玉県の提唱による県内在住のシニア（55歳以上）方々の社会参加と自己実現を目指す市民開放講座に本学も賛同、「シニアチャレンジ講座」の名称で春学期、秋学期を開講。
435	日本工業大学	夢を見つける！リアル体験教室「科学者になりたい！」 （埼玉県青少年夢のかけはし事業を改名）	平成21年度	埼玉県			埼玉県・青少年育成埼玉県民会議が主催する連携事業で、小学生の夢発見や夢実現を支援するため、各分野で活躍中の埼玉ゆかりの一流のプロフェッショナルから学び・体験する教室。本学では、「科学者になりたい！」として物理教員が担当し、理科工作と実験の実演を行っている。
436	日本工業大学	彩の国連携力育成プロジェクト	平成24年度	本学	自治体（行政）		埼玉県立大学（代表校）、埼玉医科大学、城西大学、本学および埼玉県が参画、地域住民の豊かな暮らしを支えるための多職種及び地域住民の連携力育成を目的とする。4大学の学生がチームで現場実習に取り組む連携科目を共同開発・開講したほか、実社会で活躍する現任者の方々や地域を対象とした取組など、多様に展開している。
437	日本工業大学	プログラミング教育推進事業	平成30年度	自治体（行政）			本学が所在する宮代町の全ての小学校4～6年生の児童に対して、総合的な学習の時間を活用し、年間40分5コマのプログラミング授業を設定した。内容としては、小学生でもプログラミングができるソフトを用いてプログラミングの思考を学習した。平成30年度より毎年開催しているが、令和3年度については新型コロナウイルスの影響で中止となった。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
438	日本工業大学	埼玉県スキー連盟によるトレーニングセミナー		本学			6/2(日)【埼玉県スポーツ協会彩の国ジュニアスリートアカデミー事業】2024年度陸上トレーニングを開催した。 9/8(日)の開催では高校生・中学生・小学生のジュニアスリート10名が参加した。
439	日本工業大学	白岡市東児童館でのサイエンスショー		自治体(行政)	本学		6/9(日) ロボットボランティアチームが「ホバークラフト製作」を実施。 7月14日(日)生徒・児童を対象に、真空の世界についての実験、液体窒素を使ったサイエンスショーを開催。小学生50名、中学生5名、保護者を含め、合わせて100名以上が参加した。
440	日本工業大学	スチューデントラボ中学生科学教室		本学			7/27(土) 本学スチューデントラボで中学生科学教室を開催。「ときどきボックスを作ろう ～はんだを使った面白電子工作～」宮代町・杉戸町ほか近隣に在住の中学生20名が参加した。
441	日本工業大学	埼玉県庁の県民参加型企画「『ニュー咲きほこれ埼玉』みんなで踊ろう！埼玉愛を届けよう♡」に協力し、ミュージックビデオを完成。	令和5年度	自治体(行政)	本学		7/30(火) 情報メディア工学科の教員と学生3名が埼玉県庁の大野知事のもとを訪れ、映像作品の完成報告を行いDVD-R贈呈や試写、意見交換会を行った。
442	日本工業大学	宮代町教育委員会と共同開発「食育アプリ」完成報告会	令和5年度	本学	自治体(行政)		8/1(木) データサイエンス学科の教員の指導のもと学生4名が宮代町教育委員会と共同開発した「食育アプリ」が完成し、進修館にて開催された「宮代町食育・学校給食部研究協議会」において披露した。 12/6(金) 宮代町内全4校の小学校教材としての運用が開始され、宮代町立百間小学校において、「食育支援アプリ」の開発に携わった本学の学生4名が、教材の正式運用後初めて家庭科の授業に登場。
443	日本工業大学	宮代町児童クラブ理科実験教室	令和2年度	本学	自治体(行政)		8/2(金)、8/7(水)、8/19(月) 超低温の実験(液体窒素)が行われ120名の児童が参加した。
444	日本工業大学	スチューデントラボ親子ものづくり教室		本学			8/3(土) 宮代町・杉戸町ほか近隣に在住の小学生と保護者を対象とした親子ものづくり教室が本学スチューデントラボで開催され、75組150名が参加した。 (1)二足歩行ロボットをつくらう (2)トコトコサギをつくらう (3)発電ポートをつくらう (4)LED光ファイバーアートをつくらう (5)家を作る素材で楽器をつくらう
445	日本工業大学	加須市少年少女発明クラブロボット工作教室	平成25年度	本学	自治体(行政)		8/7(水) ロボットキット工作、プログラム演習 参加15名
446	日本工業大学	彩特ICT/AT.laboと本学の共催の研究大会の開催	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			8/10(土) 彩特ICT/AT.laboは、埼玉県の特別支援教育におけるICTとAT(アシスティブテクノロジー:支援機器・技術)を活用した教育を普及推進している研究会。 研究会では本学との連携プロジェクトの中間報告と成果発表も行われた。 ○日本工業大学データサイエンス学科 × 越谷西特別支援学校、宮代特別支援学校 「SNSの使い方学習アプリ」「重度の肢体不自由生徒のためのお絵描きアプリの利用」 ○日本工業大学情報メディア工学科 × 騎西特別支援学校 「フィジカルトレーニングシステム」
447	日本工業大学	応用物理学会オンラインリフレッシュ理科教室	平成20年度	その他			8/10(土) 応用物理学会・応用物理教育分科会と連携し、関東地区の埼玉会場として開催。対象は小・中学校の児童生徒及び教員。 「着せ替え万華鏡」の工作と、光の実験 参加6名
448	日本工業大学	幸手市中央公民館夏休みこども科学教室	令和4年度	本学	自治体(行政)		8/17(土)「3色LEDランプ」の工作と、液体窒素の実験 参加10名

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
449	日本工業大学	関東地区リフレッシュ理科室（埼玉会場）		本学	自治体（行政）		8/24（土）「ゼンマイカー」の工作と、超低温vs超高温の実験ショー 参加40名
450	日本工業大学	児童館コスモス（越谷市）でのインタラクティブアート・ゲームの体験イベント	令和元年度	自治体（行政）	本学		8/3（土）、8/4（日） 13名の学生が参加し自ら制作した10種類の作品を展示。子供たちや保護者の方々、のべ229名の皆さんが体験した。
451	日本工業大学	「宮代町ゼロカーボン推進協議会」のキックオフセミナー		自治体（行政）			8/7（水） 本学も協議会メンバーとして参画しており、当日は本学教員が「宮代町のGHG算定と今後の温暖化対策」「2050年に向けた建築物の脱炭素化」というテーマで講演を実施した。
452	日本工業大学	川口信用金庫による寄附講座「創業の基礎」の贈呈式	平成23年度	民間企業			9/2（月） 本講座は毎年開講されており今年で13年目、全14回の授業で構成される。本講座では同金庫職員や第一線で活躍する実業家が講師を務め、公的金融機関による創業施策、起業家自身の創業体験や創業のポイントなどを紹介している。
453	日本工業大学	宮代町・杉戸町と連携して「子ども大学みやしろ」「子ども大学すぎと」を開催。	（みやしろ）平成23年度（すぎと）平成28年度		本学		本学が宮代町・杉戸町と連携して「子ども大学みやしろ」「子ども大学すぎと」を開催。 教員・学生が講義や体験を提供することで、子どもの知的好奇心を刺激する学びや子どもの生きる力を向上させる機会を促す。 9/8（日） フローンを飛ばしてみよう！ ～レッツ・スクラッチ～ 11/10（日） SDGsから学ぼう！ 廃棄されるペットボトルのキャップを活用したキーホルダー作り 11/24（日） からだをつかって遊べるゲームを作ろう！
454	日本工業大学	しらおか虹保育園に園の靴箱を製作		本学	自治体（行政）		9/11（水） 本学の木工サークルの学生がしらおか虹保育園からの依頼を受け、木材を使用した靴箱を製作。靴箱の側面の飾り用として、太陽や雲、星などをかたどった木材に、園児と一緒に色を塗った。 デザインを決めた後、図面を作成し、木工CNCにて加工を行った。その後、表面を磨き、組み立て、表面や角の仕上げ、塗装へと進み、最後に園児たちと塗った飾りを取り付けて完成した。 2/26（水） 木工サークルの顧問の教員と学生4名がしらおか虹保育園を訪問し製作した靴箱を納品。
455	日本工業大学	認知症にフレンドリーな社会に向けた合同展を開催	令和3年度	自治体（行政）	本学		宮代町健康介護課、宮代町社会福祉協議会、宮代町立図書館と本学が連携し、認知症にフレンドリーな社会に向けた合同展vol.5 ～あしたのわたしと認知症～ を開催。 宮代町立図書館での合同展示の期間は 9/22（日）～10/14（月）。 本学教員による特別講演会「認知症の人も当たり前に外出できるまちづくり～バブリックトイレの研究～」(10/14)も開催された。
456	日本工業大学	みやしろ特別支援学校「わかば祭」参加		幼保・小・中・高等学校等			10/25（月） 情報メディアの研究室、授業の成果を展示・デモ ロボットボランティア授業の成果を展示・デモ
457	日本工業大学	天満宮奉納少年・少女剣道大会		本学			11/2（土） 地元の宮代剣友会、杉戸西剣友会の他、大学近隣の二つの剣友会を招待して本学武道場で開催された。
458	日本工業大学	白岡市生涯学習センター「第4回こもれびの森まつり」への出展	令和4年度	自治体（行政）	本学		11/23（土） 大学による協カイベントとしてフィジカルコンピューティング工房とフォーミュラ工房が出展。保護者を含む99名が参加した。
459	日本工業大学	「ママのためのカメラ教室」の開催		本学			11/30（土） 本学の工業技術博物館後援会の主催で開催。 地元の宮代町、杉戸町を中心に親子13組（大人22名、子供21名）が参加。 当日は撮影指導のほか、蒸気機関車の乗車体験、学食体験なども併せて実施された。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
460	日本工業大学	「トウブコの冬2025」	令和4年度	自治体（行政）			1/11（土） 本学地域連携センターが実施している授業「地域活動リテラシー」「地域活動演習」（全学部学科対象）と地域の方々が協働し地域と大学がつながって「トウブコエリア」を一緒に楽しむことが目的。 『トウブコの冬マルシェ』キッチンカーや、お菓子、雑貨、パン、野菜やお弁当など、宮代町内や近隣地域からのさまざまな店舗と大学とのコラボ開催。 『防災ワイルドピクニックプロジェクト』冬の被災地での楽しい過ごし方をトライアルするワークショップを開く。 『こどものあそびばプロジェクト』お子さんも参加できる「投げる」に関わる運動あそびの場を展開。
461	日本工業大学	宮代町立コミュニティセンター進修館オープンカレッジ企画 「ひかるふしぎないきものをさがそう」の開催		自治体（行政）	本学		1/25（土） 進修館内の色々なデザインの空間の中にある「ひかるふしぎなどうぶつ」を見つけて（想像して）簡単なアニメーションを制作し、実際に投影（展示）を行った。 アニメーションは1人1台iPad を使用して制作。 アート活動を行う作品制作と投影（展示）は、アーティスト2名の指導のもと、本学の学生がイベントに協力し展示の補助を行った。
462	日本工業大学	みやしろ大学での講演	令和4年度	自治体（行政）	本学		2/18（火）本学教員が、宮代町のシニア世代の方々を対象としたみやしろ大学（コミュニティセンター進修館）において、「心の健康を考える」というテーマで講演を行った。
463	日本工業大学	サイエンスプロジェクト	令和4年度	自治体（行政）	本学		2/26（水）～27（木）宮代町総合計画の一環として、小中学校の児童・生徒を対象に大学の施設や設備を使った専門家による科学実験を通して、理科に対する興味・関心を高め育成することを目指す。令和6年度は宮代町立小学校6年生（4校）・中学校2年生（3校）の子供たちにキャンパス内エコミュージアム見学と「SDGs for Engineers」の見学、電気や植物などに関する発展的な実験・観察を行った。
464	日本工業大学	杉戸町「文化財講習会」での講演		自治体（行政）	本学		3/2（日） 本学教員がコティすぎとで、杉戸町「文化財講習会」の講演。 テーマは『杉戸町旧細谷家住宅について』。
465	日本赤十字看護大学	大学コンソーシアムさいたまリレー講座	令和4年度	団体（自治会）			コンソーシアム全体のリレー講座のテーマ「心と体の健康」を踏まえ、さいたま看護学部でのテーマを小学生向けに「バイキン残っていないかな～看護師さんの手の洗い方を知ろう～」として講義と衛生的手洗いの演習などの体験を行った。 【日程】2025.3.1実施 【テーマ】キッズカレッジ（小学生対象） 講師：本学教員 【対象】小学生とその保護者24組
466	日本赤十字看護大学	UR 都市機構との共催事業	令和4年度	企業			UR都市機構から健康づくりへの協力依頼があり、セミナーを実施。コンフォール南浦和団地の住民対象に同団地集会所にて行った。 「笑いと健康で癒しの生活を実現」として、本学名誉教授による講義と学生によるレクリエーションを実施した。 【日程】2024.8.20 【テーマ】笑いと健康で癒しの生活を実現 講師：本学教員 【対象】20名
467	日本赤十字看護大学	埼玉県大学・短期大学図書館協議会（SALA）	令和3年度	団体			
468	人間総合科学大学	蓮田市地域福祉計画策定委員会	令和6年度	自治体（行政）			地域福祉計画に関する事項について、必要な調査及び審議を行う。
469	人間総合科学大学	蓮田市総合振興計画審議会	令和6年度	自治体（行政）			総合振興計画に関する事項について、必要な調査及び審議を行う。
470	人間総合科学大学	蓮田市都市計画審議会	令和6年度	自治体（行政）			年計画に関する事項について、必要な調査及び審議を行う。
471	人間総合科学大学	子ども大学SAITAMA	令和6年度	自治体（行政）			さいたま市が行っている子ども大学の講義の1つを岩槻キャンパスで開催した。 さいたま市の4～6年生が対象で、「みんなの足とど形？ 足のうらを観察しよう」をテーマとして、義肢装具学科の教員と学生8名が講師を担当した。
472	人間総合科学大学	いきいき街づくり委員会	令和6年度	産業界（企業等）			蓮田市商工会の委員として教員を派遣、梨を使った特産品の開発を行っている。
473	人間総合科学大学	ナト・カリ調味料を使用したランチメニューの開発・販売	令和6年度	産業界（企業等）	自治体（行政）		本学では7年前から、さいたま商工会および、さいたま商工会会員の事業所とナト・カリ調味料を使用した商品の共同開発を行っている。今年度も2店舗でテイクアウトメニューを販売した。
474	人間総合科学大学	大学コンソーシアムさいたま	令和6年度	大学・短大（大学・短大間連携）			本学を含む県内12大学が加盟し、教育及び研究分野における連携に関することや民産学官との連携及び交流の促進に関する取り組みを行っている。
475	人間総合科学大学	さいたま市食品ロスプロジェクト	令和6年度	自治体（行政）			さいたま市では平成30年度より「さいたま市食品ロス削減プロジェクト」を開始し、食品ロスの削減を推進するため、事業者と市でつくる「チーム Eat All」事業に参加している。
476	人間総合科学大学	岩槻タウンカフェ	令和6年度	自治体（行政）			岩槻区の魅力あるまちづくりや課題解決について、行政に対する要望に偏らない、地域の自主的かつ主体的に実践できるようなアイデアを出し合う意見交換の場として開催。「岩槻区の特色と課題」をテーマに、学生4名・教員2名が参加した。
477	人間総合科学大学	第13回学生政策提案フォーラム in さいたま	令和6年度	自治体（行政）			7大学8グループの学生が「誰もが自分らしく暮らせる地域共生社会の実現」をテーマに政策を提案。本学からは1チームが参加「農業を活用した異文化交流プロジェクト」で優秀賞を受賞した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の時期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
478	人間総合科学大学	第22回 ～人形のまち岩槻 まちかど鑑めぐり～	令和6年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		岩槻区主催のひな巡りのイベントの同時開催で、岩槻キャンパスにおいて360体を超える大迫力のひな人形の階段飾りを始め、健康イベント・ハンドメイド・音楽フェス・占い・特別コラボなどのイベントを開催した。
479	人間総合科学大学	うたやの森フェスティバル	令和6年度	産業界（企業等）			うたやの森フェスティバル実行委員と蓮田市商工会青年部が主催のイベントに、学生6名職員1名がボランティアで参加した。
480	人間総合科学大学	シニア健康講座	令和6年度	自治体（行政）			蓮田市中央公民館主催の講座に教員を講師として派遣し、「シニアの栄養と食事 食べつ肝臓～フレイル予防」をテーマに講義を行った。
481	人間総合科学大学	子ども講座	令和6年度	自治体（行政）			蓮田市中央公民館主催の講座に教員を講師として派遣し、「みんなで減らそうフードロス」「おいしいサイエンス！キラキラ琥珀糖（結晶化の実験）」の2テーマの講義を行った。
482	人間総合科学大学	さいたまマラソン	令和6年度	自治体（行政）			さいたまマラソンの給水ボランティアに教職員・学生含めて74名が参加。
483	人間総合科学大学	上尾シティハーフマラソン	令和6年度	自治体（行政）			上尾シティハーフマラソンの給水ボランティアに教職員・学生7名が参加。
484		さいたま市タウンミーティング	令和6年度	自治体（行政）			「子ども・子育てにやさしい社会にするためにみんなでできることって？」をテーマに、さいたま市長を含めた参加者とともに意見交換を行った。
485	人間総合科学大学	出張講義	令和6年度	自治体（行政）			上尾市内の2つの公民館主催の講座に教員を講師として派遣し、「埼玉県の巡礼」「心身の健康とストレス」「ストレスに負けない脳のつくりかた」をテーマに3講義を行った。
486	人間総合科学大学	出張講義	令和6年度	自治体（行政）			さいたま市保健所主催の講座に教員を講師として派遣し、「食生活改善推進員一人一人がいきいきと活動するために」をテーマに講義を行った。
487	人間総合科学大学	出張講義	令和6年度	自治体（行政）			蓮田市健康増進課主催の講座に教員を講師として派遣し、「朝食の大切さ・必要性」をテーマに講義を行った。
488	人間総合科学大学	出張講義	令和6年度	産業界（企業等）			いきいき埼玉主催の講座に教員を講師として派遣し、高齢者を対象としたフレイル予防に役立つ「健康栄養講座～人生100年時代を生き抜く身体づくり」をテーマに講義を行った。
489	人間総合科学大学	公開講座	令和6年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		人間総合科学大学、蓮田市商工会と蓮田市による、防災・減災・災害対策等リスクマネジメントの連携協力に関する協定に基づき、「地域防災に役立つ公開講座」を4回開催した。
490	人間総合科学大学	学校運営協議会	令和6年度	特別支援学校			岩槻はるかぜ特別支援学校の学校運営協議会委員とし教員を派遣
491	人間総合科学大学	学校運営協議会	令和6年度	特別支援学校			蓮田特別支援学校の学校運営協議会委員とし教員を派遣
492	文教大学	文教大学あいのみ文庫	昭和57年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			文教大学越谷図書館の児童室施設・資料を地域の子どもたちに提供する児童文庫活動。設置当初は図書館の業務の一部だったが昭和62年より運営をボランティアに委託している。 平成18年文部科学大臣賞受賞。
493	文教大学	親子科学教室	平成15年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			NPOとの共催で、夏休みに公開講座として開催している。実験を伴い、自由研究への導入としても役立つ内容を提供する。また、親子で参加していただくことで、大人にも発見のある講座となっている。 令和6年7月20日（土）「電気を運ぶ小さなつぶ」 NPO埼玉のしい科学ネットワーク講師
494	文教大学	文教大学あいのみ文庫連続講座	平成19年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）		文教大学あいのみ文庫の活動として、文庫スタッフおよび有識者等による連続講座を開催している。関心をもつ親のほか、学校司書等も参加している。 ・乳幼児を持つ親のための講座「わくわく絵本教室」 ・図書ボランティアのための講座「本物の読み手を育てるために」
495	文教大学	越谷市シルバーカレッジ	平成21年度	自治体（行政）			越谷市在住の60歳以上の方を対象に、生涯学習の一環として学習の機会を提供する。 令和6年10月2日（水）朝ドラで話題！平成ギャル文化を少女文化の歴史の中で理解する① 令和6年10月16日（水）朝ドラで話題！平成ギャル文化を少女文化の歴史の中で理解する② いずれも 人間科学部教授 大塚明子
496	文教大学	子ども大学こしがや・まつぶし	平成22年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	大学・短大（大学・短大間連携）	H25年度までは「子ども大学こしがや」H26年度より「子ども大学こしがや・まつぶし」 越谷市及び松伏町在住の小学生に発展的な学習の機会を提供するため、本学および他の団体が連携し、「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」をテーマに3回講座を実施している。 令和6年10月26日（土）「日本人が住んでみたい国No.1 マレーシアってどんな国？」教育学部 手嶋将博 令和6年11月9日（土）「平成時代へタイムトリップ！」教育学部 菅原郁子
497	文教大学	シニアアカデミー	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県のリカレント事業に賛同し、県福祉部との協定に基づき実施。県内在住の55歳以上の方を対象に、学部授業の一部を開放している。 令和6年度開放科目：「国際理解教育」「Special Topics in Global Studies Ⅲ」「Gender Studies」「ヨーロッパ文化研究Ⅰ」「物理学」「障害児教育思想史」「ボランティア論N」「生涯発達心理学」「演劇論Ⅰ」「North American StudiesⅠ」「文学」
498	文教大学	越谷市 学生ボランティア制度	平成29年度	自治体（行政）			本学で教職を目指して学んでいる学生が学校応援団の一員として越谷市内の小・中学校における教育活動をサポートする。
499	文教大学	さいたま市教師塾「夢」講座	平成30年度	自治体（行政）			さいたま市教員等資質向上指標（キャリアnavi）【教諭・主幹教諭】に示されている資質を確実に身に付け、教職への意欲と使命感に燃えるさいたま市の教員を養成するために実施する。
500	文教大学	三郷市 学生ボランティア制度	令和2年度	自治体（行政）			本学で教職を目指し学んでいる学生が学校応援団の一員として三郷市内の小・中学校における教育活動を 補助するための制度。
501	文教大学	「高校生「学び」"夢"プラン」の受入れ	令和4年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会との連携により、県内高校で学ぶ生徒の進路選択の参考、職業や生き方を考える機会として埼玉県民の日に実施。通常授業に高校生・高校教員を受け入れる。 令和6年度対象授業：「教育社会学」「教科概説「図画工作」」「知覚心理学（知覚・認知心理学Ⅱ）」「日本語教育学4」「コミュニケーションのための英文法」「観光とソーシャルビジネス」「財務会計論Ⅱ」「教育実地研究」「商業科教育法Ⅱ」「マーケティング戦略」／模擬授業：「管理栄養士が働く職場と仕事内容」～栄養士のイロハを知って管理栄養士のやりがいを探ろう～

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の時期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
502	文教大学	彩の国 かがやき教師塾	令和4年度	自治体（行政）			大学生の早い段階から、学校現場で体験を積むことによって、教職に対する学生の意欲を高めるとともに、将来の埼玉教育の中核的な立場として活躍できる教員の基礎となる資質を育成することを目的としたもの。
503	文教大学	さいたま市 アシスタントティーチャー	不明	自治体（行政）			教員を志している大学生による学習支援ボランティア（アシスタントティーチャー）は、児童生徒のきめ細かな学習支援の実現と、参加する大学生の教員となるための意欲や資質を高めることを目的としたもの。
504	文教大学	子ども大学そうか	平成27年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		大学の教育資源を活用した講義や地元を学ぶ講義を実施することで、普通の学校生活とは一味違った特別な体験学習を通し、子どもたちの学ぶ力や生きる力を豊かに育むことを目的としたもの。 令和6年9月8日（日）『「貿易ゲーム」で世界の問題を考えよう』 国際学部准教授 渡邊三津子
505	文教大学	教師の魅力発信戦略会議	令和6年度 ※期間：単年度のみ	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）	産業界（企業等）	昨今の教師不足に対応するため、教師の魅力ややりがいを埼玉県より発信し、教員志願者および臨時的任用教員等の確保のために、様々な取組を行うことを目的としたもの。
506	文京学院大学	公開講座ウィークエンドフォーラム	平成4年度	自治体（行政）			ふじみ野市及び周辺地域に対する知識の提供を目的として、公開講座を開講。令和6年度は、10月19日（土）に実施した。
507	文京学院大学	淑徳大学・文京学院大学共催公開講座	平成14年度	自治体（行政）	淑徳大学		富士見市、ふじみ野市、三芳町その他の地元社会において公開講座を開催することにより、市民にとって価値の高い修学の機会を提供する事を目的とする。令和6年度は対面講座として実施。「自分らしく生きる ころとからだが喜ぶこと ユニバーサルデザインにふれてみよう」をテーマに9月28日（土）本学で公開講座を行った。文京学院大学・淑徳大学共催公開講座。
508	文京学院大学	ボランティア支援活動	平成17年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）	自治体（行政）		ふじみ野キャンパス地域連携センターBICSでは、学生が中心となり、近隣地域の小学生、自治体、町内会、NPO法人、高齢者施設、障がい者施設と連携し、音楽演奏、スポーツ、レクリエーションなどのボランティア支援を定期的に行っている。令和6年度は全面的に対面活動が再開をして、学生が主体的に関われる活動に取り組んだ。
509	文京学院大学	高大連携講座「高校生のまなびとあそびのキャンパス」	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			ふじみ野高校普通科1年生を対象とした体験授業。学生による課外活動の説明の後、各学部・学科の教員が担当する体験学習を重視した複数講座のうち、希望する講座を受講するプログラム。教員指導の下、進行を大学生・大学院生が務める講座もある。令和6年度は、夏のオープンキャンパスの日程に合わせて開催した。
510	文京学院大学	子ども大学ふじみ野	平成24年度	自治体（行政）			子ども大学ふじみ野は「まなびで つながり ひろがる 人と地域を育むまち ふじみ野」を基本理念とする「ふじみ野市生きがい学習推進計画」に従い、普通学校では学ぶ事の出来ない専門的カリキュラムによって、子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行っている。 具体的には、総合テーマを「共に生きる社会の理解」とし、多様化している現代社会において、課題に対応する「生きる力」を地域で育むとともに、誰もが笑顔で生活できるまちづくりのきかけとなる学びを提供している。 対象者は市内に在住する小学校4～6年生とし、文京学院大学ふじみ野キャンパスを中心に、原則市内で実施している。令和6年度は、「おやつで感じる国際理解」をテーマに11月23日・24日に対面形式で実施した。
511	文京学院大学	ふじみ野市と学校法人文京学園との連携協力に関する包括協定書	平成28年度	ふじみ野市			社会福祉の充実に関する事項や、教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事項、環境の保全・回復・創出に関する事項、産業振興、地域コミュニティの発展、人材育成に関する事項。令和6年度も「公務キャリア特講（2年後期）」の授業において、市役所の全部署の担当者が様から対面により講義を実施した。
512	文京学院大学	アートフェスタふじみ野	平成29年度	自治体（行政）			包括協定締結先のふじみ野市のイベントに、学生、教職員が出演及び運営に参加している。令和6年度は、1月18日（土）、19日（日）でふじみ野ステラ・ウエストにて対面で実施した。
513	文京学院大学	文京学院大学人間学部とふじみ野高等学校との教育連携に関する協定書	平成29年度	埼玉県立ふじみ野高等学校			双方が実施する教育連携事業等への生徒、学生の参加。双方の教員による出前授業及び施設・設備の利用や教員の資質向上のための研修。教育についての情報交換及び交流。令和6年度、保健医療技術学部も含めた2学部（人間学部・保健医療技術学部）にてオムニバス形式での体験授業を実施。
514	文京学院大学	文京学院大学と富士見高等学校との教育連携に関する協定書	令和5年度	埼玉県立富士見高等学校			高大連携公開授業「オープンカレッジ」を実施。1～2年生が5月～12月にかけて各学科の授業を受講し、12月には生徒が取り組む探究活動の研究発表会を行った。
515	文京学院大学	商店街活性化プロジェクト	平成30年度	地域団体（商店会）	自治体（行政）		ふじみ野キャンパス周辺のシャッター商店街を大学生と地域の連携活動により活性化を実施。現在は空き店舗を借り大学生が地元の子どもとの交流を図る駄菓子屋を運営している。令和6年度は、3月20日（祝）にまちフェス開催。
516	文京学院大学	学生企業見学会	令和元年度	産業界（地元企業）			学生が地元企業を訪問。地域経済への貢献、仕事の内容などへの理解を深めることを目的として実施。令和7年の1月に、学生企業見学会を実施。県内では4社が参加。
517	文京学院大学	インターンシップ	令和6年度	産業界（地元企業）			令和6年夏に、人間福祉科学部の2年生2名が、地元企業でインターンシップに参加。
518	文京学院大学	リカレント科目開講	平成27年度	自治体（行政）			埼玉県高齢者福祉課からの依頼で、参画がスタート。県内在住の55歳以上の方を対象に、生活の充実や社会参加のきっかけづくりとしていただくため、県と県内・近隣にキャンパスを構える 23大学が協力し、授業科目の一部を開放している。コロナ後、令和6年度から科目開講を再開。人間学部、保健医療技術学部の科目をリカレント科目として開講。
519	文京学院大学	ふじみ野市議会と文京学院大学との連携に関する協定	令和3年度	ふじみ野市議会			相互の連携の下、人材交流を図る基盤を整備し、地域貢献及び社会貢献を担う人材の育成に寄与することを目的とする。この協定に基づき、人材の交流及び育成、大学図書館と議会図書館との連携や市議会の政策形成に関する事項について、連携強化を推進するため、協定の締結を行う。コロナで中止していたが、令和5年度より再開。令和6年度は、学生と市議会との交流企画をし、11月7日ふじみ野キャンパスにて「議会報告会」意見交換会を開催。
520	平成国際大学	加須市シニアいきいき大学	平成23年度	自治体（行政）			高齢者の主体的な学習参加や学習活動を促進し、高齢者の力を社会に活かしていくため、加須市内在住の60歳以上を対象に「社会科学部」、「自然科学部」で専門的な講義を行っている。
521	平成国際大学	子ども大学かぞ	平成24年度	自治体（行政）			子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するため、加須市教育委員会、加須青年会議所、加須げんきプラザ、加須市子育て支援課と連携して、ものごとの原理やしくみを追究する「はてな学」、地域を知り郷土愛を養う心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の分野を開講している。
522	平成国際大学	加須市消防団「大学生機能別団員」	平成29年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）	大学・短大（大学・短大間連携）	加須市消防団「大学生機能別団員」に平成国際大学の学生が入団し、地域の消防防災体制の充実強化のため、平常時（消防団PR活動や大規模災害を想定した訓練など）及び大規模災害時（避難場所運営、物資の仕分け、避難誘導など）の活動に協力する。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
523	平成国際大学	大宮東高等学校と平成国際大学との連携協定	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			双方の教育資源を活用し活性化を図るため、スポーツ科学的なサポートを通じた高校生の競技力向上、インターンシップ実習（就業体験）の受け入れなどを行っている。
524	平成国際大学	子ども大学き	平成30年度	自治体（行政）			子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するため、久喜市教育委員会、久喜青年会議所と連携して、ものごとの原理やしくみを追及する「はてな学」、地域を知り郷土愛を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の分野を開講している。
525	平成国際大学	3大学（埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものつくり大学）の連携協力	平成30年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	3大学の教育研究と学術交流及び地域連携活動における教育促進のため、協定を締結した。 R6年度： 6月7日：三大学学長連絡協議会 2月10日：三大学単位互換覚書調印式、三大学合同研究発表会
526	平成国際大学	加須市議会議員による本学視察研修開催	令和元年度	自治体（行政）			コロナ禍等により中断されていたが、令和6年度は加須市議会全議員22名を本学に招き、新学部（情報デザイン学部）新設や別科設置など本学の現況や未来について説明を行った後、体育館・学生食堂・講義棟・図書館・日本語別科・サッカースタジアム・陸上競技場・野球場・美術館などの本学各施設を視察していただき、地域における大学の一層の活用を検討・協議する研修会を開催した。
527	平成国際大学	移動スーパーの実施	令和5年度	自治体（行政）			買物に困難を感じている高齢者等の利便性の向上を図るため、ウェルシア薬局（株）による週1回の移動スーパーによる商品の巡回販売を実施している。
528	平成国際大学	「加須市長・久喜市長と埼玉の未来を語る」	令和5年度	自治体（行政）			梅田久喜市長、角田加須市長を迎え、両市の現況と今後のビジョンについての報告・提言がされた後、本学6つのゼミの各代表学生から両市に関する提言を行い、両市長から各提言に対するコメントをいただく公開イベントを開催した。
529	平成国際大学	加須市ミドルアップ大学	令和5年度	自治体（行政）			加須市との連携により、日本と世界の「今」を学ぶ機会をつくるべく、加須市在住の30代から50代の方を対象に令和6年度新たに開講し、「社会人のためのリアルアート」（法学部）、「健康ライフプラン」（スポーツ健康学部）の2つのコースを開講いたしました。
530	武蔵野音楽大学	入間市 市民コンサート	昭和55年度	自治体（行政）			文化事業の一環として、人間市民にクラシック音楽鑑賞の機会を提供することを目的（協定内容）として昭和55年度（1980）に開始した。長年にわたり親しまれ続け、今年度（令和4年度）で43回目を迎えた（令和元年度は台風の影響で中止、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により中止）。現在では入間市教育委員会入間市立中央公民館が主催し、「市民コンサート」として市民に広く定着している。例年10月中旬から下旬の間に、両者で検討のうえ日時・会場を設定している。令和6年度は10月5日に武蔵野音楽大学パシナホールで開催し、多数の市民がオーケストラの演奏を鑑賞し好評を博した。
531	武蔵野音楽大学	入間市立藤沢中学校合唱祭	平成19年度	幼保・小・中・高等学校等			例年10月～11月にしない近隣の中学校が開催する合唱祭に本学のコンサートホール「パシナホール」を提供している。毎年、主催者の要望に応え、本学より演奏者をゲスト出演させているが、令和6年度は音楽学部生によるフルートと声楽の演奏と解説を行った。
532	武蔵野音楽大学	子ども音楽大学いるま	平成25年度	自治体（行政）			「子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会や文化芸術に触れる機会を提供する」を目的で、「子ども音楽大学いるま」と銘打って、入間市教育委員会生涯学習課との連携により、地域の小学生（4年生～6年生）30名を対象に9月～10月の間に3日間実施している。令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止となったが、令和6年度は楽しいアンサンブル「きらめく音色～バイオリン・オルガンの世界～」「身近な音を楽器で楽しもう！」「作って鳴らそう♪手づくり楽器」「作曲～音名が誕生して1000年？音の理解を深めてメロディーを作曲しよう♪」の講座を実施した。
533	武蔵野音楽大学	入間市文化創造アトリエ・アミーゴ アフタヌーンコンサート「武蔵野音楽大学の名手たち」	平成26年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			入間市の公共施設「入間市文化創造アトリエ・アミーゴ」は、市民のNPOによる運営で、演劇、音楽、古典芸能、アートなどの文化芸術分野で様々な事業を展開している。同じ入間市内にキャンパスを持つ音楽大学として、市民にクラシック音楽に親しむ機会を提供すると共に、地元出身の若い演奏家を応援するコンサートとして、本学大学院の学生を中心とした演奏会を毎年開催し、市民から好評を得ている。令和6年度には大学院生によるクラリネット、声楽、ピアノの演奏を実施した。
534	武蔵野学院大学	公開講座	平成20年度	自治体（行政）			地域社会に開かれた大学、地元の発展に貢献する大学を目指し、地域住民を対象とした「公開講座」を開講している。令和6年度は全2回の講座を開講した。
535	武蔵野学院大学	コラボレーション講座	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携事業として埼玉県内の高等学校の生徒を対象に講座を開催し、大学の雰囲気や講義を疑似体験できる取り組みとして5月から7月にかけて全8回・16講座を実施している。 ※協定締結校：埼玉県立飯能高等学校、埼玉県立狭山緑陽高等学校、埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校、埼玉県立川越工業高等学校、埼玉県立川越初雁高等学校、埼玉県立秩父農工科学高等学校、埼玉県立富士見高等学校、日々輝学園高等学校東京校、クラーク国際記念高等学校（所沢キャンパス）、わせがく夢育高等学校（飯能・川越・所沢・南浦和キャンパス）
536	武蔵野学院大学	子ども大学さやま	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、狭山市教育委員会社会教育課・飯能信用金庫と連携し、子ども大学さやまを全3回開講している。ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土愛を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。
537	武蔵野学院大学	インターンシップ	平成28年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		正規授業である「インターンシップ」の授業を産学官連携によるPBL（Project-Based Learning）型で実施している。狭山市の企業が抱える課題を学生がグループで解決する中で学びを深めるという授業内容で、学生の学びが教育的価値だけでなく、企業の課題解決（経済的価値）と狭山市の課題解決（社会的価値）を同時に実現することを目指している。市職員の方々には、事業所の紹介や学生への講和等で協力いただいており、産学官三位一体のプロジェクトとして推進している。
538	武蔵野学院大学	ムサシノイングリッシュフェスティバル	令和6年度	自治体（行政）	産業界（企業等）	幼保・小・中・高等学校等	地域の子供も達が英語の様々な体験ができるEnglish Festivalを産学官連携により実施している。本学の学びの特徴のひとつである英語を通して地域貢献に資するべく、学生達が英語のワークショップを企画し、運営も学生達により行われる。また、行政や地域企業にも協力いただき、地域の魅力や各社の商品・サービスについても触れられる機会を創出している。
539	武蔵野学院大学	狭山市市制施行70周年記念 ちびっこわくわく運動会	令和6年度	自治体（行政）			狭山市市制70周年を契機に、本学学生たちが日々の学びを活かして子育て世代や地域の方々への楽しい体験を提供しつつ交流促進に繋がるミニ運動会を実施した。
540	武蔵野短期大学	公開講座	平成20年度	自治体（行政）			地域社会に開かれた大学、地元の発展に貢献する大学を目指し、地域住民を対象とした「公開講座」を開講している。令和6年度は、全2回の講座を開講した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
541	武蔵野短期大学	コラボレーション講座	平成22年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携事業として埼玉県内の高等学校の生徒を対象に講座を開催し、大学の雰囲気や講義を疑似体験できる取り組みとして5月から7月にかけて全8回・16講座を実施している。 ※協定締結校：埼玉県立飯能高等学校、埼玉県立狭山緑陽高等学校、埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校、埼玉県立川越工業高等学校、埼玉県立川越初雁高等学校、埼玉県立秋父農工科学高等学校、埼玉県立富士見高等学校、日々輝学園高等学校東京校、クラーウ国際記念高等学校(所沢キャンパス)、わがく夢育高等学校(飯能・川越・所沢・南浦和キャンパス)
542	武蔵野短期大学	子ども大学さやま	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)	産業界(企業等)	子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するため、狭山市教育委員会社会教育課・飯能信用金庫と連携し、子ども大学さやまを全3回開講している。ものごとの原理やしきみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学習する。
543	武蔵野短期大学	ムサシノイングリッシュフェスティバル	令和6年度	自治体(行政)	産業界(企業等)	幼保・小・中・高等学校等	地域の子ども達が英語の様々な体験ができるEnglish Festivalを産学官連携により実施している。本学の学びの特徴のひとつである英語を通して地域貢献に資するべく、学生達が英語のワークショップを企画し、運営も学生達により行われる。また、行政や地域企業にも協力いただき、地域の魅力や各社の商品・サービスについても触れられる機会を創出している。
544	武蔵野短期大学	狭山市市制施行70周年記念 ちびっこわくわく運動会	令和6年度	自治体(行政)			狭山市市制70周年を契機に、本学学生たちが日々の学びを活かして子育て世代や地域の方々への楽しい体験を提供しつつ交流促進に繋がるミニ運動会を実施した。
545	明海大学	病診連携と登録医制度	平成15年度	その他			埼玉県歯科医師会の各都市歯科医師会と連携し、登録医の患者紹介による診療、診断の補助、共同診療など効率的な医療の推進。明海大学歯学部メディアセンター利用や研修会、セミナーへの参加。
546	明海大学	図書館の施設開放	平成15年度	その他	その他		病診連携登録医、SALA(埼玉県大学・短期大学図書館協議会)加盟館の学生及び教職員並びに城西大学の学生及び教職員への図書館開放。
547	明海大学	坂戸市と女子栄養大学、城西大学及び明海大学の坂戸市民の健康づくりに関する連携協力協定に基づく事業	平成18年度	地域団体	自治体	大学等	坂戸市は、市民の多くが首都地域で働く、典型的なベッドタウンである。そのため、団塊の世代の退職者が増加するに従い、急速に高齢化が進む可能性が高く、「生活習慣病予防」の対策を積極的に行うことが大変重要な時期にある。現在、明海大学歯学部は、「食を通じた健康づくり応援店」の認定審査に参加している。
548	明海大学	子ども大学にしているま	平成24年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)	大学、市、町、県が連携し、大学教授等プロフェッショナルが小学校で教えないような課題を大学で教えるという、子ども(4～6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供する。 以下の2分野の講義を基本としている。 1.ものごとの原理やしきみを追求する「はてな学」 2.自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」
549	明海大学	坂戸市消防団「大学生機能別団員」	平成29年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア等)	大学・短大(大学・短大間連携)	坂戸市消防団「大学生機能別団員」に明海大学、城西大学及び女子栄養大学の学生が入団し、地域の消防防災体制の充実強化のため、平常時(火災予防及び消防団PR活動、出初め式及び防災訓練など)及び大規模災害時(避難所等での支援活動など)の活動に協力することで、地域防災体制の一層充実を目的としている。
550	目白大学	車いすテニスプレイヤー支援 ＜埼玉県車いすテニス協会との連携＞	平成29年4月	埼玉県車いすテニス協会			本学での定期的な練習のサポートや大会の支援や交流イベントの開催を行う。 協会メンバーの授業協力、協会主催の川越水上公園車いすテニス大会への参加と協力も行っている。
551	目白大学	区内就労支援事業所との連携 (パン・焼き菓子販売)	令和2年4月	医療法人社団 春志会 就労継続支援施設B型 千乃詩			月2回程度、本学にて学生と就労支援事業所の利用者・職員でパン・焼き菓子の販売を行う。
552	目白大学	岩槻区地域支え合い推進員連絡会との連携	令和3年4月	岩槻区地域支え合い推進員 連絡会			岩槻区内の3つの地域包括支援センター(松鶴園、白鶴ホーム、社協岩槻)の高齢者生活支援コーディネーターと岩槻区高齢介護課とで行う月に1回の会議に本学教員が参加し、岩槻区内における介護予防を目的とした通いの場や自主グループの創設・継続支援について情報共有することを目的とする。また、本連絡会に関する事業に学生ボランティアを派遣する。
553	目白大学	“ジェンダー平等” 今、できること。 ー仲間と語ろう、仲間と考えようー 目白大学×With Youさいたま(共催)	令和5年4月	With Youさいたま			埼玉県男女共同参画推進センター With Youさいたまとの共催事業である。 ジェンダー平等に関する認識向上を目指し、With Youさいたま事業担当の方と学生でカンファレンス(①DV被害者への対応について②私らしく生きるために今できること)を実施した。また、R7年2月にWith Youさいたまフェスティバルにおいて、本活動の発表を行った。
554	目白大学	元氣アッププロジェクト	令和5年4月	医療法人社団 幸正会岩槻 南病院・岩槻南循環器クリニック	和土住宅自治会	和土小学校	地域で暮らす高齢者のヘルスプロモーション活動や和土小学校の活動をサポートする。 おもな活動は以下↓↓↓ ・岩槻南循環器クリニックに通院する高齢者さんと一緒に散歩を楽しむ(1回/月) ・岩槻南循環器クリニックとの企画・運営で健康に関する市民公開講座を開催する(1回/年) ・岩槻南病院、和土住宅自治会との企画・運営で健康に関する座談会を開催する(1～2回/年) ・和土小学校チャレンジスクールを支援する(水・全14回、土・全14回) ・和土住宅自治会との世代間交流事業の企画・運営(1回/年)
555	目白大学	柏崎地区社会福祉協議会の活動支援	平成28年4月	柏崎地区社会福祉協議会			柏崎地区社会福祉協議会が主催するサロン活動、夏祭り、敬老会の運営をサポートする。
556	目白大学	岩槻区地域包括支援センター連絡会との連携	令和3年4月	岩槻区地域包括支援センター 連絡会			年度に3回開催される岩槻区地域包括支援センター連絡会に参加する。 岩槻区内の3つの地域包括支援センター(松鶴園、白鶴ホーム、社協岩槻)の通いの場や介護予防事業の方針や進捗状況について議論し、連携を図る。
557	目白大学	さいたま商工会議所&目白大学 医療機器等開発マッチング(＝SMAP事業)	令和2年4月	さいたま商工会議所			2019年度に実施したマッチング相談会に代わり、さいたま商工会議所に目白大学医療機器等開発マッチングについてのリーフレット作成を依頼し、教授会での配付を行う。
558	目白大学	岩槻区内作業所との協力	令和6年2月	就労継続支援B型事業ふくふく	岩槻区障害者生活 支援センター		目白大学の体育館を利用し防災訓練を実施し、知的障害者や精神障害者が災害時にとる行動について学ぶ。また、支援者が日常のような声掛けをしているかや利用者との接し方を学ぶため、学生は訓練の補助に入る。
559	目白大学	革細工を通じた障害児・者施設との交流	令和4年6月	一般社団法人とまりぎ			とまりぎが運営する障害者グループホームの入居者、放課後デイサービスに通所されている児童を対象に、余暇活動としての革細工教室をボランティア学生とともに年6回程度開催
560	目白大学	目白大学訪問カレッジサポーター活動	令和6年4月	一般社団法人ケアの箱舟	埼玉県立宮代特別 支援学校		特別支援学校卒業後に通所等の利用が難しい方に訪問し生涯学習を支援する。医療的ケア児者について学生に理解を広めるとともに、先ずは教員とともに岩槻区内などに在任の医療的ケア児者のご自宅を訪問し交流を開始し自分たちにできることを考える。
561	目白大学	オレンジカフェ「目白のわ」	令和6年4月	岩槻区地域包括支援センター白 鶴ホーム	特別養護老人ホ ーム 岩槻まきば園		①認知症の方もそうでない人も理解を深める場を作る。 ②目白大学と地域包括支援センターが連携し、地域課題の解決を図る。 ③学生が認知症について理解を深める

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
562	目白大学	目白大学アクティブサポートセンター	平成29年4月	シニアサポートセンター社協岩槻			年5回岩槻区内の高齢者を対象としてフレイル予防講座を開催している。 各年度30～40名の申込みがあった。2020年はおうちフレイル予防プログラムを配信、2021年は介護者の腰痛予防講座を実施した。会場は岩槻本町公民館などを使用している。学生も体力測定のパランティア等をしている。 本学の理念等を広く社会に周知させるとともに、地域の文化の向上、活性化に資することを目的とする。 行田市民を対象とする「市民特別公開講座」と、県民全体を対象とする「特別公開講座」について、講師を招いて講演を行う。
563	ものづくり大学	公開講座	平成13年度	自治体（行政）	その他		市民特別公開講座：2024年11月16日（土）「お申いの近現代」（講師：土居浩氏、スペシャルゲスト：林家つる子氏）を行田市教育文化センターみらいで開催 特別公開講座：2025年3月3日（月）「埼玉学 ― 新時代の新しい教養」（講師：井坂康志氏）を大宮ソニックシティで開催
564	ものづくり大学	授業製作物の寄贈、貸出	平成13年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	企業	授業製作物である東屋やベンチ、道具などを、公共施設を中心に寄贈している。一部は貸出という形で設置している。
565	ものづくり大学	県内各種団体による大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）	産業界（企業等）	自治体・行政による視察や、学校等の社会科見学のための大学見学の受け入れ ・行田市立北小学校（2024年6月8日）
566	ものづくり大学	（高大連携事業）大学見学	平成13年度	幼保・小・中・高等学校等			高校生の大学見学の受け入れを実施。 5月 埼玉県立鳩山高等学校（3名） 10月 埼玉県立吹上秋桜高等学校（16名） 11月 埼玉県立宮代高等学校（11名） 埼玉県立熊谷工業高等学校（70名） 埼玉県立岩槻商業高等学校（37名） 12月 埼玉県立小鹿野高等学校（3名）
567	ものづくり大学	インターンシップ	平成14年度	産業界（企業等）	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）	ものづくり大学のインターンシップは、ものづくり教育の基礎となるカリキュラムの中で、将来企業で活躍するための社会人力を身に付けるキャリア教育として位置づけられている。実務現場での研修を通して学習の意欲を高め、仕事をやる意味や現場での考え方、コミュニケーションの必要性など社会人としての素養を高めることを目的としている。2年次の第2クォータに必修科目として配当しており、実働40日間の長期インターンシップは本学の特色の一つとなっている。 2024年度は、203人の学生が就業体験の機会をいただき、受入企業総数147社のうち県内企業83社においてインターンシップを行った。
568	ものづくり大学	行田市民大学	平成21年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		行田市民大学への学内施設の貸出および講師派遣 5月23日（木）：まちづくり～地域を知ってアイデアを出す 6月4日（火）：郷土の歴史「忍領に残る歴史遺産」 6月13日（木）：カルマと社会の過去と未来を覗く 10月24日（木）：元気の出る街づくり 12月5日（木）：日本の建築の魅力 ロボットの現状と未来
569	ものづくり大学	子ども大学ぎょうだ	平成22年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		大学や市町村、企業・NPOが連携して、地域の子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供するものである。 小学校で教えないような課題を取り上げ、一部講義を本学教員が担当している。全日、本学職員が参加している。 7月6日（土）入学式、「行田市の偉人について」 7月20日（土）「モルタル人形を作ってみよう」 8月3日（土）「きみもマジシャン」 8月24日（土）「自分だけのはにわを作ろう」 9月7日（土）「人口筋肉を用いた未来のロボットを体験しよう」、卒業式
570	ものづくり大学	鴻巣おもちゃの病院との連携	平成23年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			鴻巣市社会福祉協議会主催の「鴻巣おもちゃの病院」が、本学の学園祭においても開院している。
571	ものづくり大学	埼玉国際学園との連携	平成26年度	その他			熊谷にある日本語学校である埼玉国際学園との連携協定に基づき、見学の受け入れなどを行っている。
572	ものづくり大学	中学生の職場体験	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			鴻巣市の中学生が「鴻巣市中学生社会体験チャレンジ事業」として本学の学生食堂で職場体験を実施
573	ものづくり大学	埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学の連携協力	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）			3者における教育研究と学術交流及び地域連携活動における協力の促進を図ることを目的とし協定を締結した。 2025年2月10日（月）三大学合同研究発表会および高大連携交流会（場所：平成国際大学）
574	ものづくり大学	職場内での短時間保育	平成30年度	地域団体（NPO、ボランティア等）			NPO法人子育てネット行田との連携協定に基づき、職員等の子育てサポートとして職場内での短時間保育の環境を整えている。
575	ものづくり大学	3市（行田市、加須市及び羽生市）1商工会議所（行田）、3商工会（加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会）3大学（埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学）の連携協力	令和2年	自治体（行政）	産業界（企業等）	大学・短大（大学・短大間連携）	3市の圏域特性及び各当事者の特色や資源を活かし、高等教育等の教育及び地域連携活動に際しての産学官の協力を促進することを目的とし、協定を締結した。 7月8日（月）2024年度第1回彩北未来プロジェクト会議 8月6日（火）子ども大学はにゅうを本学で実施 10月28日（土）、29日（日）学園祭に彩北未来プロジェクトのパネル展示 11月6日（水）加須いきいき大学への講師派遣 12月に本学で実施した企業研究交流会において、行田商工会議所を通じて会員企業10社にご参加いただいた。 3月4日（火）2024年度第2回彩北未来プロジェクト会議

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
576	ものづくり大学	鴻巣市「旧中山道商店街活性化プロジェクト」への協力	令和4年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		鴻巣市総合政策課および鴻巣市商工観光課と共同で取り組んでいる。 令和6年度は以下の取組を実施した。 ・鴻巣市旧中山道沿い商店街における住民の意識調査 ・商店街事業者におけるSNSを活用した広報支援 ・起業・副業支援を目的としたセミナーの開催 ・そらはなマルシェの運営
577	ものづくり大学	長瀬町の観光に関する調査	平成30年度	自治体（行政）			埼玉県の助成を受け、長瀬町産業観光課と共同で取り組んでいる。令和6年度は、観光事業者に対しインバンドの受容意識と対応に関する基礎的調査を実施した。
578	ものづくり大学	埼玉純真短期大学図書館の図書館用什器の制作	令和5年度	大学・短大（大学・短大間連携）			埼玉純真短期大学の図書館リニューアルに伴い、ものづくり大学と埼玉純真短期大学の大学間連携プロジェクトとして、令和5年度に制作した大型絵本用書棚、大型紙芝居架、図書用展示台、展示架に続き、令和6年度は図書館用スツールの制作を行った。
579	ものづくり大学	「こうのす花まつり」における来訪者のニーズ調査	令和5年度	自治体（行政）			鴻巣市商工観光課と共同で、「こうのす花まつり」のシティブロモーションの効果検証を行った。
580	ものづくり大学	皆野町における地域コミュニティ醸成を目的とした基礎的調査	令和6年度	自治体（行政）			皆野町の地域コミュニティ醸成を目的に、小中学生の地域愛着および住民意識に関する基礎的調査を実施した。
581	ものづくり大学	皆野町公民館講座の実施	令和6年度	自治体（行政）	地域団体（NPO、ボランティア等）		8月に皆野町の「働Co-factory みんなの LABO」にて、皆野町伊従相談センターに設置するイスづくりのワークショップを開催した。2月には、ものづくり大学にて、タイルコースター作り・壁塗り体験のワークショップを開催した。
582	ものづくり大学	草加市との木橋リノベーション事業の実施	令和6年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		草加市と木橋リノベーション事業に関する基本協定を締結し、草加市が管理する木橋4橋のリノベーションを行う。令和6年度は、「中根ふれあい橋」1橋のリノベーションを実施した。
583	ものづくり大学	熊谷市常光院の建物調査研究	令和6年度	その他			熊谷市内の常光院の山門および鐘樓の建物調査および図面制作を行った。
584	ものづくり大学	（高大連携事業）埼玉県立鴻巣女子高等学校の文化祭ファッションショー用の備品制作	令和5年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携プロジェクトとして、鴻巣女子高等学校の文化祭で毎年家政科学科が開催しているファッションショー用の備品を制作している。令和5年度のバージョンに続き、令和6年度はひな壇4台を制作した。
585	ものづくり大学	（高大連携事業）高校生のインターンシップ受入れ		幼保・小・中・高等学校等			県内高等学校から高校生のインターンシップ受入れを行った。 埼玉県立大宮工業高等学校（5名）：11月11日～13日
586	ものづくり大学	（高大連携事業）ものづくり大学体験授業、出張授業		幼保・小・中・高等学校等			高校と大学を結ぶ高大連携を目的として、本学の教員が高等学校を回り、高校生を対象とした出張授業ならびに高校生が本学において授業を体験する体験授業実施している。 ものづくり大学の授業の一端に触れることで、大学で勉強する内容を知るとともに、ものづくりの楽しさや素晴らしいさを感じてもらうとともに、ものづくりの「技」と「知恵」、そして「心」をあわせもつ有為の人材を育成して、ものづくり産業の発展を目指すという本学の設立の趣旨からも、出張授業ならびに体験授業がその一助になることを意図している。 【出張授業】 埼玉県立坂戸高等学校（71名）：5月16日 埼玉県立大宮工業高等学校（250名）：7月12日 東京成徳大学深谷高等学校（25名）：9月27日 浦和学院高等学校（9名）：10月19日 埼玉県立羽生第一高等学校（7名）：10月29日 埼玉県立北本高等学校（5名）：10月31日 埼玉県立飯能高等学校（21名）：11月21日 本庄第一高等学校（10名）：12月11日 埼玉県立新座高等学校（7名）：12月19日 埼玉県立上尾高等学校（7名）：12月20日 埼玉県立小川高等学校（12名）：12月20日 本庄第一高等学校（2年生）：2025年2月4日 【体験授業】 埼玉県立進修館高等学校（31名）：11月1日
587	ものづくり大学	（高大連携事業）埼玉県教育委員会事業および県内高校等で教員が講演	令和5年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		高校等の研修会で教員が講演を行った。 埼玉県高等学校中堅教諭等資質向上研修（500名）：7月22日 学校管理職マネジメント塾（全3回）：10月21日、11月18日、12月24日 埼玉県立杉戸高等学校生徒講演会（1年生280名）：4月12日 埼玉県立久喜高等学校生徒講演会（全校生徒約800名）：12月20日 埼玉県立鷹の台高等学校生徒講演会（1、2年生約400名）：2025年3月17日
588	ものづくり大学	ものづくり大学技能競技大会	平成24年度	産業界（企業等）			ものづくり大学、埼玉技能士会連合会、埼玉土建、建設埼玉が主催し、高校生とものづくり大学生を対象に募集を行う。建築大工職種と家具職種で、それぞれ課題が示され、実技競技を行う。 日時：10月27日（碧蓮祭と同時開催） 参加人数：12名（建築大工7名、家具5名）
589	ものづくり大学	行田まちなか再生エリアプラットフォーム	令和6年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）	産業界（企業等）	行田まちなか再生エリアプラットフォームにおける未来ビジョン等の新規策定のための支援
590	ものづくり大学	熊谷まちなか再生エリアプラットフォーム	令和6年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）	産業界（企業等）	未来ビジョン事業実施のための空き家リノベーション設計、まちなかの賑わい創出のためのイベント実証実験 未来ビジョン事業実施のための、市役所前通りオープンカフェ化や中央公園有効活用イベント実証実験
591	ものづくり大学	行田市（文化財保護課）	令和6年度	自治体（行政）			日本遺産構成資産 大澤家住宅土蔵建物調査
592	ものづくり大学	彩の国女性研究者・技術者ネットワーク	令和6年度	大学（大学間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	埼玉県の女性研究者・技術者が相互に交流し、女性研究者・技術者の活躍を推進するために、埼玉大学が実施し、県内の企業、行政機関（研究機関）、大学等が連携・提携機関として加入。 ものづくり大学は、令和6年11月加入。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
593	立教大学	水泳教室	昭和47年度	その他			毎年8月の夏休み期間を利用して、近隣の3～12歳の子供たちを対象に、体育会水泳部が水泳教室を行っています。期間中延べ1,000名近くが参加する人気の企画です。平成27年度より、屋内プールになり、天候に影響を受けません。
594	立教大学	新座市内大学講座	平成9年度	自治体（行政）			新座市・新座市教育委員会から委託を受け、市民向けに、「公開講座」「スポーツ教室（野球・サッカー・テニス・乗馬）」「クリスマスコンサート」などを開催しています。
595	立教大学	市内3大学学生と市長との懇談会	平成9年度	自治体（行政）			柔軟な思考で斬新なアイデアの提案が期待できることから、大学生が市政に対する提言等を新座市長にするというものです。市内にある3つの大学に通学する学生を対象に、懇談会形式で実施しています。
596	立教大学	インターンシップ	平成11年度	自治体（行政）			官公庁、一般企業の業務に触れることで、仕事や社会を知り、将来の展望を考える機会として新座市でのインターンシップを実施しています。実施期間は夏季休暇中（前期）または春季休暇中（後期）を中心に、5日間以上の実習について単位を付与しています。
597	立教大学	いざプラスカレッジ(旧 新座市民総合大学)	平成12年度	自治体（行政）			新座市・新座市教育委員会主催で市内3大学（跡見学園女子大学、立教大学、十文字学園女子大学）が各1コース（3大学合計3コース）を開講し、市内在住もしくは在勤・在学の18歳以上を対象に講義を実施しています。
598	立教大学	武蔵野銀行×立教大学産学連携プロジェクト	平成19年度	産業界（企業等）			埼玉県の地域活性化に貢献することを目的に武蔵野銀行と産学連携協定を締結し様々な活動を行っています。事例として、地域活性化を目的として、まち歩きMAPを本学観光学部生が作成しています。『ふらっとて幸手』から始まり、羽生、行田、加須、氷川参道、新座、小鹿野、株父、川越、草加、朝霞などで制作が続けています。
599	立教大学	中山間「ふるさと支援隊」	平成22年度	自治体（行政）			埼玉県内の中山間地域の多くの集落では、高齢化や過疎化の進行により、農林業や地域活動の維持が困難な状況となっています。埼玉県では、平成22年度から大学生による「ふるさと支援隊」を組織し、若い感性や専門知識を活かして中山間地域に活力をもたらす支援をしています。
600	立教大学	子ども大学ふじみ	平成24年度	自治体（行政）			地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、その教育資源を活用しながら、富士見市子ども30名を対象に、学ぶ力や生きる力をぐくみ、向上させることを目的とし、様々な授業を展開しています。
601	立教大学	子どもスポーツ大学ふじみ	平成24年度	自治体（行政）			地域の大学や市民活動団体等との連携のもとに、色々なスポーツ分野で活躍している選手と一緒に学校では体験しないスポーツを経験することを目的とし、「乗馬教室」などを開催しています。
602	立教大学	飯能信金との経営塾	平成24年度	産業界（企業等）			本学ビジネスデザイン研究科と飯能信用金庫が連携して実施する飯能信用金庫の地元企業若手経営者及び後継者を対象とした全18回程度の経営塾を開講しています。飯能信用金庫がプログラム全体の運営を行い、ビジネスデザイン研究科は、各講座の企画・内容を提案・実施し、講師も派遣するなどプログラム運営の支援を行っています。
603	立教大学	彩の国アスポート学習支援事業との科目展開	平成26年度	自治体（行政）			「RSL（立教サービスマーケティング）」科目において、アスポート学習支援事業（運営：一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク）に学生を派遣しています。
604	立教大学	正課授業 立教サービスマーケティング(RSL)ーローカル（地域共生）	令和4年度	地域団体			熊谷市をフィールドとして、「農福連携」に取り組む企業での農作業や地域に根ざした「農からはじまる暮らし」の体験（ハンディキャップをもつ方々との農作業やワークショップ、農産物の生産から商品として消費者へ提供される過程についての体験的な学び）をとおして、地域における社会的包摂のあり方やローカルな視点から持続可能な社会をつくるために必要な視点や方法を学んでいる。
605	立教大学	埼玉県知事と観光学部の学生による意見交換	令和5年度	自治体（行政）			埼玉県と立教大学との包括連携協定に基づく連携推進の一環として、若者の感性を県政に生かしつつ、学生に生きた学習の場を提供することを目的として実施しています。
606	立教大学	埼玉県議会議員とコミュニティ福祉学部の学生による意見交換会	令和6年度	自治体（行政）			埼玉県と立教大学との包括連携協定に基づく連携推進の一環として、「若者と政治の距離をどう縮めるか、若者の政治離れ」をテーマに初開催となった埼玉県議会議員との意見交換会に本学のゼミが参加、活発に討論し若者視点からの提案をさせていただいた。
607	早稲田大学	所沢市との「協働によるまちづくり」	平成15年度	自治体（行政）			●市の行政活動に大学が保有する知的財産をまちづくりの資源として活かし、豊かな地域社会を創造する。 ●福祉、環境、教育、文化、スポーツ、芸術などの分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与する。
608	早稲田大学	所沢市西地区総合型地域スポーツクラブの支援事業	平成16年度	自治体（行政）			●種目別クラブ活動 ●各種スポーツ教室 ●健康体力相談・測定 ●各種研修会・講演会 ●調査研究 ●会員相互の親睦を深めるための活動 ●その他、クラブの目的達成のために必要な事業
609	早稲田大学	さやま市民大学 早稲田大学連携 健やかいきがい講座	平成18年度	自治体（行政）			●スポーツ科学部教員がコーディネートした講座実施 ●授業期間中の毎土曜2限 ●定員20名
610	早稲田大学	所沢市教育委員会並びに早稲田大学人間科学学術院による教育連携	平成19年度	自治体（行政）			所沢市の市立小・中学校へ早稲田大学人間科学部の実習学生を派遣し、学校教育活動の円滑な実施に寄与し、教育現場における体験を通して、学生の教育専門職としての意識および教養を高め、学校教育の一層の向上を図る。 実習内容は次のとおり。 ●学習支援 ●その他、学校教育活動に関すること
611	早稲田大学	埼玉県皆野町と早稲田大学人間科学学術院との地域活性化プロジェクト	平成31年度	自治体（行政）			●海外招聘高校生、早稲田大学人間科学部学生・大学院生、皆野中学校生徒との英語交流事業 ●キャリア教育を目的とした皆野町立小学校・中学校、県立皆野高校と早稲田大学人間科学部学生・大学院生との交流事業 ●地域創成を目的としたインターンシップ事業
612	早稲田大学	オープンスクール	平成7年度	幼保・小・中・高等学校等			●「脳の研究」について、高校生に体験してもらう。 （ブタの脳の解剖、神経の顕微鏡観察） ※現在は埼玉県内の高等学校と実施している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
613	早稲田大学	埼玉県皆野町、株式会社アイネス総合研究所と早稲田大学人間科学学術院との健康データ分析による健康増進で中長期的にまちを発展させる事業に関する包括的協定	令和4年	自治体(行政)	企業		●健康データ分析事業に関する事項 ●皆野町民の健康寿命の延伸事業に関する事項 他
614	早稲田大学	埼玉医科大学総合医療センターとの実習生に関する契約書	令和5年	病院			●臨床現場での実習および見学
615	早稲田大学	所沢市教育委員会と早稲田大学人間科学学術院との教育臨床連携に関する覚書	令和5年	自治体(行政)			●相談者への窓口紹介 ●大学院生への実習提供 ●教員の資質向上 ●心理相談室の活動提供
616	早稲田大学	獨協医科大学埼玉医療センターと早稲田大学人間科学学術院との実習生の受け入れに関する覚書	令和6年	病院			●臨床現場での実習および見学
617	早稲田大学	「マチごとゼロカーボン市民会議」相互協力に関する覚書	令和5年	自治体(行政)			●市民会議への協力 ●市民会議参加者を対象とした調査研究 ●市民会議参加者自らが行う活動への支援
618	早稲田大学	埼玉医科大学総合医療センターとの実習生に関する契約書	令和6年	病院			●臨床現場での実習および見学
619	早稲田大学	埼玉県秩父郡長瀬町と早稲田大学人間科学学術院とのキャリア形成支援に係る取組みに関する覚書	令和6年	自治体(行政)			●保健・福祉・教育分野を中心とした政策提言を含む調査研究事業 ●町役場等でのインターンおよび地方創生を体験できるプログラムの開発
620	早稲田大学	所沢市教育委員会と早稲田大学人間科学学術院との研究連携に関する覚書の一部変更	令和6年	自治体(行政)			●学校教育に係る研究活動 ●所沢市教育委員会が主催する研究事業
621	早稲田大学	公益財団法人トトロのふるさと基金と早稲田大学人間科学学術院との包括連携に関する協定書	令和6年	その他			●市民運動、行政、民間企業、アカデミアによる連携 ●動植物の広域なモニタリング(自動カメラによる野生動物のモニタリング等) ●市民参加型を進める次世代型の二次林(里山)についての方向性の検討
622	放送大学埼玉学習センター	放送大学・さいたま市宇宙劇場コラボレーション特別講演会	令和2年度	公共施設			放送大学埼玉学習センターとさいたま市宇宙劇場とのコラボレーションによる講演会。さいたま市宇宙劇場プラネタリウムを会場として、宇宙や星座にまつわる内容の講演を行っている。令和6年度は、9月14日に「宇宙の中の地球という星～地球はそれほど特別なのか～」(講師：田中 信行放送大学客員教授)というテーマで開催した。
623	秋草学園短期大学	インターンシップ	平成13年度	産業界(企業等)	自治体(行政)		自治体・企業等にインターンシップの受け入れを依頼、大半が5日間程度で実施しているが、10日間受け入れていただいている企業もある。修了後単位が付与される。コロナウィルスの影響により一次中断していたが、令和5年度から再開し令和6年度は、21の企業様に22名の学生を受け入れていただいた。
624	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 前期公開講座	平成19年度	自治体(行政)			6～9月、埼玉県、所沢市の各教育委員会及び所沢商工会議所の後援を受けて、音楽・健康・心理学・文学・自然・芸術・語学(中国語)の分野で15の講座を開設。
625	秋草学園短期大学	秋草学園短期大学 後期公開講座	平成19年度	自治体(行政)			10～3月、埼玉県、所沢市の各教育委員会及び所沢商工会議所の後援を受けて、音楽・健康・心理学・文学・自然・芸術・語学(中国語)の分野で14の講座を開設。
626	秋草学園短期大学	地域活動(ボランティア)	平成19年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	その他	自治体・NPO法人、幼稚園・保育園等からの依頼を受け、学生を派遣する。地域保育学科はボランティアが必修科目とされ、修了者に単位(4単位)が付与される。所沢市民フェスティバルの会場係を担当。「サンタを探せ」のイベントに派遣。その他地域のイベントでもボランティア活動を行った。
627	秋草学園短期大学	埼玉県民の日高校生「学び」「夢」プラン	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会主催の事業であり、高校生が普段の大学の授業を学生と共に受講することにより、将来の学校や学部選択の参考にし、将来の職業や生き方を考える機会を提供する。
628	秋草学園短期大学	「安心・安全な地域づくり」事業	令和4年2月25日	所沢警察署			埼玉県警所沢警察署と包括連携協定を結び、安全・安心な地域を作るための取り組み(オレオレ詐欺防止キャンペーンのためのポスター・チラシ作りと市民へのPR活動、西武鉄道・西武遊園地に於ける救難訓練の実施 等)を行っている。
629	秋草学園短期大学	駅ボランティア		自治体(行政)	産業界(企業等)		学生約50名が参加し、所沢市、西武鉄道の協力を得て車椅子での移動や、視聴覚の障がい者の疑似体験をし、障がいのある人々を理解するとともに、駅構内等での介助方法を学ぶ。
630	秋草学園短期大学	「茶娘」		自治体(行政)			所沢市農業振興課地元特産の「狭山茶」を池袋駅にてPR活動を補助。
631	秋草学園短期大学	「農業祭」		自治体(行政)			所沢市民フェスティバルにて所沢市農業振興課の「農業祭」における様々なイベントの補助。
632	秋草学園短期大学	「SORALレディ(学生記者)」		地域団体(NPO、ボランティア等)			所沢商工会議所のSORALレディ(学生記者)を2名の学生が毎年委嘱を受けて、様々な機関・企業等に取材に赴き、本機関広報誌等に記事等を執筆した。
633	国際学院埼玉短期大学	幼児絵画展	昭和61年度	自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等		埼玉県内の幼稚園・保育園(所)・認定こども園に通っている3歳から5歳までの子供を対象に、幼児教育における表現活動への興味・関心を深め、県内幼児教育の振興に寄与することを目的に開催している。応募作品は、厳正な審査を経たうえで、一部を表彰式で表彰の上、本学のホームページ上で優秀作品等の紹介を行った。
634	国際学院埼玉短期大学	就職問題研究協議会	昭和63年度	国・自治体(行政)(埼玉労働局)(埼玉県労働商工部)	公共団体(埼玉県雇用対策協議会)	短期大学の協会(埼玉県私立短期大学協会)	埼玉県私立短期大学に在学する学生の就職支援の向上・充実を図ることを目的に毎年、春・秋の年2回、研究協議会を開催しており、令和6年度もオンラインで開催し、埼玉労働局職業安定部職業安定課、埼玉労働局雇用環境・均等部 指導課、埼玉県産業労働部雇用労働課、埼玉県雇用対策協議会に助言・指導者として出席いただき開催した。 第1回：令和6年6月18日 / 第2回：令和6年9月10日
635	国際学院埼玉短期大学	埼玉県高等学校進路指導研究会との連絡協議会	昭和63年度	高等学校の協会(埼玉県高等学校進路指導研究会)	短期大学の協会(埼玉県私立短期大学協会)		県内短期大学の教育内容の理解、及び県内高校生の自県内短期大学への進学率の向上等を図るため毎年研究協議会を開催している。令和6年度は「令和7年度入学者選抜の特色」「入学前教育」「高校生『学び』『夢』プラン」について連絡協議・意見交換を行った。 期日：令和6年8月2日 場所：埼玉県立浦和商業高等学校

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の時期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
636	国際学院埼玉短期大学	さいたま市委託事業公開講座	平成5年度	自治体（行政）			さいたま市との共催で、さいたま市在住・在勤の方を対象に学びの機会を提供しており、令和6年度については次の3講座を開講した。 ・「大人も育っ！子育て講座」令和6年9月5日・9月6日 ・「はじめての災害食講座～在宅避難生活を乗り越えるために～」令和6年10月19日 ・「スペシャル講座」パレスホテル大宮のシェフと学ぶ、さいたま市産野菜の逸品」令和6年11月30日・12月7日
637	国際学院埼玉短期大学	味彩コンテスト	平成5年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等		一般家庭の食生活の改善や健康増進、高校生の食育推進等に役立てることを目的にバランスの良い健康に役立つ献立を公募し、書類審査、試食審査を行い優秀作品を選出・表彰している。
638	国際学院埼玉短期大学	農・商・学連携地産地消プロジェクト	平成24年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		さいたま市及びさいたま市内農家の協力を得て、さいたま市特産の紅赤を本学学生が苗付、除草、収穫等を行い、農作業を通じて農業の役割や食物の大切さなどを理解する取り組みを行っている。収穫した紅赤を使用したスイーツを考案し、五峯祭（大学祭）やさいたま市農業祭において販売している。
639	国際学院埼玉短期大学	県民の日 高校生「学び」夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等			埼玉県高等学校進路指導研究会と埼玉県私立短期大学協会等との連携により開催する県民の日高校生「学び」夢プランに参画し、本学通常授業に高校生・高校教員の参加を受け入れている。令和6年度は幼児保育学科の授業に2名の申し込みがあった。（当日1名欠席）
640	国際学院埼玉短期大学	大学コンソーシアムさいたま加盟大学の公開講座	平成27年度	大学・短大（大学・短大間連携）			市民等の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるため、共通のテーマを設定し、各大学が公開講座（リレー講座）に参加している。本学では令和6年度は3つの講座を実施した。 ・「全国調理師養成施設協会共催・日本マナー・プロトコール協会後援 食育教室2024 おはしの国の洋風会席」令和6年9月28日 ・「親子で参加 こころからた☆はすむダンスエクササイズ」令和6年8月3日 ・「そば打ち入門」令和7年2月8日
641	国際学院埼玉短期大学	国際学院埼玉短期大学認定「食育士養成講座」	平成28年度	産業界（企業等）	農場、牧場		本学が地域の食育を推進する人材を育成する事業において、埼玉県内の農場や牧場と連携し、作業体験を通じて体験的な食の循環等を学ぶ機会として取り組んだ。
642	国際学院埼玉短期大学	大学の開放授業講座	平成28年度	自治体（行政）			埼玉県が実施する「大学の開放授業講座（リカレント教育）」として、県内在住の55歳以上の方々を対象に、本学通常授業への受け入れを行っている。令和6年度は1科目開講した。
643	国際学院埼玉短期大学	園外保育連携	平成29年度	幼保・包括協定連続崎保育園	社会福祉法人（保育園）		保育士養成教育並びに保育の向上・充実に寄与することを目的に包括協定締結先の保育園と連携し、園から徒歩圏内にある本学の構内（人工芝の多目的広場）を目的地として園児を受け入れ、園外保育に協力した。（平均：月に2回程度 実施）
644	国際学院埼玉短期大学	高大連携授業	令和元年度	幼保・小・中・高等学校等			高校生が「本学教員による出張授業」を体験することにより、専門職業への学びの意欲を高め、興味・関心を持つ分野への理解を深めるとともに、主体的な進路選択を行うことができるようになるための機会の拡充を図ることを目的に高大連携授業を行っている。 埼玉県立鷲宮高等学校：5月～3月に3回 国際学院中学校高等学校：5月～2月に7回 国際学院高等学校（通信制）：2月に2回
645	国際学院埼玉短期大学	さいたま市広報番組「のびのびシティさいたま市」撮影・出演協力	令和4年度	自治体（行政）			さいたま市の広報番組「のびのびシティさいたま市」に学生が出演し、さいたま市産のさつまいも「紅赤」を使った料理の紹介を行って、地産地消の活動を展開した。 令和7年2月16日放送、2月23日再放送 当日のテーマ「さいたま市の地域連携～パレスホテル大宮 × 国際学院埼玉短期大学～」
646	国際学院埼玉短期大学	IRの普及・活用に向けた合同研修会	令和4年度	短期大学の協会（埼玉県私立短期大学協会）	埼玉県内の私立短期大学		県内短期大学が行っているIR（学修時間や教育の成果等に関する情報収集を行い、自らの客観的な状況を分析する）の取組に触れ、相互に啓発しあう機会を設けるため、合同の研修会を行った。令和6年度は参加校5校でオンライン開催で行われた。 期日：令和6年9月10日
647	国際学院埼玉短期大学	さいたま市産「紅赤」を使用した、産学官連携・地産地消推進の取組み	令和5年度	自治体（行政）、産業界（企業等）			さいたま市内の農家が栽培するさいたま市発祥のサツマイモ「紅赤」を使用したレシピを、パレスホテル大宮のシェフと本学学生が共同開発し、パレスホテル大宮において販売した。令和6年度より、「紅赤パウンドケーキ」がさいたま市ふるさと納税返礼品となった。
648	国際学院埼玉短期大学	大学コンソーシアム 学生政策提案フォーラムinさいたま	平成23年度	自治体（行政）	産業界		令和6年度は、第13回学生政策提案フォーラムinさいたまにチームKG Nutsと佐藤ゼミが参加し、佐藤ゼミ「Creative Recycle Center クリエイト・リサイクルセンター 一つ一つの喜び、新たな価値の創出～」が最優秀賞を受賞した。
649	埼玉医科大学短期大学	埼玉県民の日高校生学び夢プラン	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		・埼玉県高等学校進路研究会と埼玉県私立短期大学協会が行っている「埼玉県民の日高校生「学び」夢プラン」について、令和6年11月14日（木）に2コマ講座開講の案内をした。 ・埼玉県民の日で休日というところから、2つの高等学校が参加した。生徒2名・教員1名が看護学科の「看護学セミナー」と「災害・救急看護」の講義科目を受講した。在学生に学内見学を誘導してもらい、また在学生との座談会を設けた。 ・
650	埼玉医科大学短期大学	中高大連携事業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			・協定校3校の高校生に対して、看護に関する学習の機会を設け、大学及び看護への関心を高めることを目的とした高校大学連携事業を計画して実施している。近隣中学に対しても中大連携事業として将来の学校や学部選択の参考に職業や生き方を考える機会としている。 ・令和6年度（2024年）は高大連携事業を7月27日（土）に実施した。看護への道（短期大学紹介）講義、演習、学内見学、対象高等学校卒業生である在学生との懇親会を実施した。高等学校教員と本学教職員間で情報交換会を行った。 ・令和5年度（2023年）から地域の中学校との連携を開始し、令和6年度は中大連携事業を8月8日（木）に1回、10月26日（土）と2回実施した。日高市、毛呂山町、越生町の中学校から参加希望の中学生を招待し、看護への道（短期大学紹介）、体験学習の参加、出身中学卒業の先輩からのメッセージを届けて看護師の仕事を選択した理由やきっかけを説明した。
651	埼玉医科大学短期大学	埼玉医科大学短期大学公開講座	平成29年度	自治体（行政）	その他		・令和6年度（2024年）は、公開講座を10月5日（土）に「人生100年（36,525日）笑いをみつけて健康生活」（12名参加）、11月30日（土）に「人生会議」（2名参加）と2回実施した。 ・地域住民や社会の学習を支える知の拠点として、一般の方の関心事項を発信、活動の支援をする。
652	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学市民公開講座	平成21年度	自治体（行政）	その他		R6年度8月5日（土）に計4講座開講した。
653	埼玉純真短期大学	羽生市学びあい夢プロジェクト協議会	平成22年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	羽生市内の教育機関（児童福祉施設、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、短期大学等）と教育委員会が連携して、教育交流を推進し、幼児・児童・生徒・学生及び教職員の成長を促進する活動を行っている。
654	埼玉純真短期大学	特別支援教育研究セミナー	平成23年度	自治体（行政）	幼保・小・中・高等学校等	その他	11月9日（土）本学にて開催。障がい者教育に携わっている100名が参加出席。医療法人岡田こどもクリニック理事長の岡田恭子氏の講演、3分科会は本学教員の布施由起、片口桂、浅野瞳と高橋努がそれぞれ担当し開催した。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の時期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
655	埼玉純真短期大学	子ども大学はにゅう	平成23年度	自治体(行政)	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	産業界(企業等)	第14期子ども大学はにゅうを8月6日(火)および8月8日(木)に開校した。 参加者:羽生市内小学生4年生～6年生 25名 実行委員会を本学にて開催
656	埼玉純真短期大学	地元小学校1年生児童の1日入学	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		本年度無し
657	埼玉純真短期大学	子ども支援センター	平成25年度	その他			一般市民からの「子どもの発育・発達」についての相談を受け入れている。相談員は本学教員4名が担当
658	埼玉純真短期大学	高校生学び夢プラン	平成25年度	幼保・小・中・高等学校等	その他		11月4日に開催
659	埼玉純真短期大学	羽生市と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成26年度	自治体(行政)			羽生市との間に、教育・文化・生涯学習・学術研究・人材育成などの分野において、地域連携協力の協定を結んでいる。特別支援巡回回数:6回(市内小中学校)など
660	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立誠和福祉高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定に基づき、本学教員による出前授業ならびに来学授業を行った。
661	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立進修館高等学校との高大連携に関する協定	平成26年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定に基づき、本学教員による出前授業ならびに来学授業を行った。
662	埼玉純真短期大学	埼玉純真短期大学と埼玉県立羽生第一高等学校との高大連携に関する協定	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定に基づき、本学教員による来学授業を行った。
663	埼玉純真短期大学	高大連携授業	平成27年度	幼保・小・中・高等学校等			高大連携協定により、埼玉県立誠和福祉高等学校、埼玉県立進修館高等学校、埼玉県立羽生第一高等学校の生徒に、本学教員の講義を行った。実施回数:誠和福祉高等学校4回 進修館高等学校 5回 羽生第一高等学校 5回
664	埼玉純真短期大学	中学生のためのオープンカレッジ	平成29年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体(行政)		11月4日に開催。羽生加須行田の小学生中学生合わせて14名が参加
665	埼玉純真短期大学	行田市教育委員会と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定	平成29年度	自治体(行政)			行田市教育委員会との間に、教育・文化・生涯学習・学術研究・人材育成などの分野において、地域連携協力の協定を結んでいる。
666	埼玉純真短期大学	3市(行田市、加須市及び羽生市)1商工会議所(行田)、3商工会(加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会)3大学(埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学)の連携協力協定	令和2年度	自治体(行政)・商工会議所・商工会・大学			この団体の名称は彩北未来プロジェクトである。定例会議を行っている。 本年度は3大学の学園祭時に10団体のPRを行なった。また、3大学合同研究発表会を平成国際大学にて2月16日(金)に開催した。10団体から見学参加があった。また、同日3大学と高校の高大連携交流会を実施した。
667	埼玉純真短期大学	教員による出前講座		自治体(行政)	幼保・小・中・高等学校等	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	地元羽生市や岡岡市町村の小・中・高等学校や地域団体からの要請で、教職員による出前講座を実施している。 実施内容 ① 小中学校、高等学校等の教職員研修の講師派遣 ② 羽生市、行田市、加須市教育研修センターへの講師派遣 ③ 児童養護施設職員研修への講師派遣など
668	埼玉純真短期大学	学生による地域ボランティア活動		地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)	自治体(行政)	その他	地元自治体、教育委員会のほか、各種団体からの派遣要請を受け、地域活動をサポートする学生のボランティア活動を推進している。 実施内容 ① 県立羽生水族館「スマイル幼稚園」 ② 世界キャラクターさみっくin羽生 ③ イオン未来書店 ④ 岩瀬小学校放課後こども教室 ⑤ 加須市の龍興寺ボランティア ⑥ 五箇町のボランティアなど
669	埼玉女子短期大学	日高市 ひ・まわり探検隊	平成25年度	自治体(行政)			市内の小学生を対象に、郷土愛の醸成と地域の大人との交流の機会を作ることとを目的とし、「ひ」だけ市内を隅々まで「まわり」探検する。学生がスタッフとして参加。
670	埼玉女子短期大学	放課後子ども教室	平成25年度	自治体(行政)			小学生および義務教育学校前期課程の児童を対象。受付の補助や活動を見守り。
671	埼玉女子短期大学	子ども大学ひだか	平成29年度	自治体(行政)			地域の大学や企業・団体が連携して、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する。
672	埼玉女子短期大学	日高市 日高塾	平成30年度	自治体(行政)			市内6つの小学校区で月1回の土曜日に4年生から6年生までを対象として、基礎学力の向上、学習習慣の定着化、地域の方との交流を図ることを目的としている。 学生がスタッフとして参加。
673	埼玉女子短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	令和2年度	大学・短大(大学・短大間連携)			埼玉県の東武東上線沿線および西武線沿線の大学・短期大学、自治体、企業が連携する。埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)の会員校として参画。
674	埼玉東萌短期大学	公開講座「救急講習」	平成24年度	自治体(行政)			消防署の協力を得て、隔年で「普通救命講習Ⅲ」を開講している。内容は、応急手当の重要性(講義)、主に新生児から幼児に対する基本的心肺蘇生法、AEDの使用法、異物除去方法および止血法等となる。 (令和2～5年度はコロナにより中止した)
675	埼玉東萌短期大学	見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア	平成30年度	自治体(行政)			平成30年度より、埼玉県民生部青少年課の主催事業である「夢のかけはし教室」(現事業名「見えないチカラと夢のリアル体験教室・プレミア」)を開講している。内容は、小学生(4年～6年生)を対象とした、保育士体験プログラム(手遊び歌や紙芝居、参加型劇等の体験、実践)となる。毎回、近隣の保育園に向き、参加者が保育士(先生)役となり、園児に手遊び等の実演を行うことを実践している。
676	埼玉東萌短期大学	高大連携事業	令和2年度	幼保・小・中・高等学校等			大学教育と高等学校教育の接続の円滑な進行、及び双方の発展に資することを目的として、本学の教員が高等学校を伺い、高校生を対象とした出張授業を実施している。 令和3年度からは武蔵野星城高等学校の生徒を対象とした「保育講座」「進学クラス保育の授業」及び連携校3校の生徒を対象とした「高大連携校3校による夏休み保育講座」を実施している。 教育連携協定締結校 杉戸農業高校、八潮南高校、武蔵野星城高校
677	埼玉東萌短期大学	はじめてのおしごと	令和4年度	産業界(企業等)			商業施設「ラガーデン春日部」にて、小学1～4年生を対象に、「はじめてのおしごと」として保育士の体験講座を実施した。2023年7月30日(土)に行い、小学生29名が参加し、ボランティアとして、本学学生が参加した。内容は手遊び、赤ちゃん人形を使用した体験、表現あそび等を実施した。
678	埼玉東萌短期大学	こしがやファミリー・サポート・センターステップアップ研修	令和6年度	地域団体(NPO、ボランティア、自治会等)			こしがやファミリー・サポート・センターステップアップ研修「児童の発達に合わせた接し方のヒント」の講師を担当。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の時期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
679	埼玉東萌短期大学	オリジナルパンの商品化	令和6年度	産業界（企業等）			産学連携事業として、学生が考案したパンを越谷市内にある「リヨンこしがやコッペ館」で商品化し、学園祭での販売や、公開講座での配付が行われた。
680	埼玉東萌短期大学	小学校との連携事業	令和6年度	幼保・小・中・高等学校等			越谷市立南越谷小学校の1年生を対象に、SDGsをテーマにした劇の発表や空気の体験を行った。
681	埼玉東萌短期大学	図書館おたのしみかい	令和6年度	幼保・小・中・高等学校等			附属図書館にて地域の保育所と連携し、子どもたちに手遊びや製作、読み聞かせなどの活動を実施している。
682	埼玉東萌短期大学	子育て支援	令和6年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			保育者支援・地域貢献センターの施設を開放し、地域の保育士による子育てサロンが実施されている。
683	埼玉東萌短期大学	「私のイチ推し～絵本の世界～」記事連載	令和6年度	産業界（企業等）			東武よみうり新聞にて「私のイチ推し～絵本の世界～」の連載を毎月行った。
684	埼玉東萌短期大学	越谷市「若者まちづくり懇談会」	令和6年度	自治体（行政）			越谷市の「若者まちづくり懇談会」に学生が参加し、越谷市をより良くしていくために地域の方々との意見交換を行った。
685	埼玉東萌短期大学	「越谷サンシティのあり方に関する市民懇談会」委員	令和6年度	自治体（行政）			「越谷サンシティのあり方に関する市民懇談会」委員に学生が参加し、意見交換を行った。
686	埼玉東萌短期大学	第7回越谷市学生議会	令和6年度	自治体（行政）			第7回越谷市学生議会に学生議員として参加し、市政に対する一般質問を行った。
687	埼玉東萌短期大学	学生ヒアリング及びアンケート調査	令和6年度	自治体（行政）			第4次越谷市地域福祉計画策定に係る学生ヒアリング及びアンケート調査を行った。
688	埼玉東萌短期大学	第26回南越谷地区フェスティバル	令和6年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			第26回南越谷地区フェスティバルにてパネルシアターを演じ、地域の方々との交流を深めた。また、子どもから高齢者の方まで一緒に民謡を踊るプログラムに参加し、多世代交流を行った。
689	埼玉東萌短期大学	第49回埼玉県文化振興の集い	令和6年度	地域団体（NPO、ボランティア、自治会等）			第49回埼玉県文化振興の集いにて、午前はさいたま紙芝居サークルの方々と一緒に練習に参加し、午後は地域の皆さまの前で紙芝居の実演を行った。
690	埼玉東萌短期大学	選挙について学ぶ	令和6年度	自治体（行政）			越谷市選挙管理委員会と、若者の投票行動を促す目的で、コラボ授業を実施した。越谷市の現状や保育政策、課題などについても学んだ。
691	埼玉東萌短期大学	保育所との意見交換会	令和6年度	幼保・小・中・高等学校等			保育所を運営する社会福祉法人と、学生の実習や就職状況について意見交換会を実施している。
692	埼玉東萌短期大学	高大連携事業	令和6年度	幼保・小・中・高等学校等			教育連携協定締結校に吉川美南高等学校を加え、大学教育と高等学校教育の接続の円滑な進行、及び双方の発展に資することを目的とした、「高大連携校対象夏休み保育講座」を実施している。
693	武蔵丘短期大学	インターンシップ	平成3年度	産業界（企業等）			学生が本学で学んだ知識や指導技術を活かす場として、企業や団体において実習的・研修的な就業体験を行う。
694	武蔵丘短期大学	自治体主催講座への講師派遣	平成4年度	自治体（行政）			東松山市、吉見町、滑川町、鳩山町、川島町、北本市へ講演、実技指導の講師派遣。
695	武蔵丘短期大学	県内の高等学校との事業	平成24年度	幼保・小・中・高等学校等			主に高大連携協定校などへ教員が講演や模擬授業などを実施している。
696	武蔵丘短期大学	大学と連携した人材育成	平成29年度	自治体（行政）	産業界（企業等）		本学の学生に対してB&Gによる海洋リーダー研修を実施して、研修を受けた学生が吉見町の子どもたちに実施する安全教室ボランティアやプール教室の補助を実施している。
697	武蔵丘短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大（大学・短大間連携）	自治体（行政）	産業界（企業等）	埼玉県内の18に及ぶ大学や自治体及び企業が連携し、単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等を実施している。
698	山村学園短期大学	公開講座	平成2年度	自治体（行政）	大学・短大（大学・短大間連携）		11月17日、2月9日 川越 小江戸蔵里にて実施 フィンランドの豊かな暮らしと教育とは？ ～地域の子育て環境を豊かに～
699	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	自治体（行政）	その他		埼玉ビーズミュージアム；紙芝居読み聞かせ会 山村学園短期大学；認知症サポーター養成講座、はとやワークショップDAY 鳩山町；はとやまつり、鳩山町子育てフェスティバル、ふれあい広場2019、鳩山町納涼夏祭り、健康まつり 東松山市；リレー講座、まちおこしランチパック開発プロジェクト 坂戸児童センター；こどもまつり、秋まつり、もちつき会 小川町；七夕まつり竹飾りコンクール出展 毛呂山町児童館；イベント手伝い
700	山村学園短期大学	学生による地域ボランティア活動	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	地域団体（NPO、ボランティア等）		山村学園短期大学；子育て支援サークル 双子ちゃん集まれ秋の遠足、鳩山幼稚園遠足、ハルム松ノ木保育園 どんぐり拾い 鳩山高校；鳩高祭 展示ブース参加 埼玉育児院；チャリティコンサート ひばり保育園；ひばりこえきーキャンプ おやま福祉作業所；利用者誘導、イベント手伝い 富士見すくすく保育園ナースリンスクールSUKUSUKU；お誕生日会イベント 埼玉県こども動物自然公園園内こどもの城；絵本の読み聞かせ（毎月第2土曜日、絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアター、パネルシアター等の上演）
701	山村学園短期大学	教員による出前講座・出張講演	平成14年度	幼保・小・中・高等学校等	自治体（行政）		鳩山町；「保育ボランティア養成講座」 東松山市；「リレー講座 絵が語る言葉が魅せる心が踊る」 飯能高校；「ダンスにトライ！」 鳩山高校；「ゲームでコミュニケーション」「作って遊ぼう」「まんまる紙ヒコキ」 川越西高校；「動くおもちゃ作り」 寄居城北高校；「パネルシアターとは、パネルシアターの演じ方」 滑川総合高校；「絵本とブチアター」
702	山村学園短期大学	里山保全体験学習	平成14年度	地域団体（NPO、ボランティア等）	自治体（行政）		鳩山町石坂の森において、里山保全体験学習（下刈り、坪刈り、樹木の伐倒、自然観察、里山遊び、クラフト作成等）を実施。
703	山村学園短期大学	鳩山町つどいの広場「ぼっぽ」	平成20年度	自治体（行政）			鳩山町からの委託を受け、つどいの広場を運営し地域の子育て支援に供している。毎月子育て教養講座を開催し、音あそび、ふれあい遊び、お菓子作り、おもちゃ作り、和紙の折染め、手遊び・歌遊び、絵本・紙芝居の読み聞かせ、ハロウィンパーティー（仮装あそび）、クリスマスコンサート等を実施している。

埼玉県における大学と地域等との連携事例（令和6年度）

No.	大学名	取組名	事業の始期	連携先1	連携先2	連携先3	事業内容
704	山村学園短期大学	子ども大学はとやま	平成27年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)	産業界(企業等)	県、鳩山町、東京電機大学と本学が連携し、鳩山町内の小学4～6年生30名を対象に年6回の講義を実施。本年度の本学での授業は「風と遊ぶ」というテーマで行った。
705	山村学園短期大学	のびのび鳩山	平成27年度	自治体(行政)			鳩山町教育委員会と連携し、鳩山町内の小学1～3年生45名を対象に行事等を開催。学生ボランティアを派遣して子どもたちの七夕飾り作りや万華鏡作り、また、本学クリスマス会への招待等を実施している。
706	山村学園短期大学	東松山市まちなかリノベーション	平成30年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		東松山市と近隣の5大学が連携し、東松山駅前の活性化を目的に、学生の視点から若者呼び込める魅力ある街づくりの提案をしている。空き店舗を活用したイベント等で中心市街地に賑わいを創出することを目指す。本学は平成30年度より参加している。
707	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	平成30年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)	産業界(企業等)	埼玉県内の18に及ぶ大学や自治体及び企業が連携し、単位互換・公開講座・学生募集・地域リスクマネジメント・共同研究・履修証明型市民大学の提供・地域連携の推進等を実施している。
708	山村学園短期大学	東松山ぼたん園まつり	令和元年度	自治体(行政)			ぼたん園にて「親子で水遊び」イベントの補助ボランティアとして3名参加
709	山村学園短期大学	埼玉ピースミュージアム 紙芝居読み聞かせ会	令和元年度	自治体(行政)			埼玉ピースミュージアム講堂にて11月14日学生5名による紙芝居の読み聞かせを行った。
710	山村学園短期大学	埼玉県こども動物自然公園	令和元年度	自治体(行政)			「こどもの城DAY絵本の読み聞かせ」として5名の学生による絵本、紙芝居、ペープサート、エプロンシアターなどの上演を行った。
711	山村学園短期大学	毛呂山町児童館まつり	令和元年度	自治体(行政)			児童館まつりでの段ボール迷路コーナーの補助、ダンス遊び披露など6名の学生が運営に参加した。
712	山村学園短期大学	吉見町親子アクティブプログラム	令和2年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		吉見町と武蔵丘短期大学の年間を通じた親子でスポーツの基礎づくり・習慣の確立をめざしたプログラムのかけっこ教室(短距離編)へボランティアとして参加した。
713	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	令和2年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		TJUPによる「まなびのみちグリーンワーク」への参加
714	山村学園短期大学	武蔵丘短期大学 山村学園短期大学公開講座	令和2年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		新型コロナウイルス感染予防をふまえた子どもの運動あそびとして、親子でふれあう歌あそびなどの運営等を行った。武蔵丘短期大学屋外にて実施。
715	山村学園短期大学	山村学園短期大学公開講座	令和3年度		自治体(行政)		「フラワー曼荼羅めり絵」～心理学の世界を体験してみよう～
716	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム 公開講座	令和4年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		「武蔵国の19校を通じて埼玉を知る」～鎌倉時代の子育てについて～ の実施
717	山村学園短期大学	鶴つ子サマースクール×大学生WIN-WIN事業	令和4年度	自治体(行政)	大学・短大(大学・短大間連携)		小中学生の自主学習サポートへの参加
718	山村学園短期大学	こども大学はとやま	令和4年度	自治体(行政)			鳩山町小学生対象に東京電機大学、日本医療科学大学、山村学園短期大学による講座(計3回)を行った。
719	山村学園短期大学	ワークショップ体験	令和4年度	大学・短大(大学・短大間連携)	産業界(企業等)		イオンタウンふじみ野開業2周年イベントとして来場者(幼児親子)に対してワークショップを行った。
720	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム 公開講座	令和5年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		「武蔵国の19校を通じて埼玉を知る2023」～埼玉のスゴ偉人～ の実施
721	山村学園短期大学	こども大学はとやま	令和5年度	自治体(行政)			鳩山町小学生対象に東京電機大学、日本医療科学大学、山村学園短期大学による講座(計4回)を行った。
722	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム 公開講座	令和5年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		「TJUPランド～こどもフェスタ～」にて、わくわく教室「スライム時計をつくろう」を実施
723	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム 公開講座	令和6年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)		「武蔵国の19校を通じて埼玉を知る2024」～名物先生大集合～ の実施
724	山村学園短期大学	こども大学はとやま	令和6年度	自治体(行政)			鳩山町小学生対象に鳩山町教育委員会、東京電機大学、日本医療科学大学、山村学園短期大学による講座(計5回)を行った。
725	山村学園短期大学	東松山市 このゆびと～まれ！フェスタ	令和6年度	自治体(行政)	自治体(行政)、企業		高坂駅西口から続く野外彫刻ギャラリーとともに地域アーティストによる作品展示、ワークショップ、コンサートなどが実施された。本学はワークショップで参加した。
726	山村学園短期大学	東松山アートフェスタ	令和6年度	自治体(行政)	自治体(行政)、企業		
727	山村学園短期大学	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム	令和6年度	大学・短大(大学・短大間連携)	自治体(行政)、企業		「TJUPわくわくランド」にて、わくわく教室「身近な物でリトグラフを体験しよう」を実施